

平成 29 年度 湖西市バス運行評価改善報告書

平成 29 年 12 月

湖西市バス運行評価改善委員会

目 次

1	評価改善委員会概要	1
2	平成 28 年度の改善策の詳細検討・実施	1
2-1	路線の改善	1
2-2	運賃の改善	1
2-3	利用促進案の提案、実施	2
2-4	その他の改善提案	6
2-5	現状把握	8
3	平成 28 年度の評価及び、来年度への改善策の検討	10
3-1	利用状況、運行状況の整理	10
3-2	路線別の動向	13
3-3	評価の実施と改善提案	51
3-3-1	湖西市地域公共交通網形成計画の評価と改善提案	51
3-3-2	コーちゃんバス全般、路線別の評価と改善提案	55
3-3-3	遠州鉄道バスに関する評価と改善提案	58

1 評価改善委員会概要

1. 目的

平成 29 年度評価改善委員会では、昨年度提案された湖西市の地域公共交通の改善策の詳細検討・実施及びその効果把握を行うとともに、平成 28 年 10 月～29 年 9 月までの 1 年間の評価と改善策の検討を行う。また、平成 29 年 5 月に策定した“湖西市地域公共交通網形成計画”に基づく事業の検討・実施状況を評価し、改善策の検討を行うことを目的とする。

2 平成 28 年度の改善策の詳細検討・実施

2. 平成 28 年度改善提案

2-1 路線の改善

2-1-1 自主運行バス浜名線の運行内容の見直し

○日ノ岡バス停での乗り継ぎの際の安全性の確保のため、経路を変更し、バス停をコーちゃんバスに統一した。

日ノ岡バス停付近の運行経路及びバス停留所（自主運行バス）の変更



(変更前)

(変更後)

2-2 運賃の改善

2-2-1 自主運行バス浜名線の運賃制度の変更

○自主運行バスは対距離制運賃を採用しており、平成 30 年 4 月の改正で、コーちゃんバスのゾーン制運賃への変更を予定している。

2-2-2 わかりやすく利用しやすい運賃制度の検討

○運賃ゾーンの簡素化や均一運賃の導入、上限運賃の設定、自主運行バスの対距離制運賃制度の見直しなど、わかりやすく利用しやすい運賃制度への改善に向けた設定を行い、形成計画のスケジュールに基づき、平成30年度以降の路線再編に向けて検討していく。

2-3 利用促進案の提案・実施

2-3-1 市民参画による“コーちゃんバスを上手に利用する会”との利用促進策の実施

○湖西市地域公共交通網形成計画に掲げた基本方針である“誰もが安全、安心、快適に移動できる交通環境が充実した暮らしやすいまち”の実現に向けて、市民自らが主体性を持って地域公共交通を育む仕組みを構築するため、市民と行政との協働による具体的な活動をする“コーちゃんバスを上手に利用する会”を発足した。

○第1回ミーティング：

平成29年5月19日（金）西部公民館講座室1.2 会員7名

- ①メンバー紹介・自己紹介
- ②学識経験者のお話
- ③ボランティアミーティング(利用促進策について)

第2回ミーティング：

平成29年7月24日（金）西部公民館講座室3 会員10名

- ①コーちゃんバス乗車に関するお願い
- ②今後の利用促進策予定について

※後述の小学生バス乗り方教室やふれあい広場における啓発活動、バス乗車による改善提案など幅広く活動して頂いている。



図 実施状況

2-3-2 一日乗り放題券などの企画乗車券の発行

○湖西市地域公共交通網形成計画の計画推進事業として、コーちゃんバスを上手に利用する会会員の意見から、コーちゃんバスの現状ダイヤにあった“片道定期券”の発行を予定している。



図 片道定期券(予定)

2-3-3 コーちゃんバス乗り継ぎ案内チラシなどの検討

○平成 29 年 6 月から、コーちゃんバスの乗り継ぎをわかりやすく説明したポスターをバス車内に掲示し、併せてチラシを各種利用促進イベントの機会に配布した。



図 乗り継ぎ案内チラシ

2-3-4 小学生の総合学習の機会に合わせ、持続可能な施策としての乗り方教室の検討

○バスなどを利用する機会の少ない児童が、乗り降りの仕方やマナー、バスの大切さを知ってもらい、公共交通に慣れ親しむため、小学生の学習の機会と連携した乗り方教室を“コーちゃんバスを上手に利用する会”の会員と協力して実施した。

コーちゃんバスを今以上に利用していただくため、併せてコーちゃんバスの PR 等を実施した。

市内 4 ヲ所の小学校で実施し、平成 29 年のふれあい広場では、乗り方教室（日本人：1 回、外国人：2 回（ポルトガル語、スペイン語））を実施した。乗り方や利用方法などを理解することで、公共交通に対する関心や興味を持っていただけた。

参加人数 小学生 222 人 ふれあい広場 46 人（うち外国人 28 人）



図 実施状況

2-3-5 バス路線沿線の商業施設などとの連携による利便性の向上

○バス停オーナーの内、スーパーなど商業施設に対し、バス到着時刻のアナウンスを実施してもらえるよう調整中。

○バスや沿線施設のPRや利便性向上のため、新規バス停オーナー2件追加予定。

2-3-6 バスの日における市内公共交通に関する広報

○9月24日(日)のふれあい広場(福祉啓発イベント)において、バス事業者(遠州鉄道株、遠鉄タクシー株、浜松バス株)と協力して、天浜線や市内の公共交通利用についてバスの乗車体験や乗り方教室などの啓発活動を実施した。



図 実施状況

2-3-7 住まいと暮らしの展示会における多文化共生やコーちゃんバス利用促進

○多文化共生社会の実現や交流を図ることを趣旨としての啓発活動や、コーちゃんバスの利用促進を目的として、コーちゃんバス無料相談会や来場者が、楽しみながらバスに関する知識を得られるクイズを実施した。平成28年度の乗り方教室でバスのことを学んだ児童らが、両親にバスのことを伝えている様子も見られた。

平成29年2月4日(土) アメニティプラザ

参加者：コーちゃんバス相談会

クイズ初級(50人) クイズ中級(16人) 多文化共生説明・輪投げ 約100人



ブースの様子



コーちゃんバスクイズに挑戦

2-3-8 夏休み小学生50円バスの実施

○毎年恒例で行われている、夏休み小学生50円バスを今年も7月24日(月)から8月29日(火)までの夏休み期間中に実施した。

各小学校の生徒に向けて、アメニティプラザなどへのバスの利用例や乗り継ぎなどを記載したチラシを夏休み前までに配布した。



7月22日(土)～8月29日(火) ※バス運行は7月24日(月)～

H29年度参加者 303人

図 事前周知チラシ

2-3-9 東三河50円バス実行委員会との協力

○夏休み小学生特別料金(小学生50円バス)は東三河50円バス実行委員会と協力。お互いのチラシに掲載情報を掲載し、イベント情報の共有をした。



図 50円バスポスター、広報

2-3-10 コーちゃんバス、ビンゴラリーの実施

○昨年度実施した、夏休み小学生50円バスの意見を基に今年度は実施期間を長く、誰でも参加できるようにした。

また、様々な媒体(ケーブルテレビ、新聞など)で広報し、コーちゃんバスの乗車自体に付加価値をつけることにつなげている。尚、平成30年の2月末まで実施する。



図 チラシ、ビンゴ台紙

参加者 12人(11月末現在) ※H29.2月末まで実施

2-3-11 敬老週間における高齢者割引の実施

○9月の敬老週間に合わせて、65歳以上の方の運賃を100円に割引。(9月11日(月)～9月29日(金))

2-3-12 コーちゃんバスを利用した小学生市内お出かけ計画の企画・実施(NPOの協力)

○8月8日から8月10日の3日間、“やるキッズ2017!小学生まちづくりリーダー研修”において、小学生が市内を循環してるコーちゃんバスを利用してお出かけプランを企画し、実際に乗車することで感じたことや発見したことを共有するワークショップを開催した。

お出かけプランや振り返りには“コーちゃんバスを上手に利用する会”会員も参加し、小学生のプラン作りの補助や振り返りに対する意見や感想などを小学生に伝えた。



小学生参加者 57人上手に利用する会会員6人

図 発表の様子

2-4 その他の提案、実施

2-4-1 湖西市地域公共交通網形成計画の策定

○平成29年5月に、湖西市地域公共交通網形成計画を策定した。

○市民アンケートをはじめ、各種調査を実施し湖西市における地域公共交通の課題を整理し、湖西市の交通将来像やネットワークイメージ、基本方針を定めた。



図 湖西市地域公共交通網形成計画

2-4-2 地域リーダーの検討

○湖西市地域公共交通網形成計画、白須賀自治会からの要望を受け、デマンド型交通の検討を行った。



図 地域からの要望書

2-4-3 運転手からの定期的な聞き取りの実施

○運行事業者(運行管理者)は、運転手が利用者から聞き取りした内容や、現場で感じた意見、運行状況などを取りまとめ、毎月、市に報告書を提出して、改善につなげている。

項目	内容	備考
利用者からの声	利用者から「乗降がスムーズにいかない」、「乗降待ち時間が長い」、「乗降待ち場所が狭い」、「乗降待ち場所が汚い」、「乗降待ち場所が危険」、「乗降待ち場所が不便」、「乗降待ち場所がわかりにくい」、「乗降待ち場所が遠い」、「乗降待ち場所が狭い」、「乗降待ち場所が汚い」、「乗降待ち場所が危険」、「乗降待ち場所が不便」、「乗降待ち場所がわかりにくい」、「乗降待ち場所が遠い」などの声があった。	
現場での状況	現場で「乗降待ち時間が長い」、「乗降待ち場所が狭い」、「乗降待ち場所が汚い」、「乗降待ち場所が危険」、「乗降待ち場所が不便」、「乗降待ち場所がわかりにくい」、「乗降待ち場所が遠い」などの状況があった。	
運転手の意見	運転手から「乗降待ち時間が長い」、「乗降待ち場所が狭い」、「乗降待ち場所が汚い」、「乗降待ち場所が危険」、「乗降待ち場所が不便」、「乗降待ち場所がわかりにくい」、「乗降待ち場所が遠い」などの意見があった。	
改善策	改善策として「乗降待ち時間を短縮する」、「乗降待ち場所を広くする」、「乗降待ち場所をきれいにする」、「乗降待ち場所を安全にする」、「乗降待ち場所を便利にする」、「乗降待ち場所をわかりやすくする」、「乗降待ち場所を近接させる」などの改善策を講じた。	

図 毎月の報告書

2-4-4 市と民間バス事業者との連携の強化

○9月20日のバスの日にちなんで、啓発活動を9月24日(日)にバス事業者と協力して実施した。

当日は市内公共交通(コーちゃんバス、自主運行バス浜名線、天浜線、遠鉄バス浜名線)で協力して、啓発活動を実施し、市と民間バス事業者の連携を強化した。

2-4-5 免許返納者を支援する仕組みづくり

○平成29年4月から、運転免許証の自主返納を促し、公共交通機関の利用促進を図ることを目的として、運転免許証を自主返納等した市民を対象に、公布した日から2年分のコーちゃんバス及び自主運行バス浜名線の無料乗車券を発行している。



平成29年9月末申請者数:133人

図 啓発チラシ、無料乗車券

2-4-6 利用促進案の提案

- 東三河 50 円バス実行委員会(豊橋市他 7 市町村)の会議などで、利用促進策についての先進的な事例や意見を頂き、今後の参考とした。
- 浜名病院検診センターが、利用者にバス回数券を助成するなどの取り組みを継続して実施した。

2-4-7 地域公共交通会議における状況報告

- 平成 28 年度第 3 回地域公共交通会議において評価改善報告書を提出し説明した。以後の会議では、改善提案に関する、利用促進策やダイヤの改正について、公共交通会議で協議いただき、改善をしている。

2-4-8 企業担当者と従業員のコーちゃんバス利用意向調査を実施

- 通勤時に利用可能な便がある企業(アスモ、浜名湖電装)に出向いて利用実態の聞き取りをし、従業員に利用意向があるなどの情報を得たため、今後の路線改善に活用する。また、アスモ社内広報にてコーちゃんバスが紹介された。

2-5 現状把握

2-5-1 OD 調査、バス利用者アンケート

- バス利用の実態を明らかにするため、市内の各路線に調査員が乗り込み、乗車から降車までの実態について調査(OD 調査)を実施した。
バス利用者アンケート：9 月 6 日(水)～9 月 7 日(木)実施
OD 調査：9 月 6 日(水)実施

2-5-2 コーちゃんバスを上手に利用する会会員からの乗車体験に基づく改善の提案

- “コーちゃんバスを上手に利用する会”会員に、8 月～9 月末までの間コーちゃんバスに乗車してもらい、アンケートで課題や改善策を提案してもらい、実際に乗車した目線からの意見を収集した。

図 意見記入シート

アンケートの意見(抜粋)

- ・今の時刻表は路線が色分けされていて見やすい。12時～14時台の便が欲しい。(60台女性)
- ・湖西高校を県営住宅があり、人が多くすんでいる場所へ移設する。(鷺津循環線)
- ・老人福祉センターへの乗り入れから、消防署南のロータリーの利用へ変更することで、路線の短縮が見込めるのではないか。(白須賀新居鷺津線)
- ・通勤・通学时以外に笠子北を通るルートをしずな館などを通るルートにすれば買物需要などに対応できるのではないか。西部公民館前でバスが時間調整はしない方がよい。(岡崎鷺津線)
- ・白須賀岡崎線と岡崎鷺津線の浜名病院での到着時刻が重なってしまっている部分があるので、時刻の変更で効率的な運行ができないか。(白須賀岡崎・岡崎循環線、岡崎鷺津線)
- ・運動公園のバス停を道路沿いにすることで、時間を短縮できるのではないか(岡崎鷺津線)
- ・4便と5便の間が長いので改善できないか(岡崎鷺津線)
- ・人が多く集まるなど、公共性の高いところはベンチや屋根の設置を検討できないか。(知波田鷺津線)
- ・運転免許証返納者への無料券を発行する際に100円のパスケースなどつけてあげられないか。
- ・運転手が降車時に体の不自由そうな人をしっかりと見守っていてよい。(知波田鷺津線)
- ・鷺津のピザ屋に行かれるお客さんが少なからずいるので、バス停を設置してみてはどうか。
- ・窓に張っている優先席案内の用紙を改善した方がよい。(岡崎鷺津線)
- ・こいで整形外科となかしま・こいででのバス停の区別をつけるようアナウンスした方がいい。

3 平成28年度の評価及び来年度への改善策の検討

3-1 利用状況、運行状況の整理

平成26年度（H25.10～H26.9） コーちゃんバス乗車人数

	H25.10	H25.11	H25.12	H26.1	H26.2	H26.3	H26.4	H26.5	H26.6	H26.7	H26.8	H26.9	合計
白須賀新居線・新居鷺津線 白須賀新居鷺津線	1,732	1,448	1,341	1,405	1,402	1,407	1,374	1,605	1,692	1,582	1,146	1,798	17,932
白須賀鷺津線	1,872	1,602	1,388	1,559	1,605	1,837	1,687	1,684	1,797	1,935	1,519	1,716	20,201
白須賀岡崎線	1,011	986	781	916	895	704	857	896	951	829	502	895	10,223
岡崎循環線	520	492	440	399	438	513	575	503	540	583	446	449	5,898
岡崎鷺津線	1,235	1,236	1,030	1,022	1,098	1,201	1,104	1,132	1,287	1,388	1,356	1,376	14,465
知波田鷺津線	962	870	878	867	831	933	1,073	1,040	1,112	1,092	862	1,142	11,662
合計	7,332	6,634	5,858	6,168	6,269	6,595	6,670	6,860	7,379	7,409	5,831	7,376	80,381

平成26年6月2日(月)の運行から白須賀新居線・新居鷺津線は、白須賀新居鷺津線へ路線を統一した。

年間利用者数 80,381 人
 年間運行日数 244 日 土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)は運休
 一日当たりの利用者数 329.43 人
 一路線一日当たりの利用者数 54.91 人

平成27年度（H26.10～H27.9） コーちゃんバス乗車人数

	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	H27.3	H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9	合計
白須賀新居鷺津線	1,793	1,467	1,457	1,272	1,497	1,705	1,470	1,356	1,766	1,619	1,197	1,474	18,073
白須賀鷺津線	1,699	1,514	1,512	1,533	1,618	2,032	1,428	1,277	1,626	1,399	1,344	1,245	18,227
白須賀岡崎線	953	871	870	910	910	971	882	775	1,026	932	650	923	10,673
岡崎循環線	384	424	416	379	390	422	369	325	416	422	404	353	4,704
岡崎鷺津線	1,302	1,164	1,077	977	1,229	1,532	1,331	1,139	1,466	1,602	1,521	1,296	15,636
知波田鷺津線	1,133	1,075	991	987	1,104	1,222	1,193	983	1,224	1,236	1,072	1,008	13,228
自主運行バス 浜名線	2,463	1,982	1,958	1,927	2,056	2,298	2,151	1,742	2,107	2,016	1,637	1,801	24,138
合計	9,727	8,497	8,281	7,985	8,804	10,182	8,824	7,597	9,631	9,226	7,825	8,100	104,679

コーちゃんバス運行日数 22 18 19 19 19 22 21 18 22 22 21 19 242
 浜名線 運行日数 26 23 23 23 23 25 25 23 26 26 26 23 292
 土曜日 運行日数 4 5 4 4 4 3 4 5 4 4 5 4

コーちゃんバス年間利用者数 80,541 人
 コーちゃんバス年間運行日数 242 日 土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)は運休
 一日当たりの利用者数 332.81 人
 一路線一日当たりの利用者数 55.47 人

自主運行バス浜名線年間利用者数 24,138 人
 自主運行バス浜名線年間運行日数 292 日
 一日当たりの利用者数 82.66 人

平成28年度（H27.10～H28.9） コーちゃんバス乗車人数

	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	合計
白須賀新居鷺津線	1,560	1,397	1,403	1,387	1,567	1,507	1,351	1,154	1,632	1,421	1,203	1,559	17,141
白須賀鷺津線	1,084	1,021	1,112	1,017	1,075	1,269	1,098	1,089	1,268	1,237	1,274	1,285	13,829
白須賀岡崎線	1,018	861	835	777	856	729	874	767	929	755	542	931	9,874
岡崎循環線	372	323	335	223	312	379	320	292	395	348	340	342	3,981
岡崎鷺津線	1,243	1,102	1,132	944	1,124	1,355	1,094	1,003	1,294	1,527	1,638	1,315	14,771
知波田鷺津線	998	845	966	850	926	1,135	1,053	795	985	904	844	971	11,272
鷺津循環線	1,025	953	840	794	719	827	704	707	801	713	814	720	9,617
自主運行バス 浜名線	1,920	1,660	1,663	1,866	1,811	2,128	1,769	1,532	1,867	1,723	1,880	1,750	21,569
合 計	9,220	8,162	8,286	7,858	8,390	9,329	8,263	7,339	9,171	8,628	8,535	8,873	102,054
コーちゃんバス運行日数	21	19	19	19	20	22	20	19	22	20	22	20	243
浜名線 運行日数	26	23	23	23	24	26	25	23	26	25	26	24	294
土曜日 運行日数	5	4	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	

コーちゃんバス年間利用者数 80,485 人
 コーちゃんバス年間運行日数 243 日 土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)は運休
 1日当たりの利用者数 331.21 人
 1路線1日当たりの利用者数 47.32 人

自主運行バス浜名線年間利用者数 21,569 人
 自主運行バス浜名線年間運行日数 294 日
 1日当たりの利用者数 73.36 人

平成29年度（H28.10～H29.9） コーちゃんバス乗車人数

	H28.10	H28.11	H28.12	H29.1	H29.2	H29.3	H29.4	H29.5	H29.6	H29.7	H29.8	H29.9	合計
白須賀新居鷺津線	1,454	1,444	1,325	1,218	1,421	1,588	1,371	1,464	1,554	1,290	1,115	1,489	16,733
白須賀鷺津線	1,219	1,253	1,190	1,113	1,270	1,366	1,189	1,177	1,379	1,274	1,377	1,372	15,179
白須賀岡崎線	926	1,018	804	898	988	908	990	995	1,078	834	595	993	11,027
岡崎循環線	332	340	302	240	267	412	296	274	353	348	335	334	3,833
岡崎鷺津線	1,373	1,326	1,192	1,036	1,332	1,438	1,218	1,161	1,266	1,408	1,735	1,305	15,790
知波田鷺津線	1,035	926	942	864	863	1,076	900	912	1,041	858	857	939	11,213
鷺津循環線	803	712	641	654	695	870	675	701	784	800	798	756	8,889
自主運行バス 浜名線	1,774	1,790	1,917	1,457	1,722	1,647	1,788	1,619	1,822	1,586	1,471	1,532	20,125
合 計	8,916	8,809	8,313	7,480	8,558	9,305	8,427	8,303	9,277	8,398	8,283	8,720	102,789
コーちゃんバス運行日数	20	20	19	19	20	22	20	20	22	20	22	20	244
浜名線 運行日数	25	24	23	23	24	26	24	24	26	25	26	24	294
土曜日 運行日数	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	50

コーちゃんバス年間利用者数 82,664 人
 コーちゃんバス年間運行日数 244 日 土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)は運休
 1日当たりの利用者数 338.79 人
 1路線1日当たりの利用者数 48.40 人

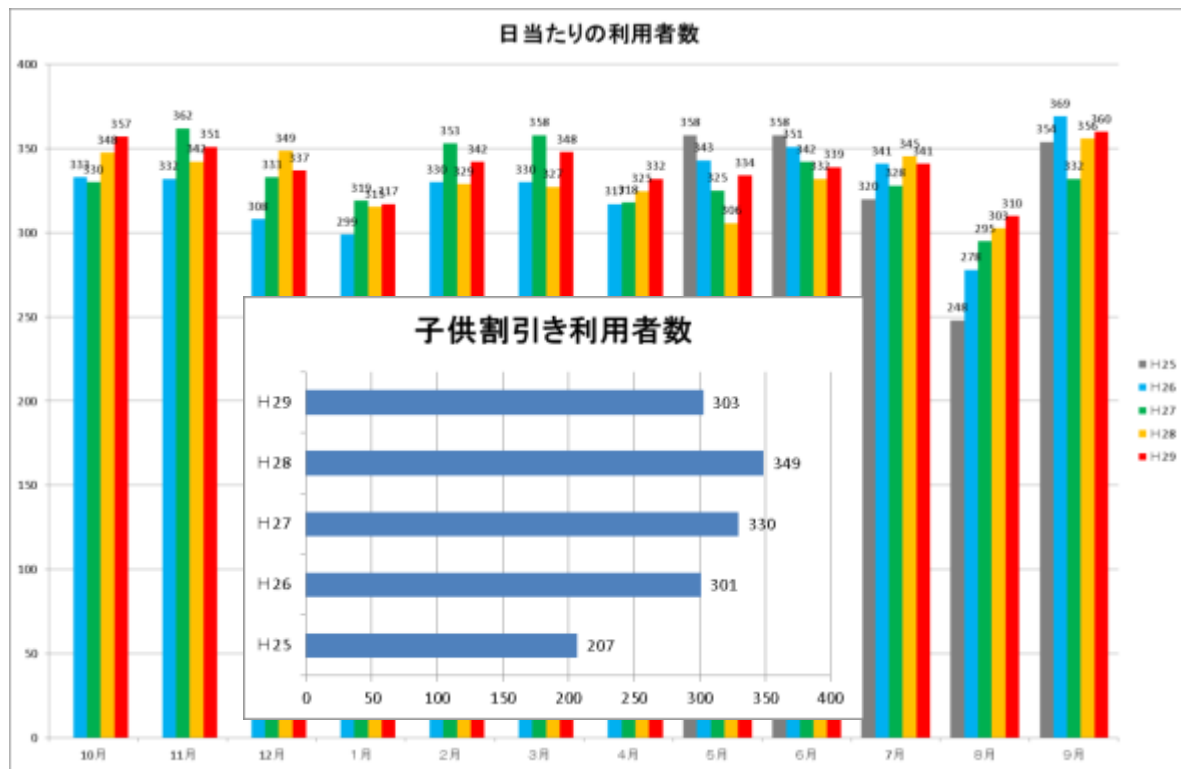
自主運行バス浜名線年間利用者数 20,125 人
 自主運行バス浜名線年間運行日数 294 日
 1日当たりの利用者数 68.45 人

3-1-1 全体の利用者数

○通年の利用者数は、339 人／日で昨年と同程度。

○平成 28 年 10 月に実施した 3 路線の経路変更などにより利用者を維持している。

(人/日)



(H25 は開校日除く)

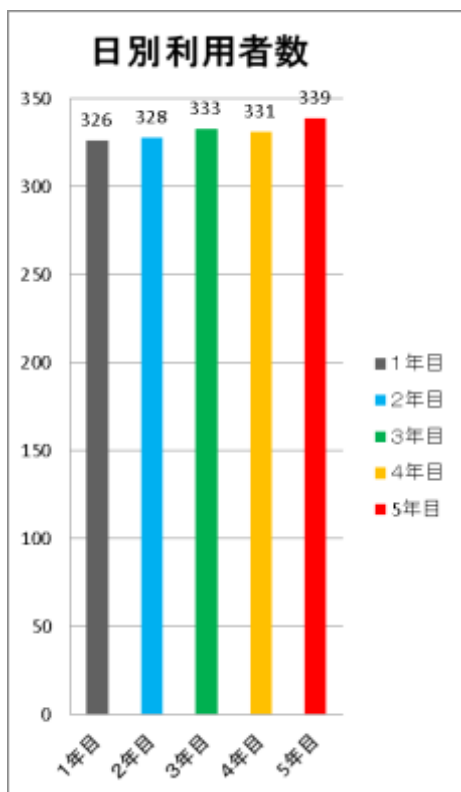


図 年間利用者数（一日当たり）
(利用者数/運行日数)

3-2 路線別の動向

- 平成 28 年 10 月に経路を変更した路線や白須賀岡崎線では利用者が増加傾向。
- 岡崎循環線は利用者が年々減少。
- 路線の便別に利用者が 2 人/日以下の便は赤枠で示し、改善検討を行う。

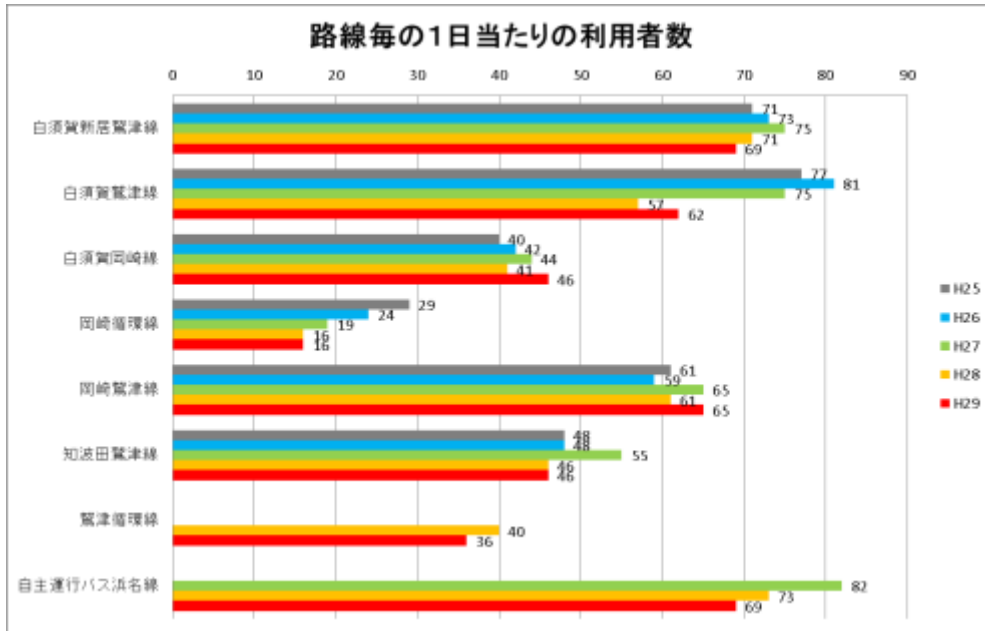
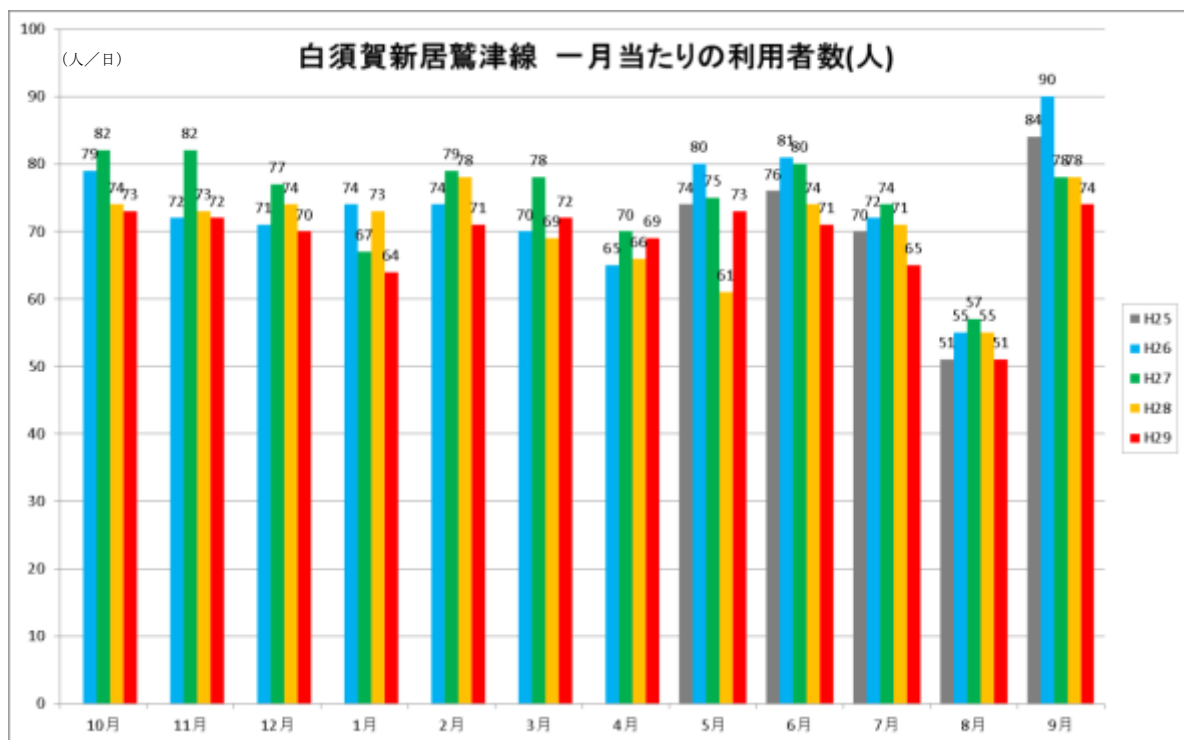


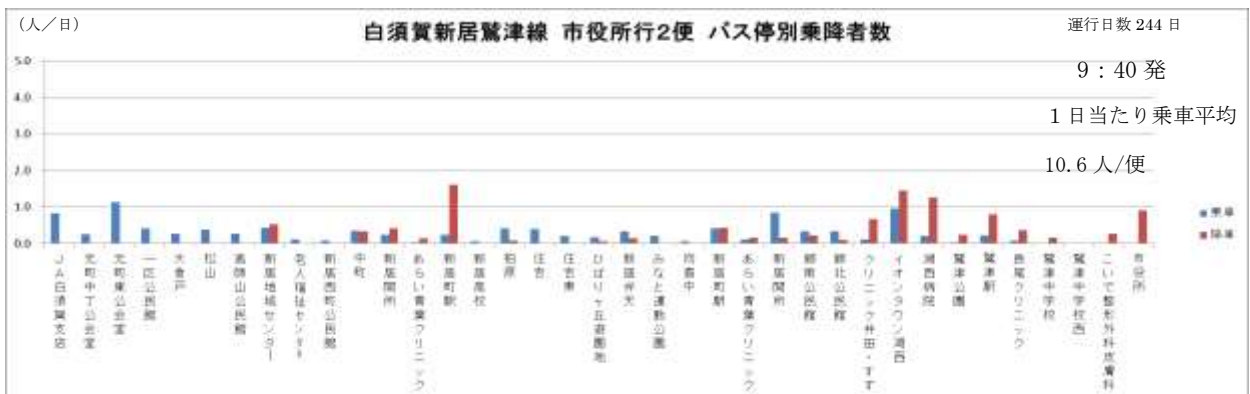
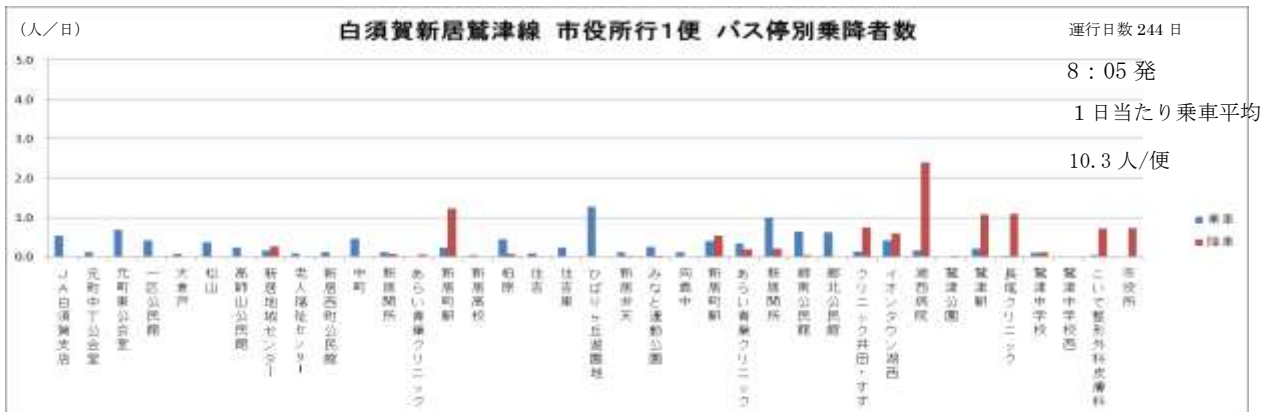
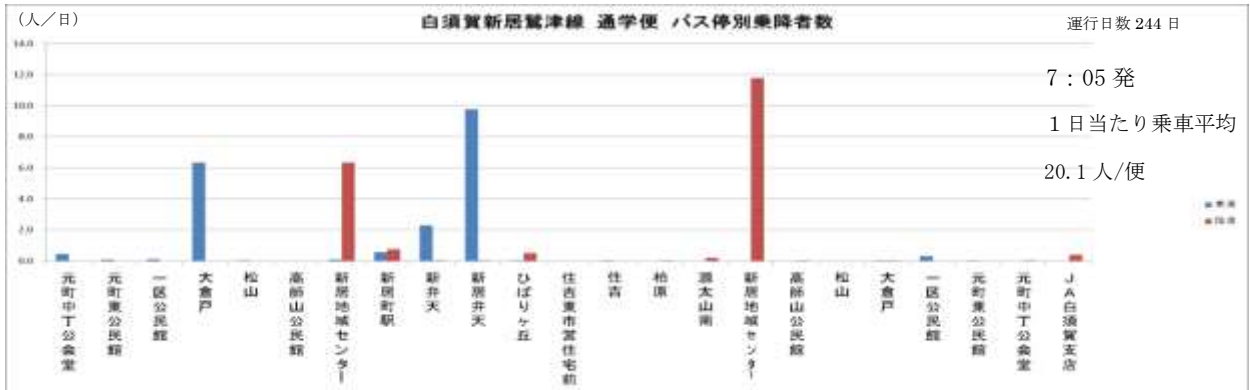
図 各路線の年度別日利用者数の推移（1年目は、H25.5～H25.9の平均）

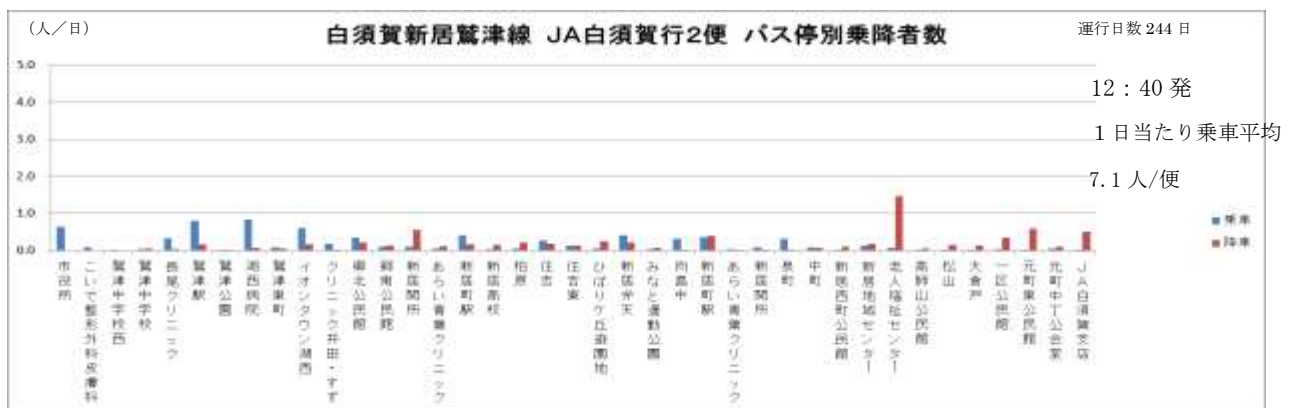
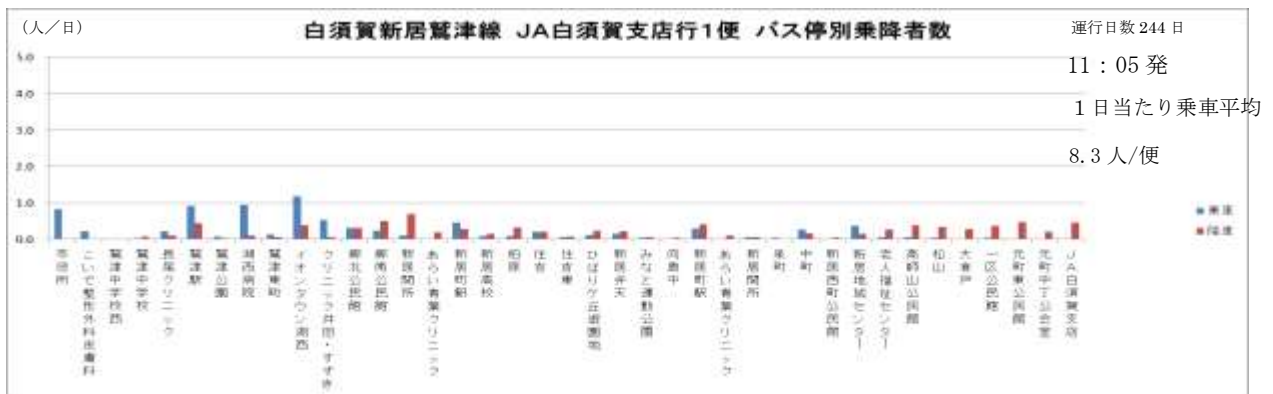
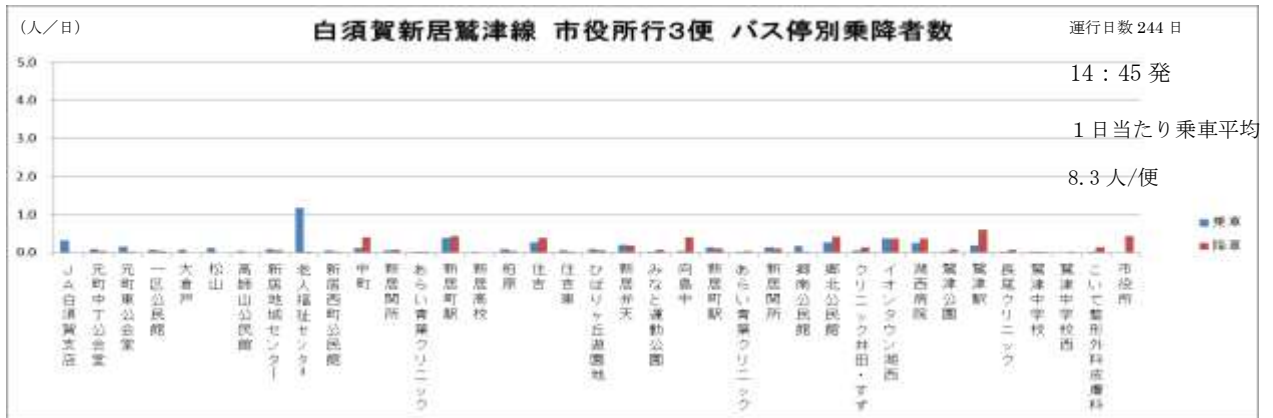
3-2-1 白須賀新居鷺津線バス停別、便別利用者動向

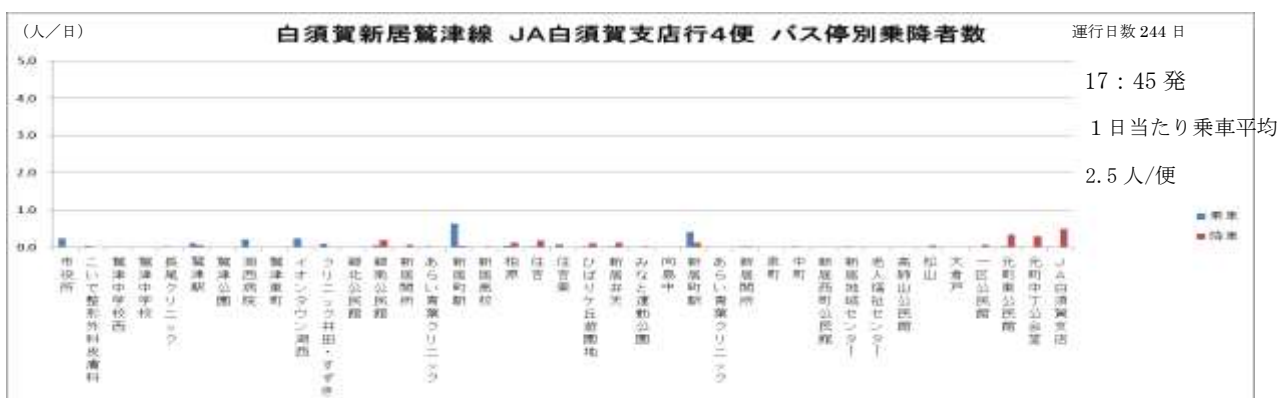
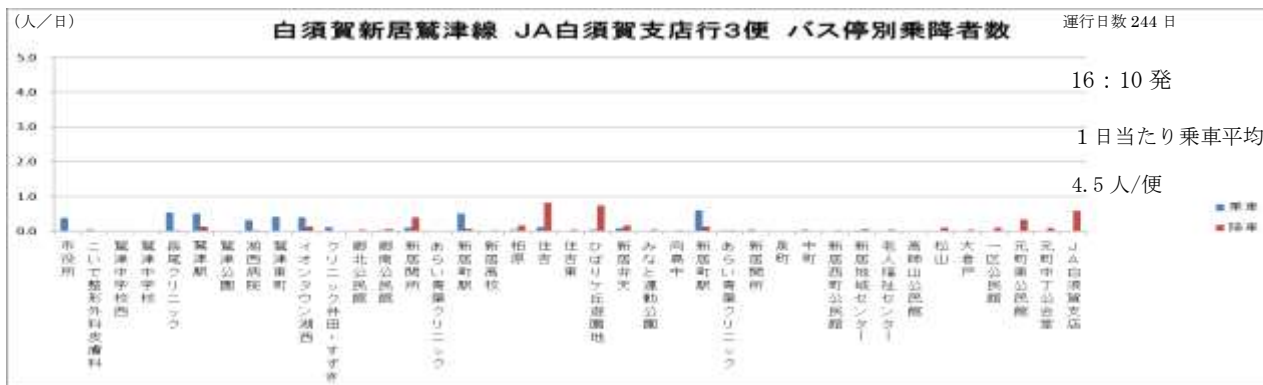


白須賀新居鷲津線便別の動向

- 第1便は新居小学校の通学で10～14人が乗車、大倉戸、新弁天、新居弁天で乗車がある。
- 市役所行第1便～第3便は新居町駅や湖西病院へ、J A白須賀支店行第1便～4便は鷲津、新居地区から白須賀地区への移動で利用されている。
- 午後になるにつれて利用が少なくなる傾向にある。



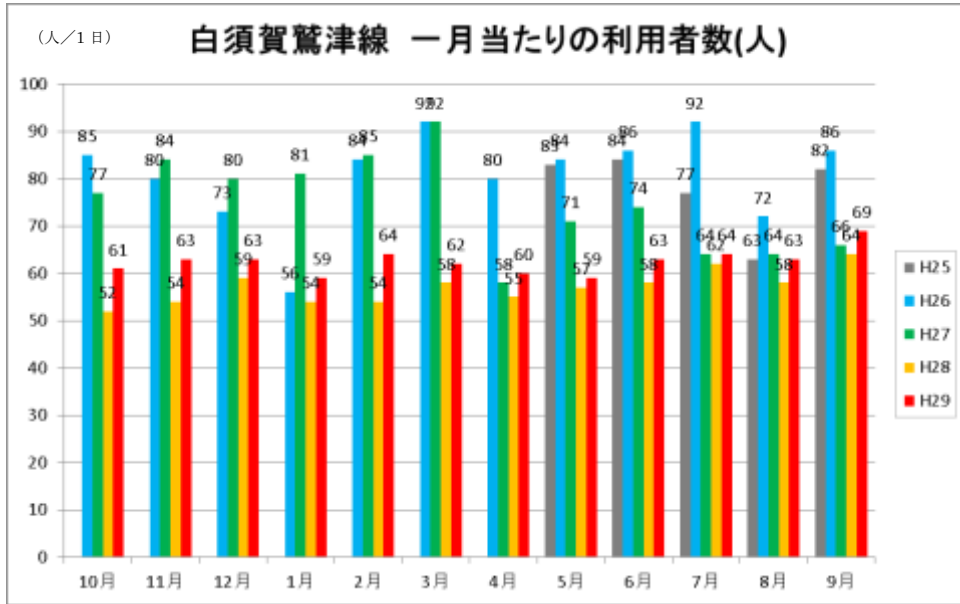




3-2-2 白須賀鷺津線バス停別、便別利用者動向

○白須賀鷺津線は、平成 28 年 10 月の経路変更後利用者の増加傾向が継続している。

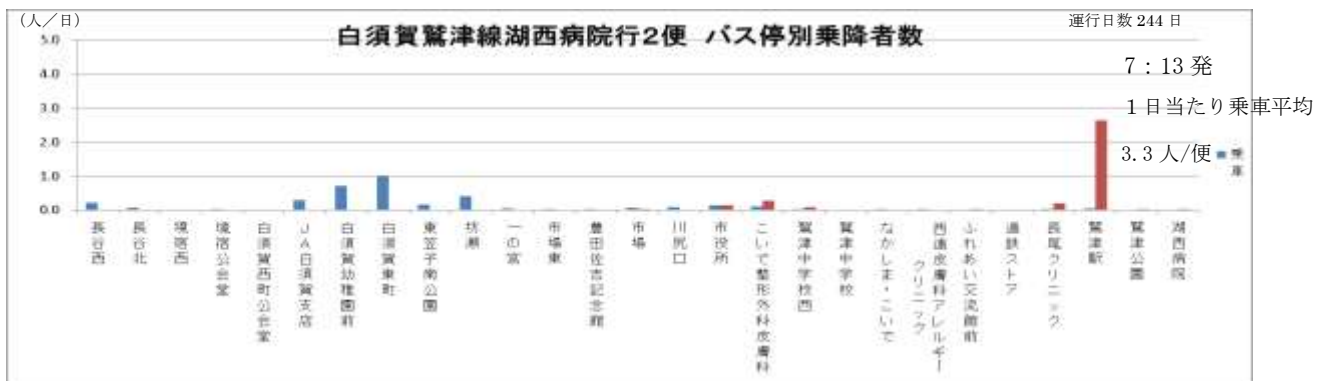
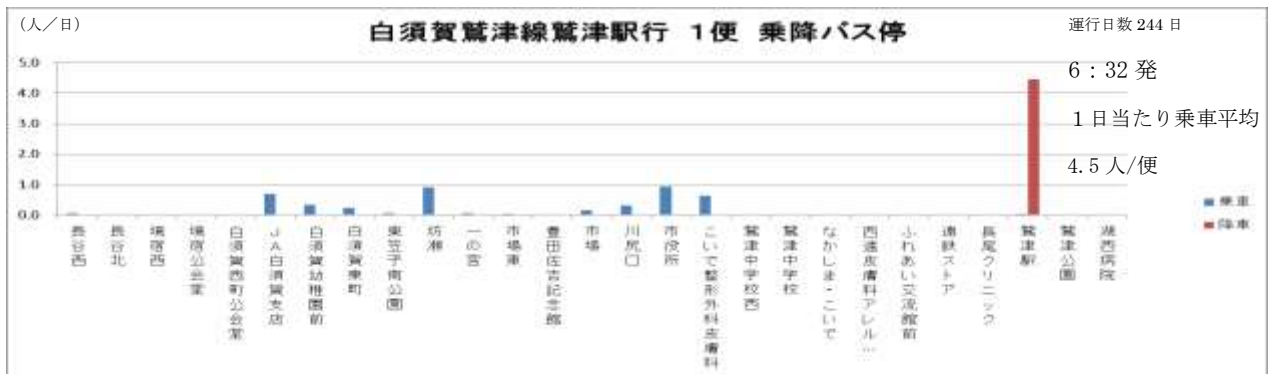
○昨年度と比べて 1,350 人/年の増加。

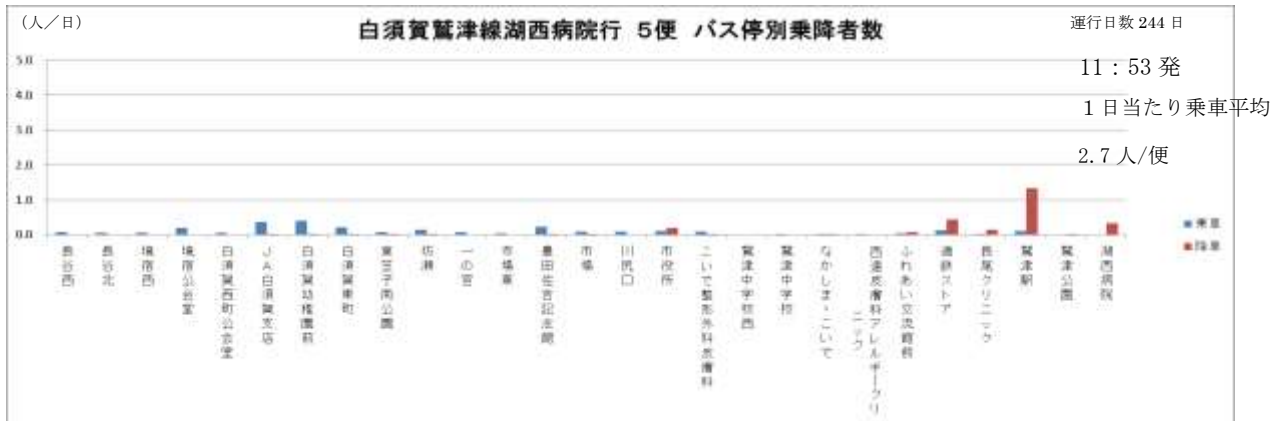
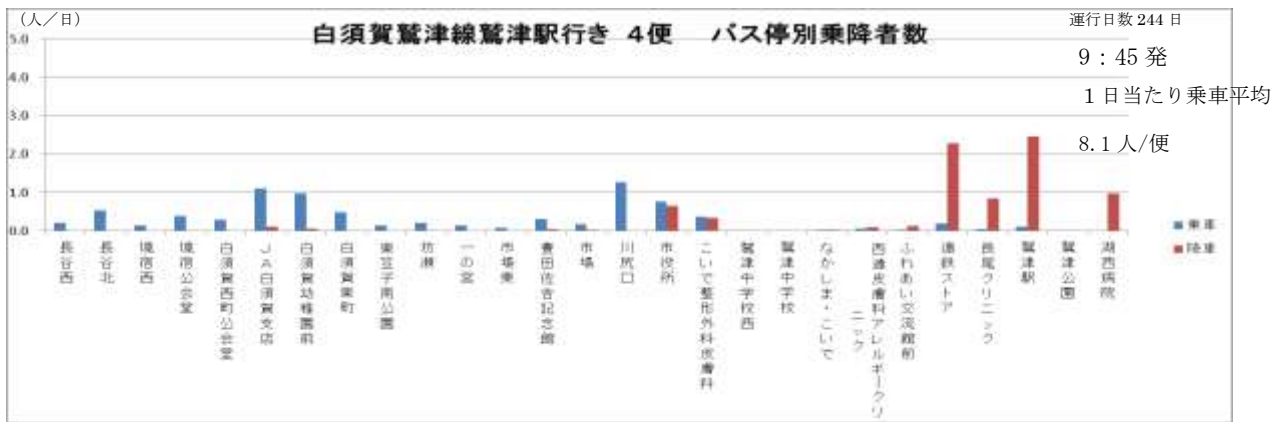
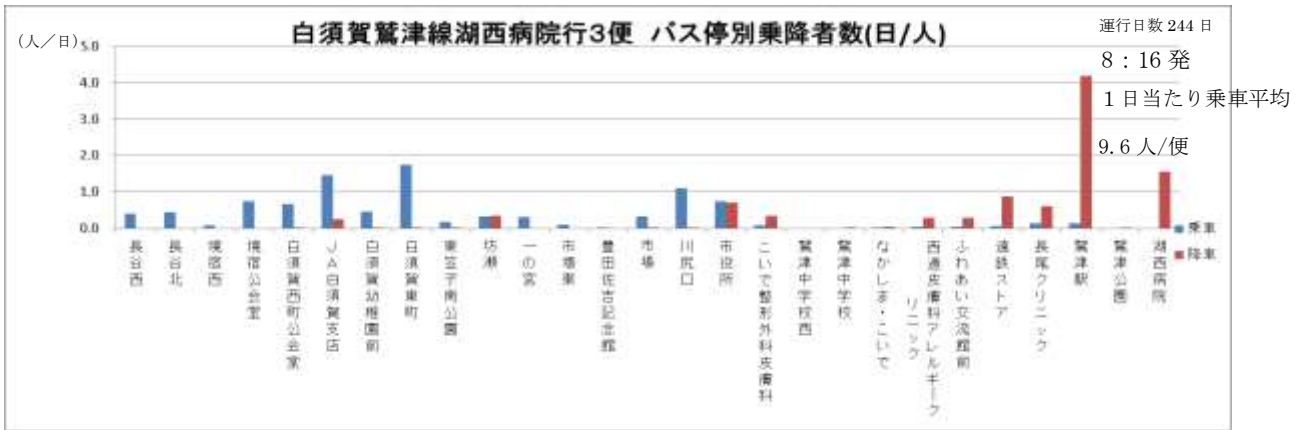


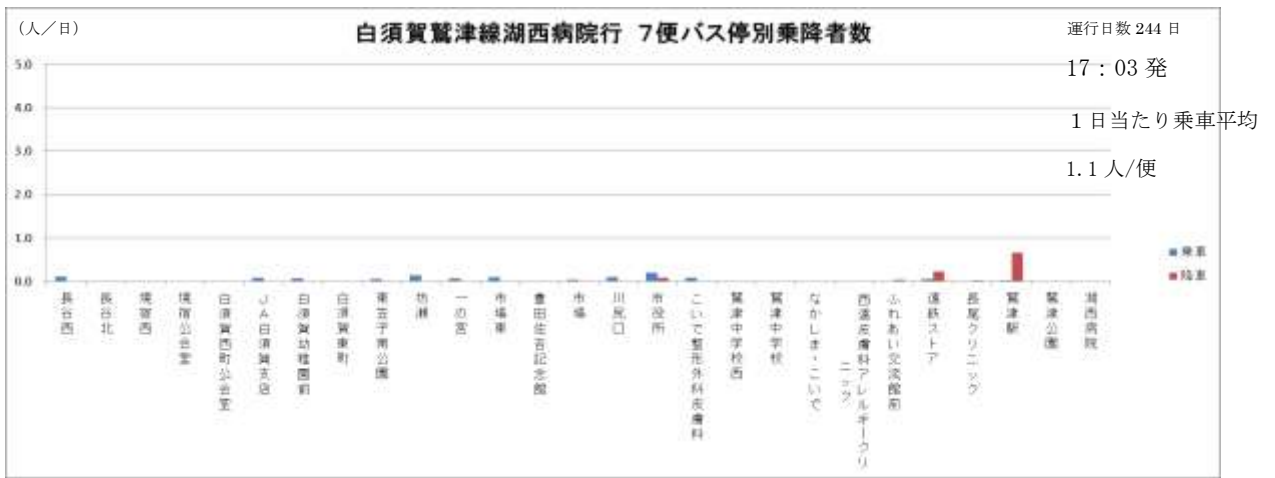
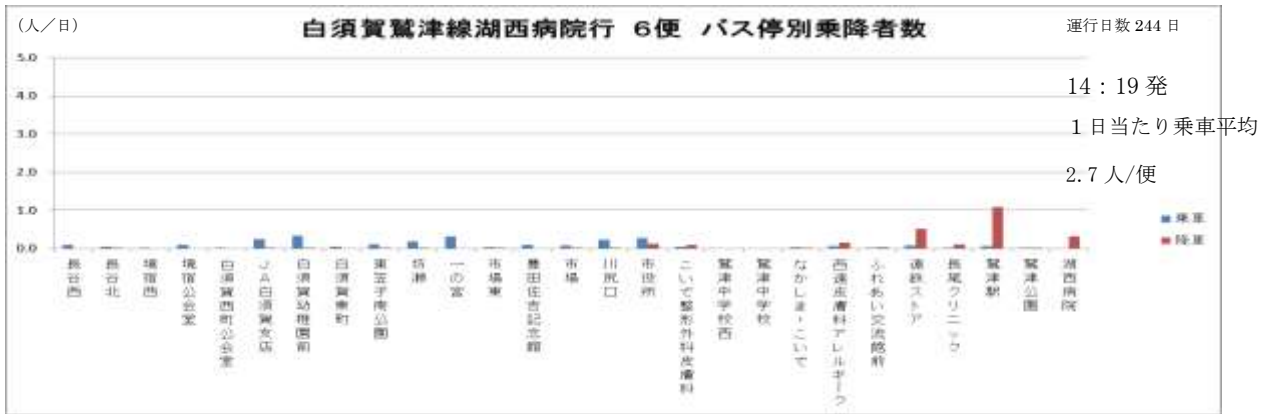
白須賀鷺津線便別の動向

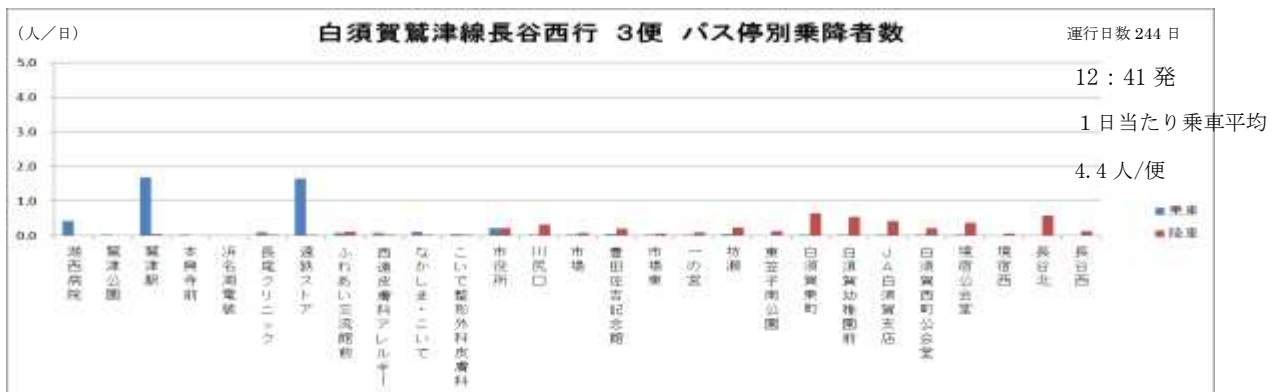
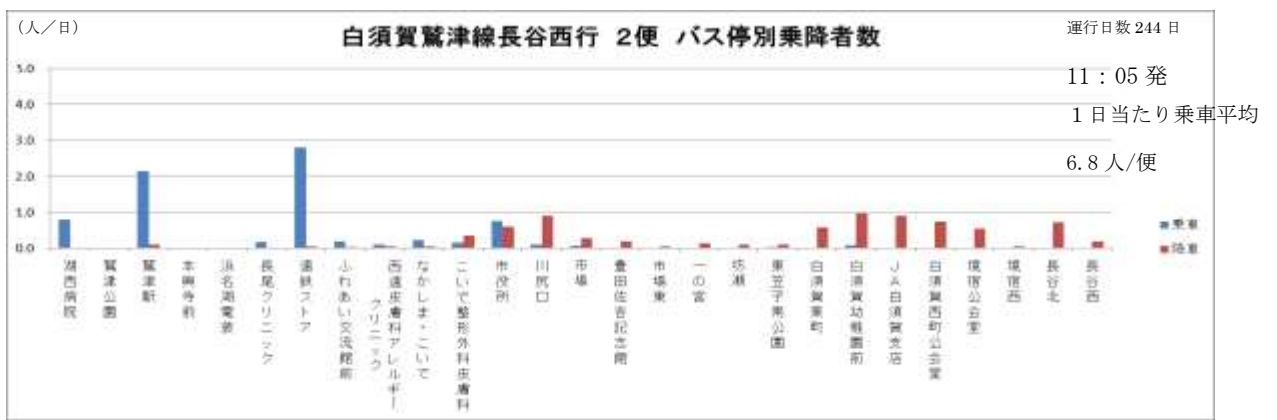
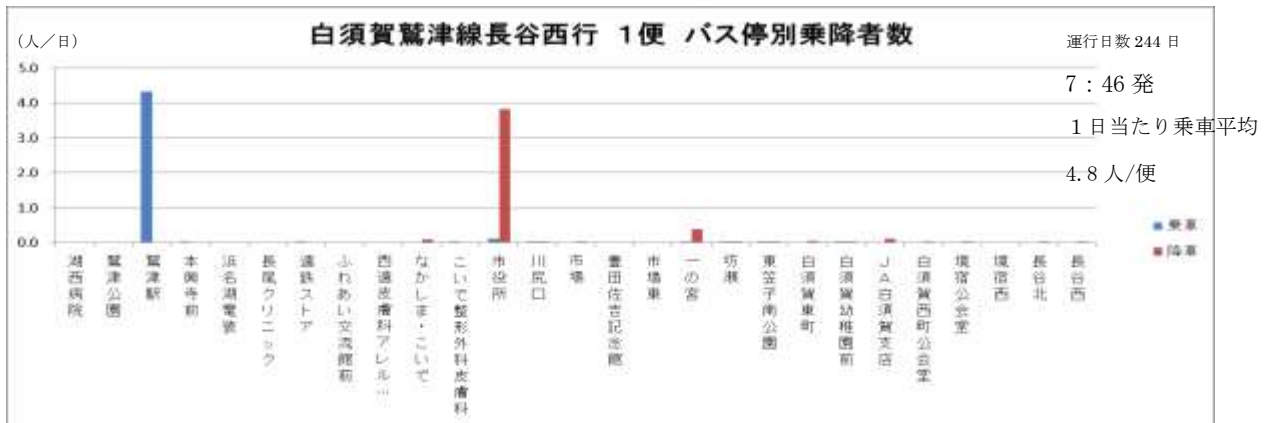
○第 1、第 2 便は鷺津駅への通勤で利用

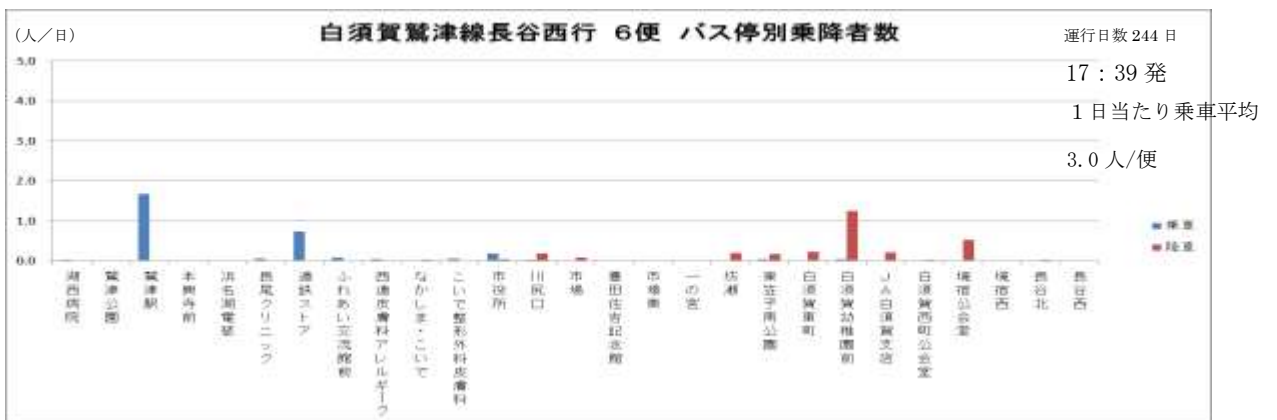
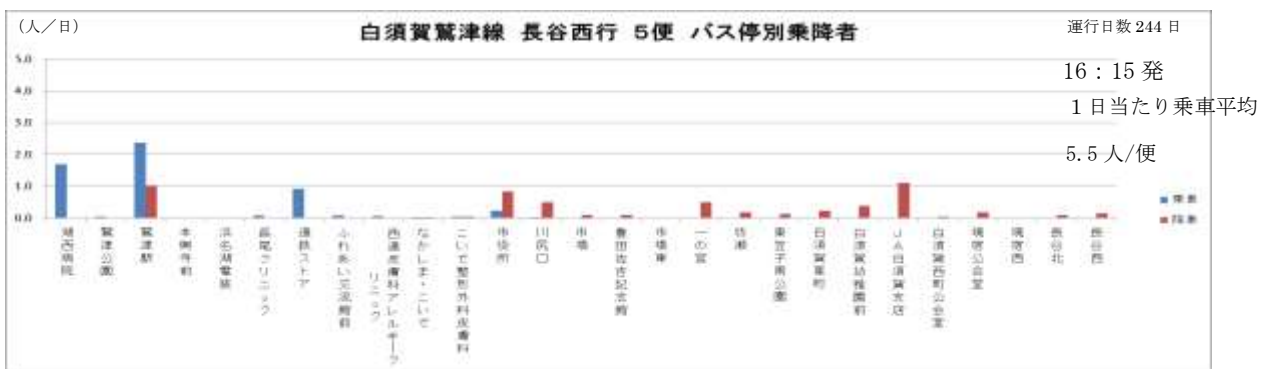
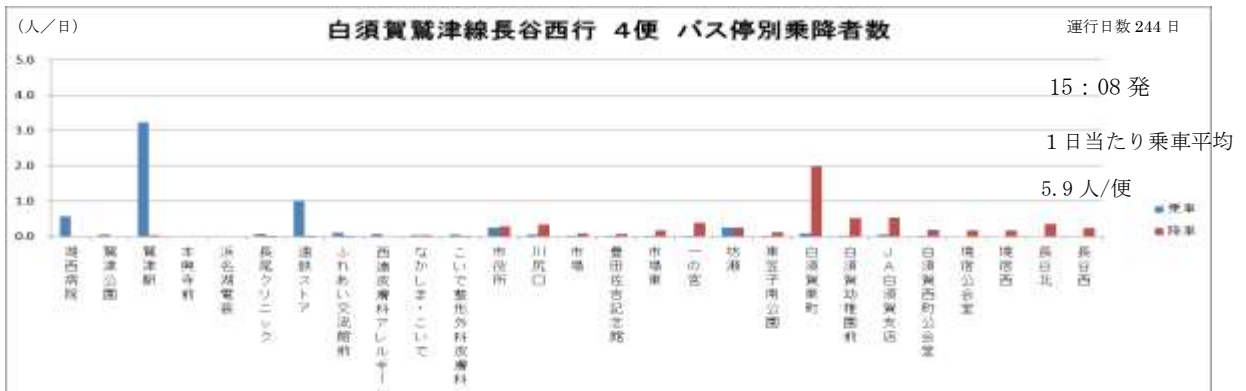
○第 3 便以降は、鷺津地区での買い物や通院目的の利用が多い。





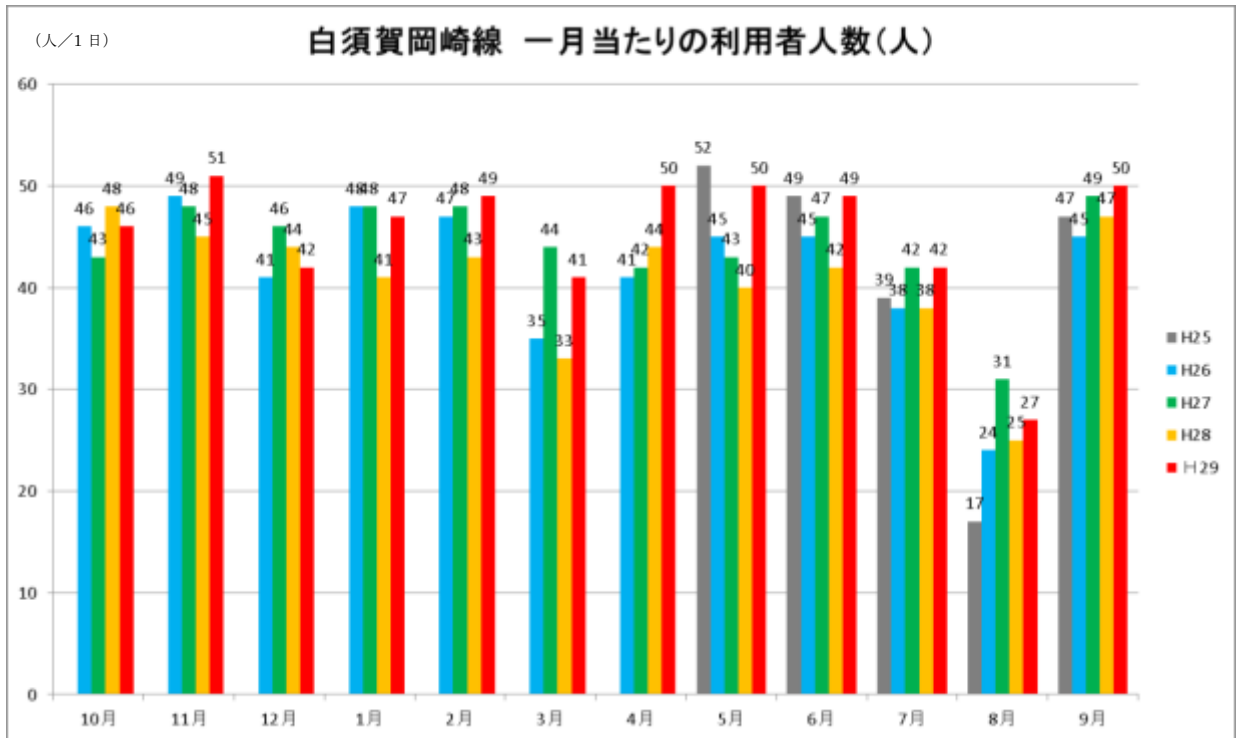






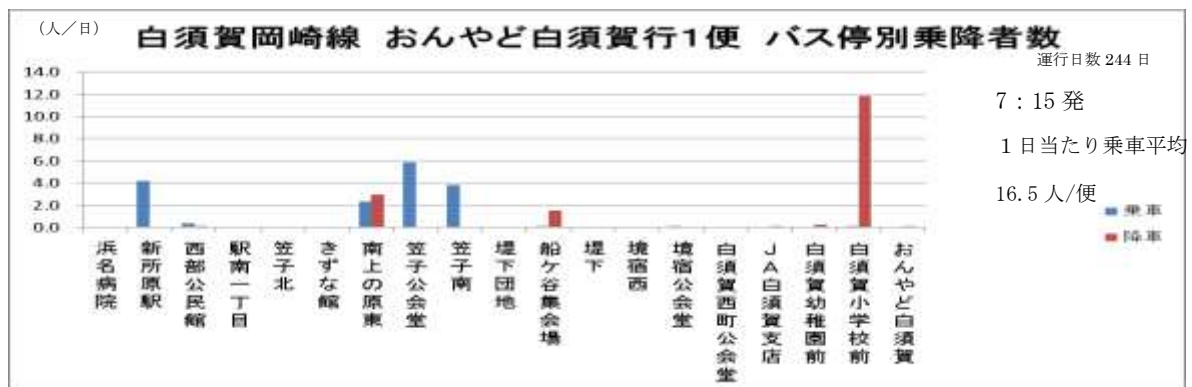
3-2-3 白須賀岡崎線バス停別、便別利用者動向

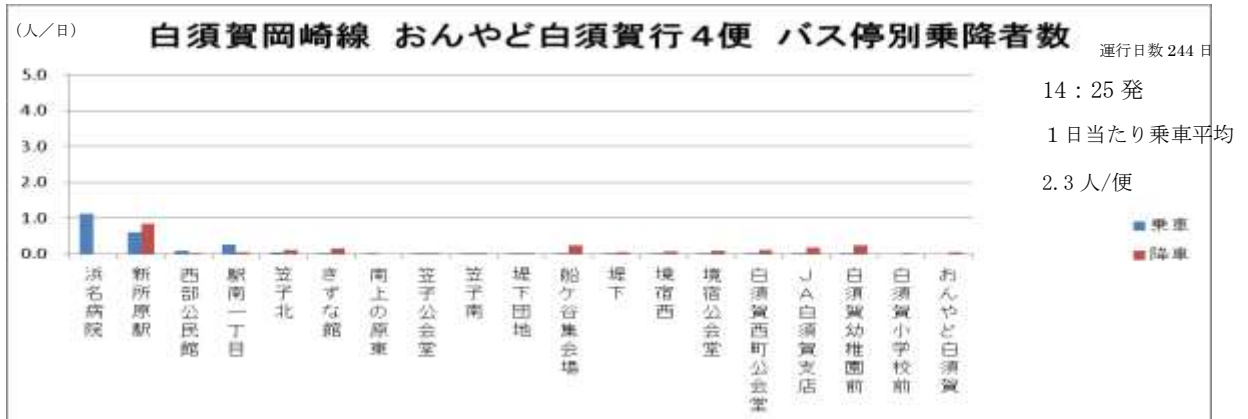
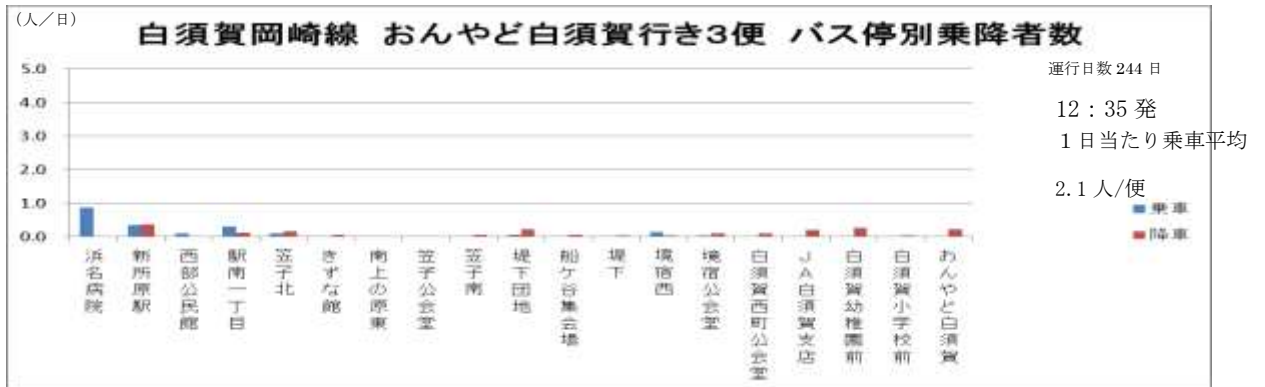
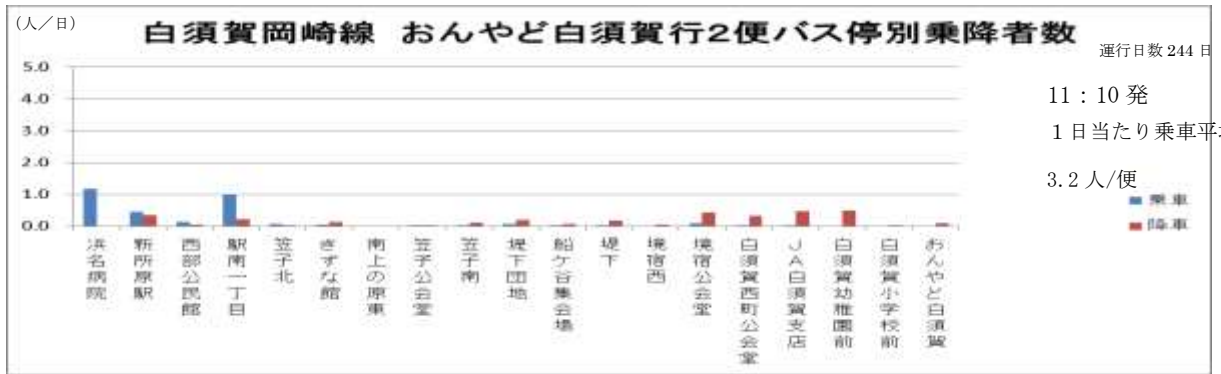
- 白須賀岡崎線は、主に白須賀小学校の通学に利用されている。
- 平成28年度に比べて1,153人/年の増加。

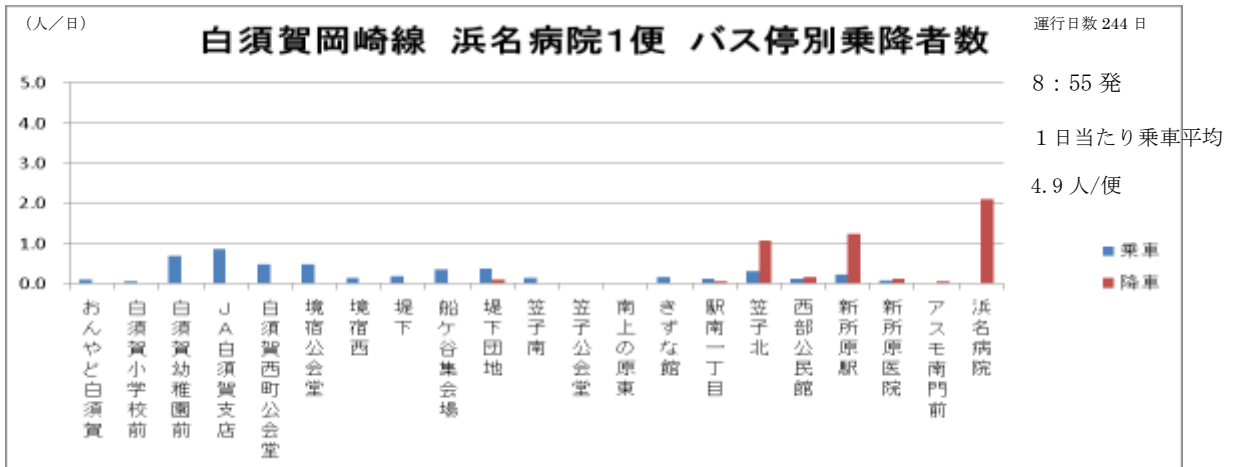
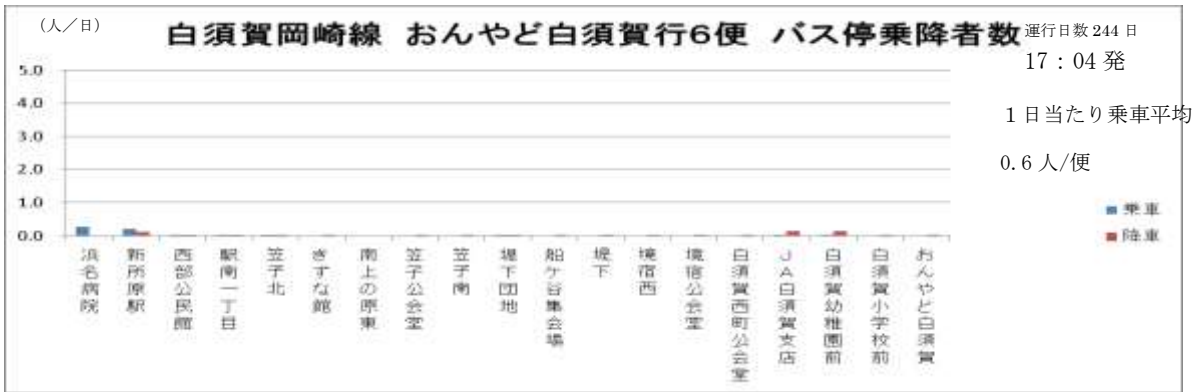
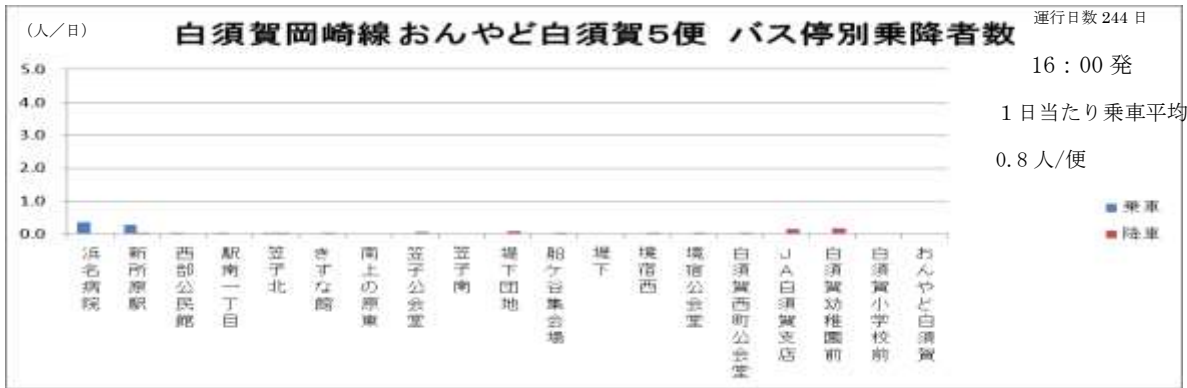


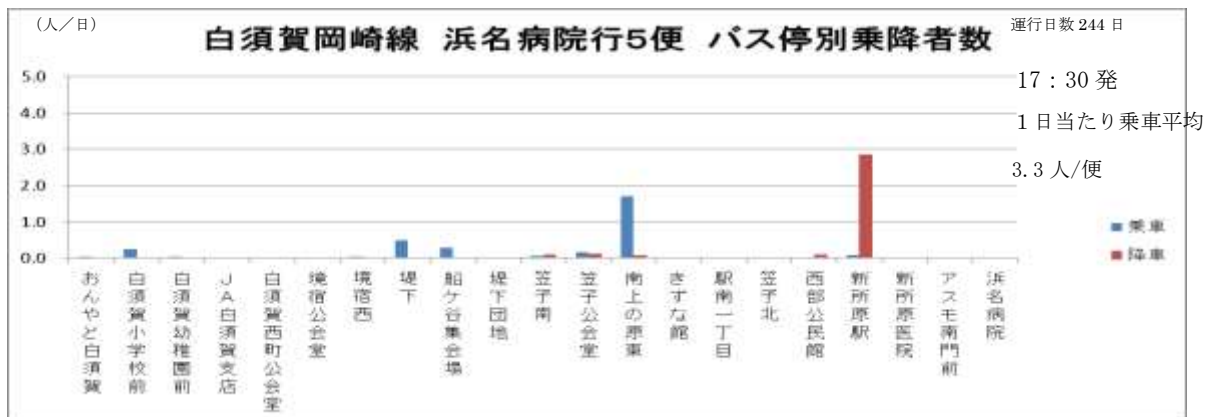
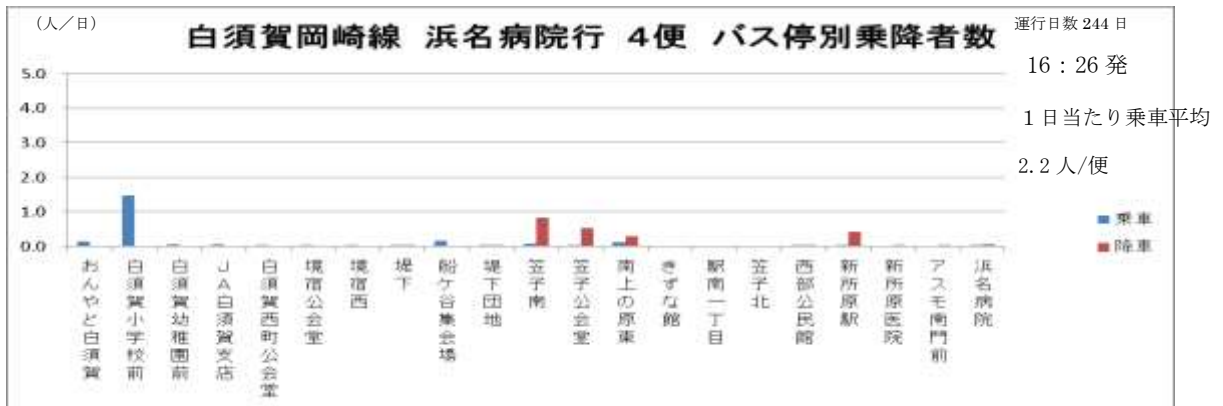
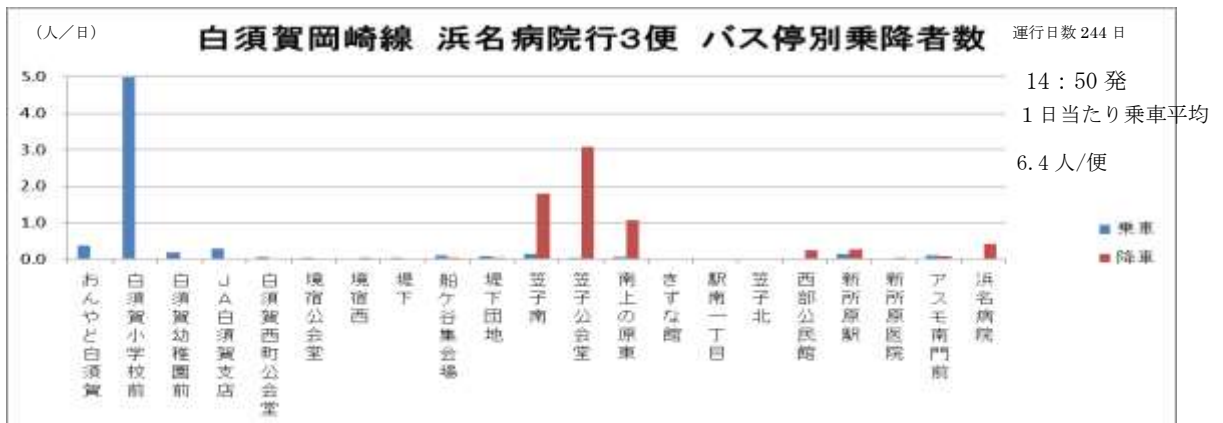
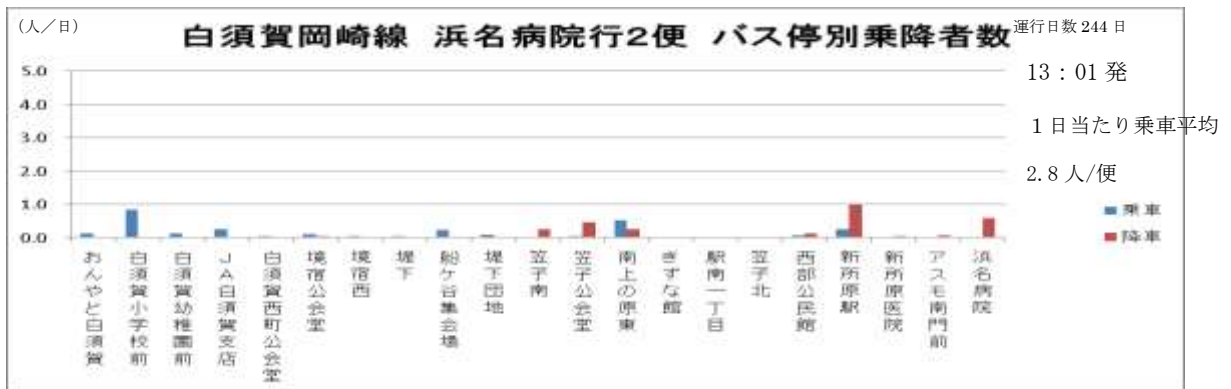
白須賀岡崎線、便別の利用者動向

- 第1便は笠子地区の小学生の通学で利用。浜名病院行第3、4便で下校の利用がある。また、新所原駅～船ヶ谷集会场でスズキ工場への通勤利用がある。
- 第2便では浜名病院などへの利用があるが、第3便以降の利用は少ない。





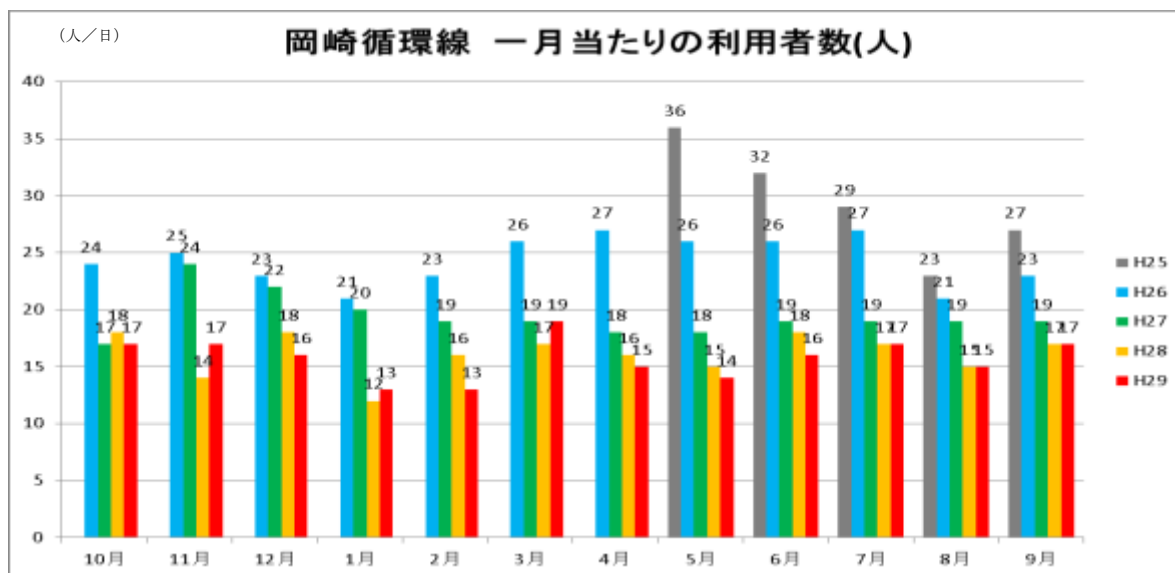




3-2-4 岡崎循環線バス停別、便別利用者動向

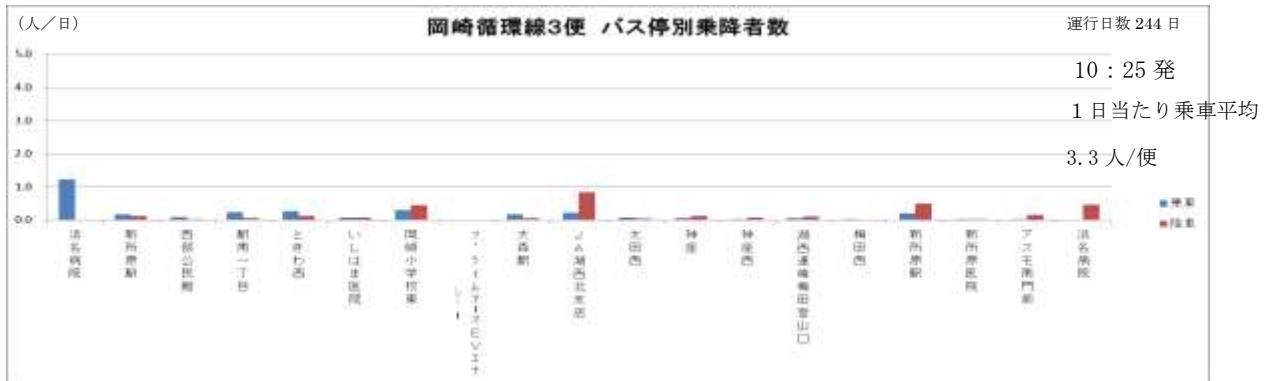
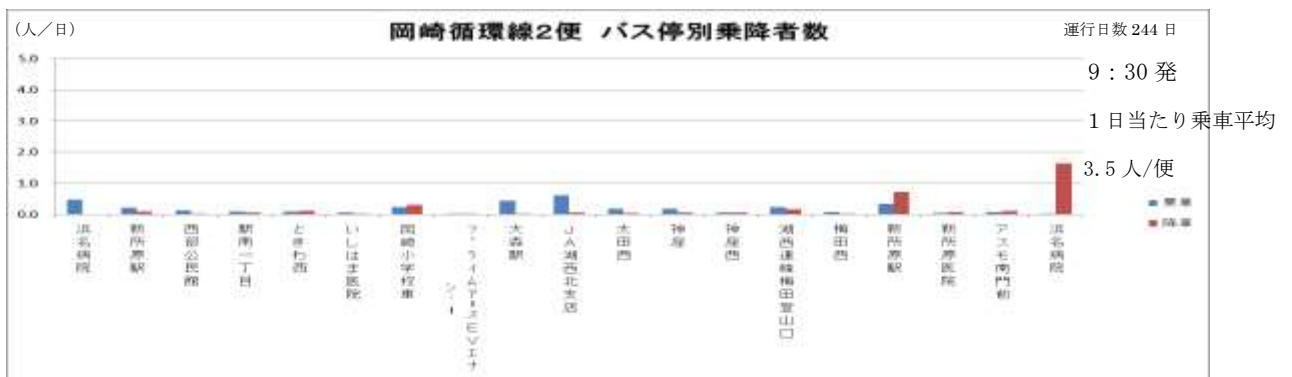
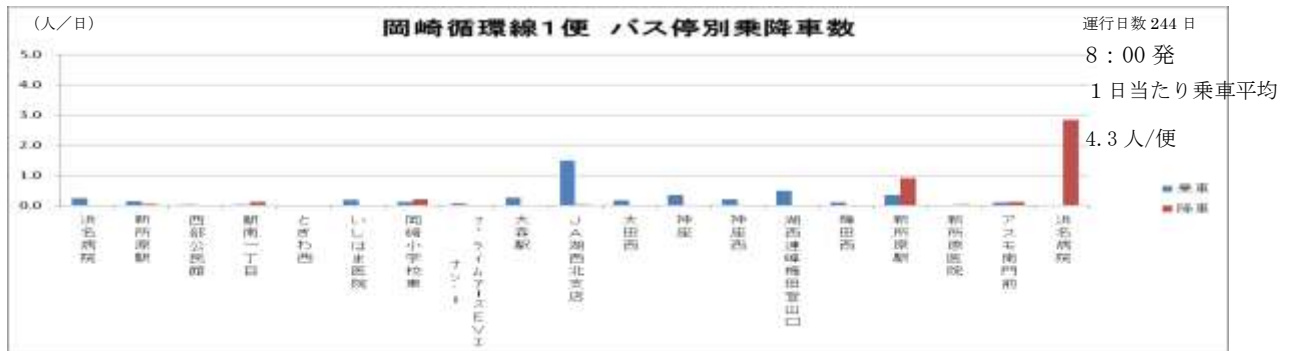
○岡崎循環線は、昨年よりも利用が減少している。利用の多くは浜名病院への通院と考えられる。

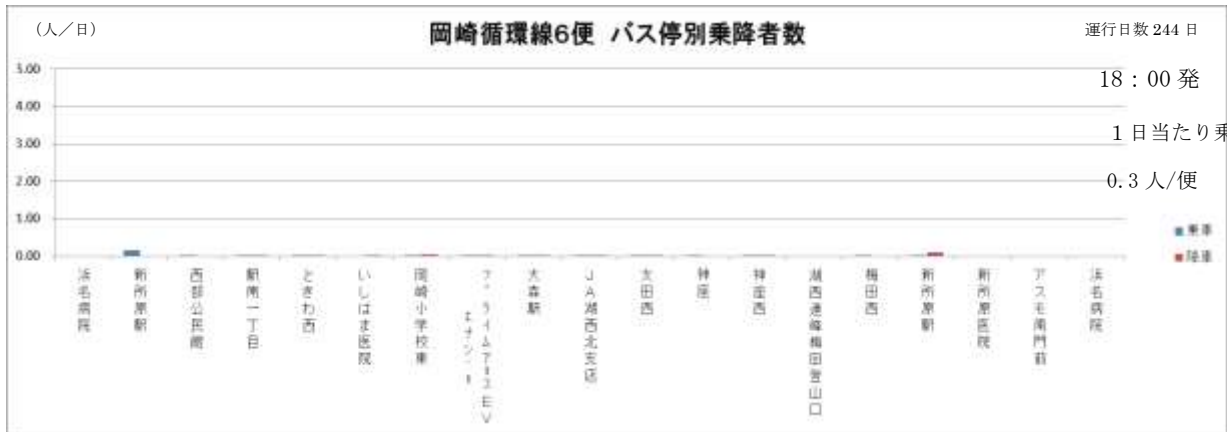
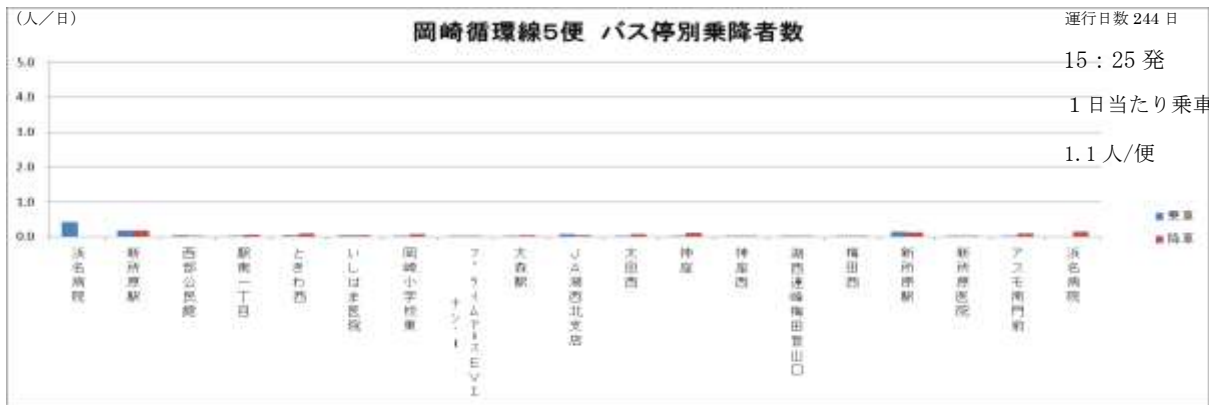
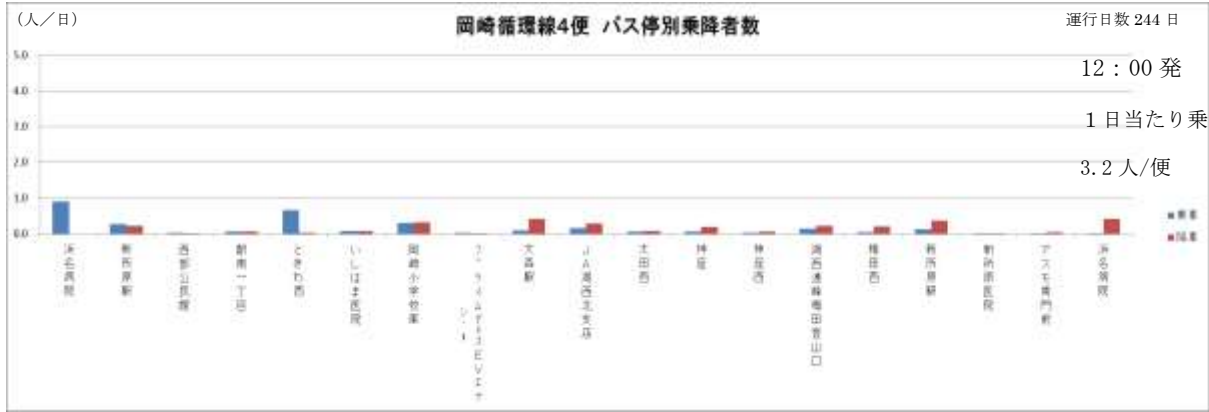
○利用は1日12~20人ほどであり、他路線と比べて少ない。



岡崎循環線 便別の利用者動向

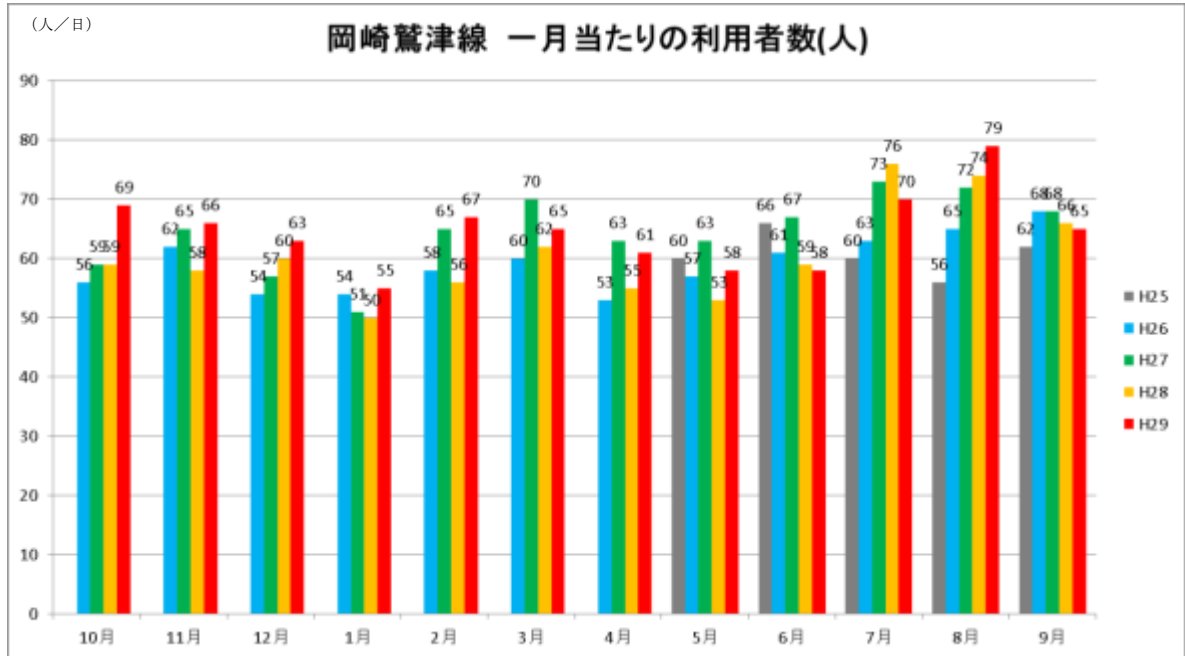
- 知波田鷲津線からの乗り継いでの利用と比べて、岡崎地区内の利用は少ない。
- 午後になると利用が減少する傾向にある。





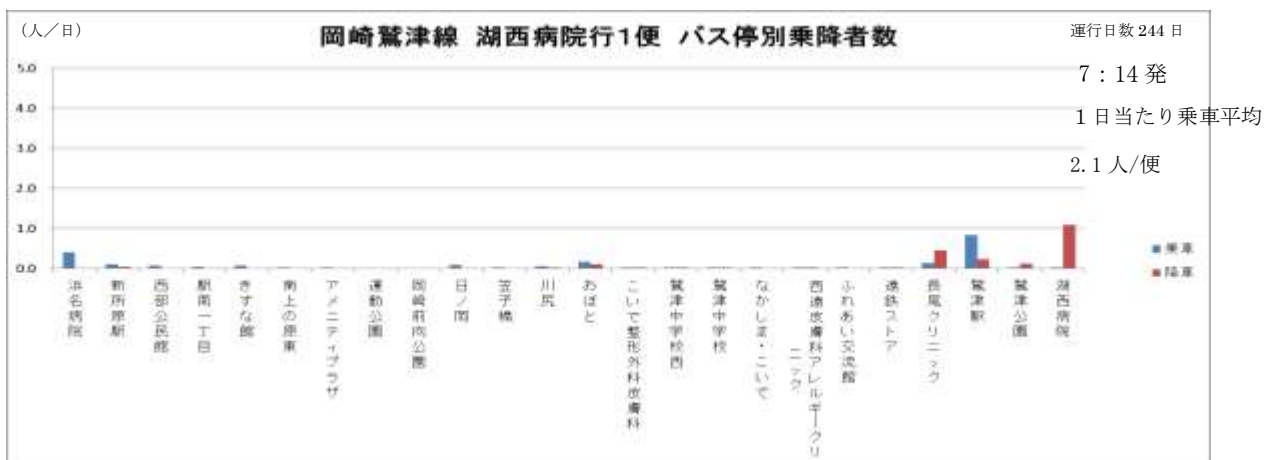
3-2-5 岡崎鷺津線バス停別、便別利用者動向

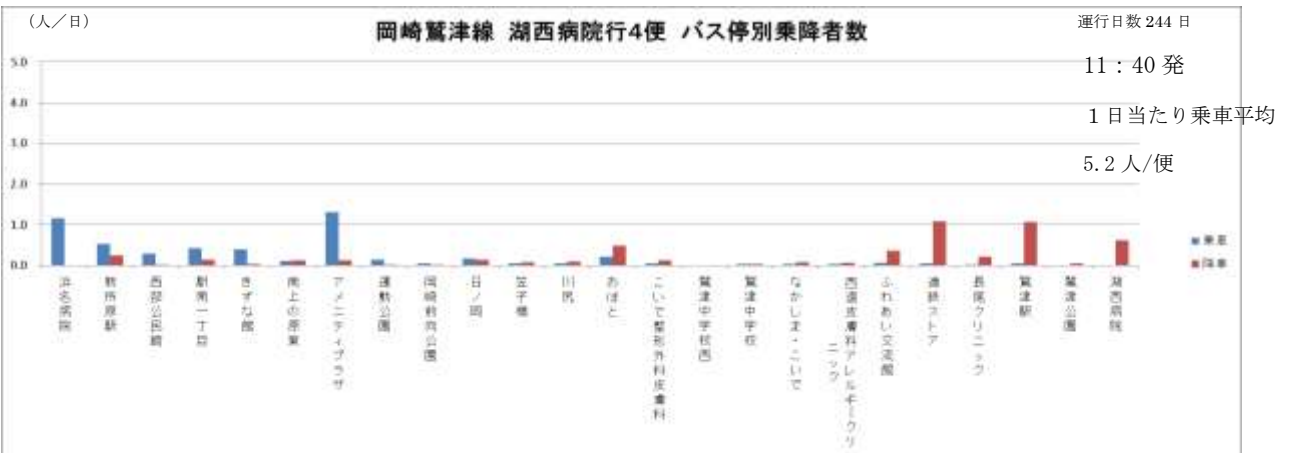
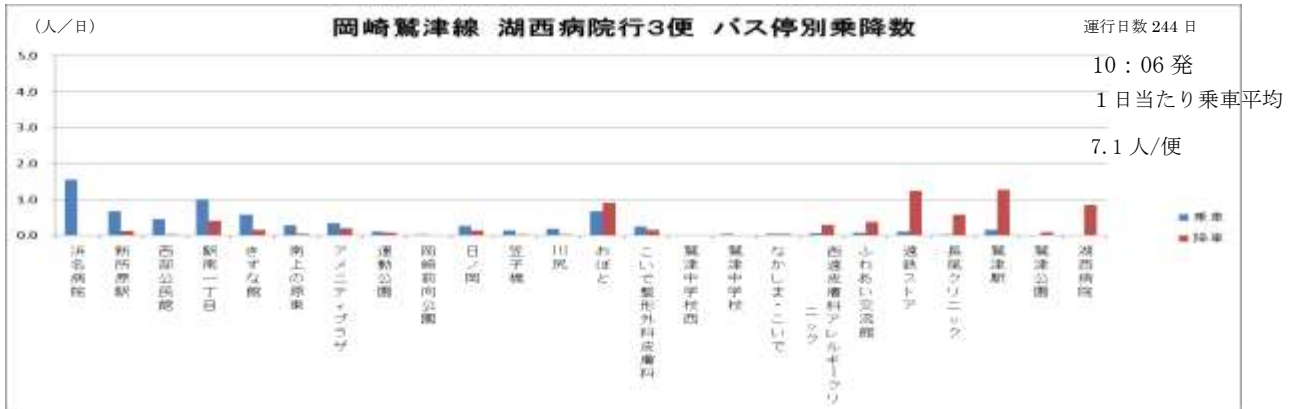
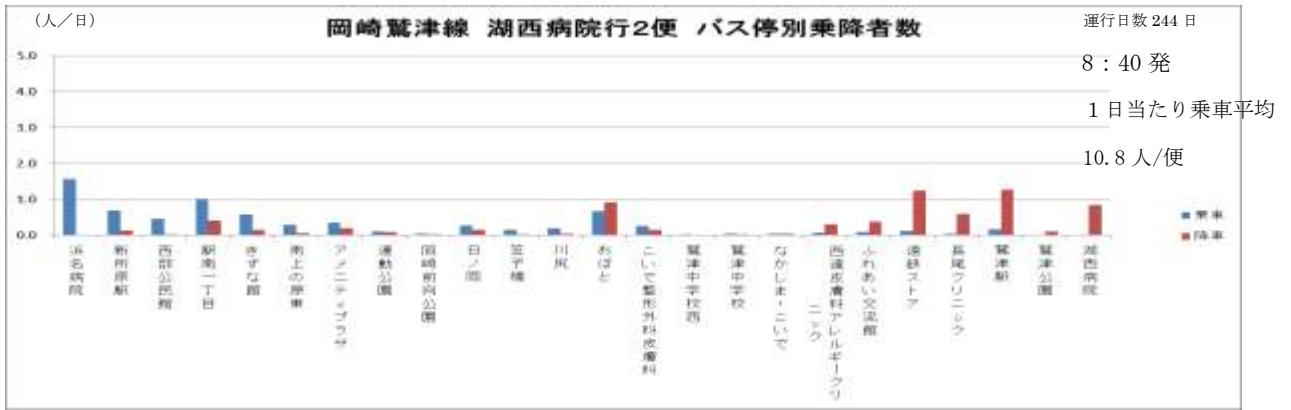
- 岡崎鷺津線は、経路変更した10月以降、6月、7月以外では利用者が増加している。
- 路線全体を通じた利用がある。

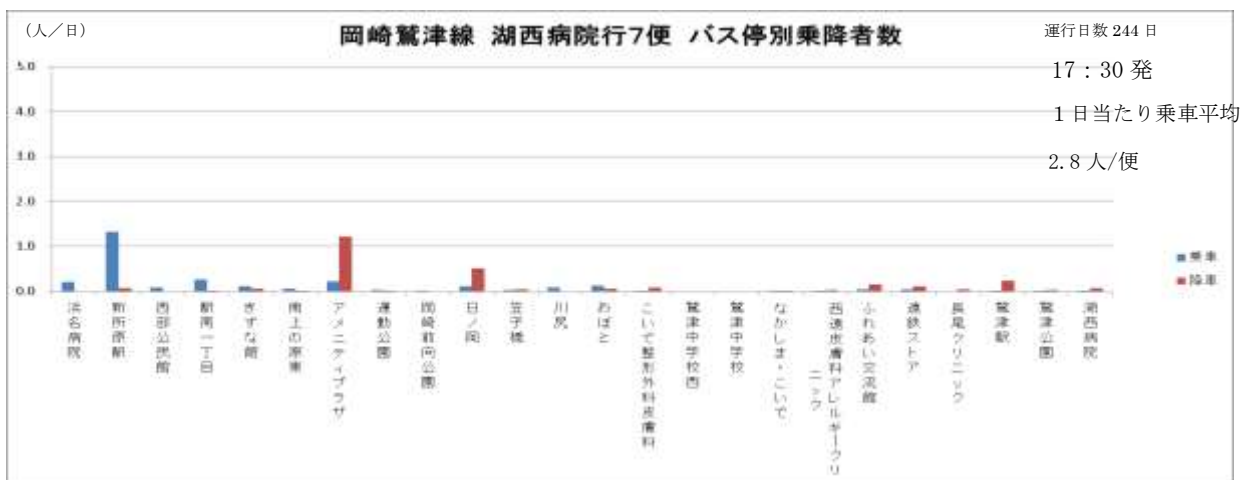
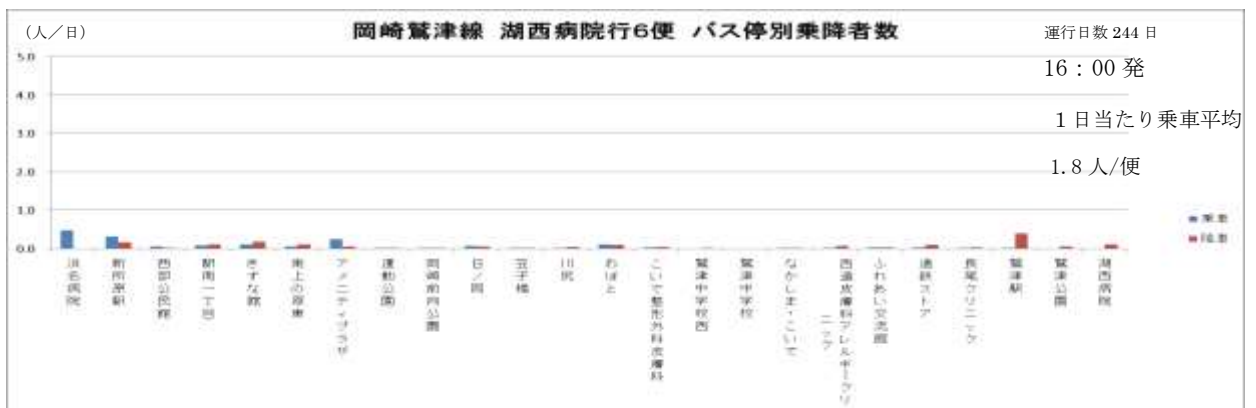
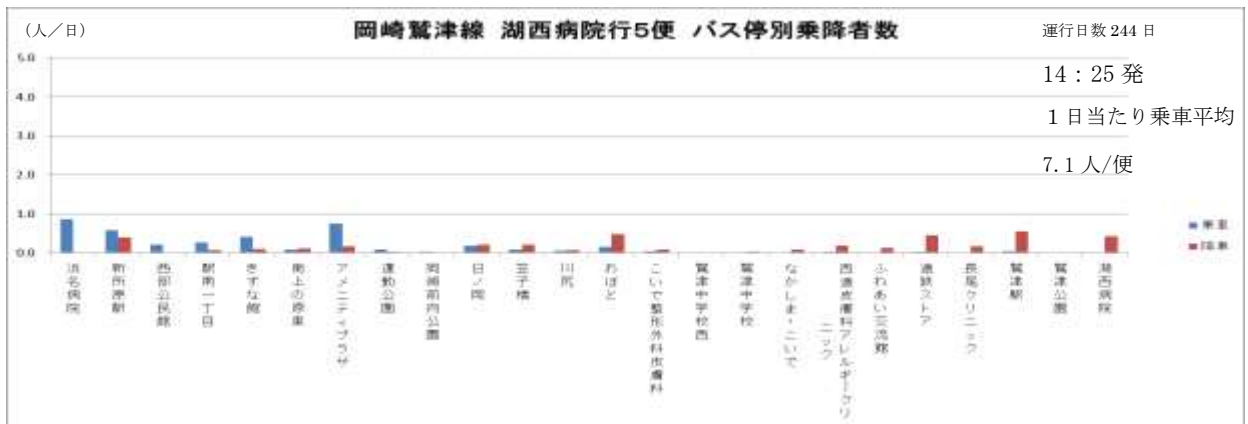


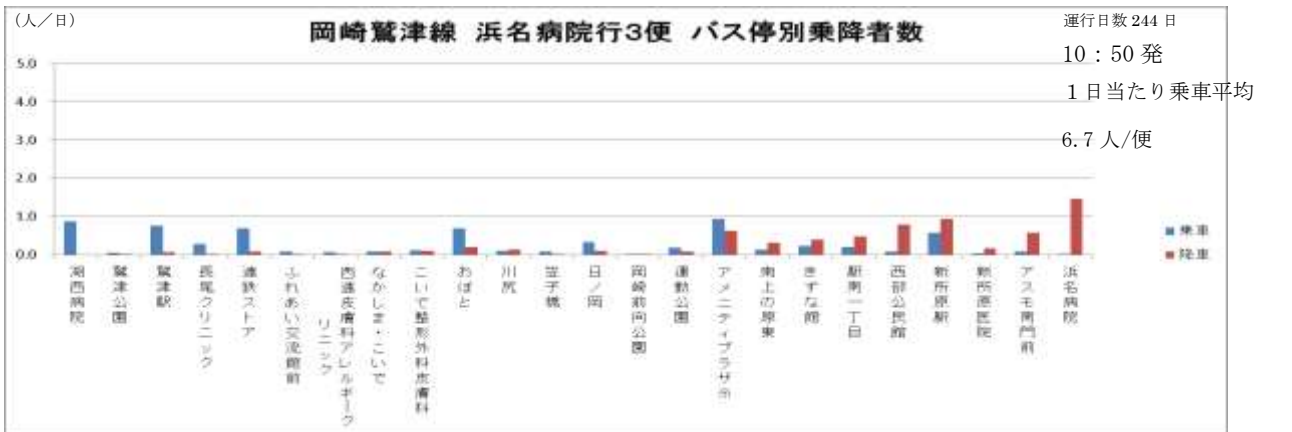
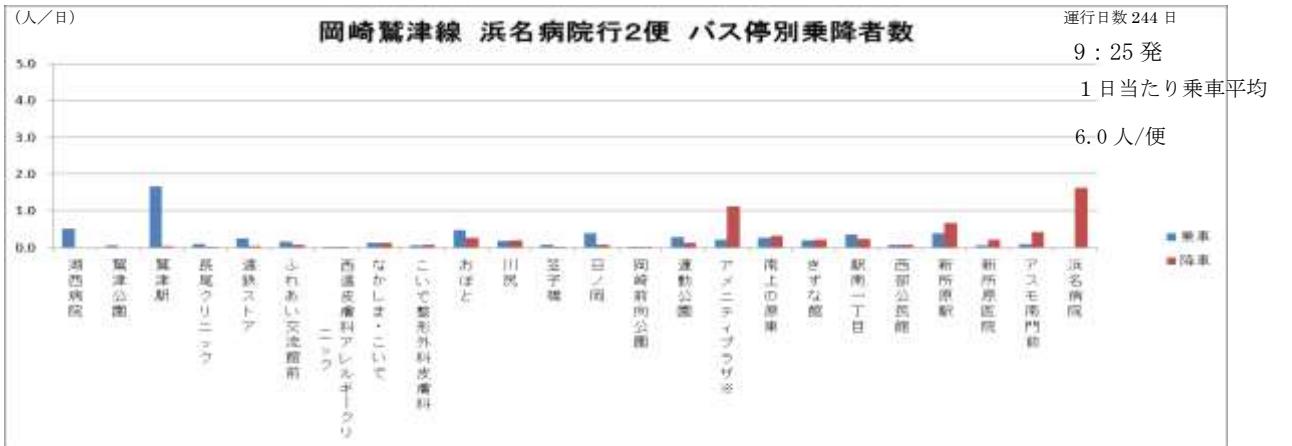
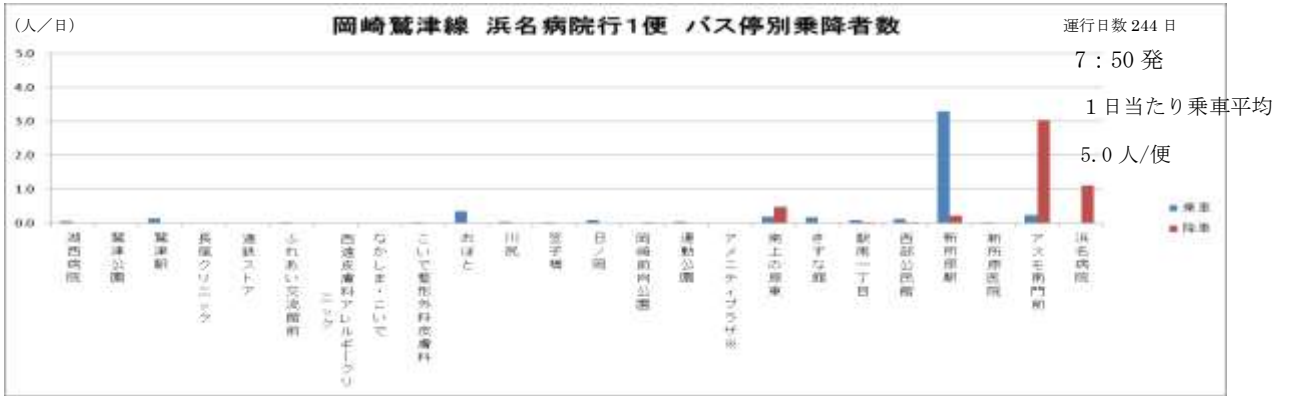
岡崎鷺津線 便別利用者の動向

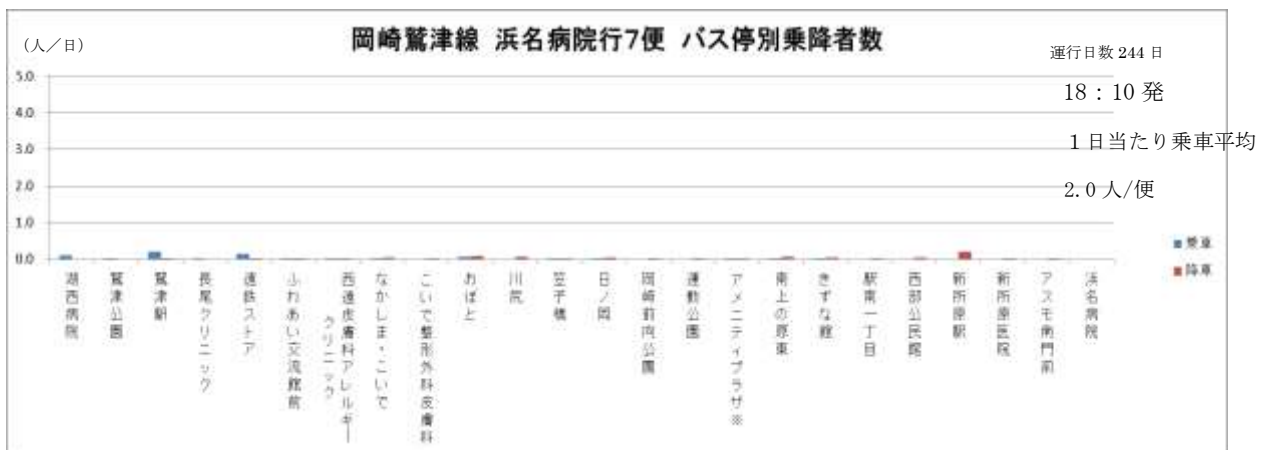
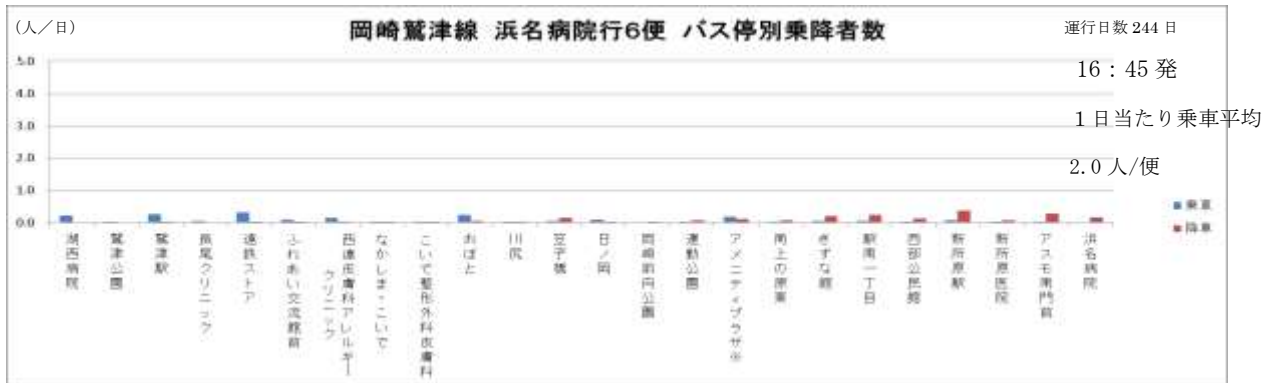
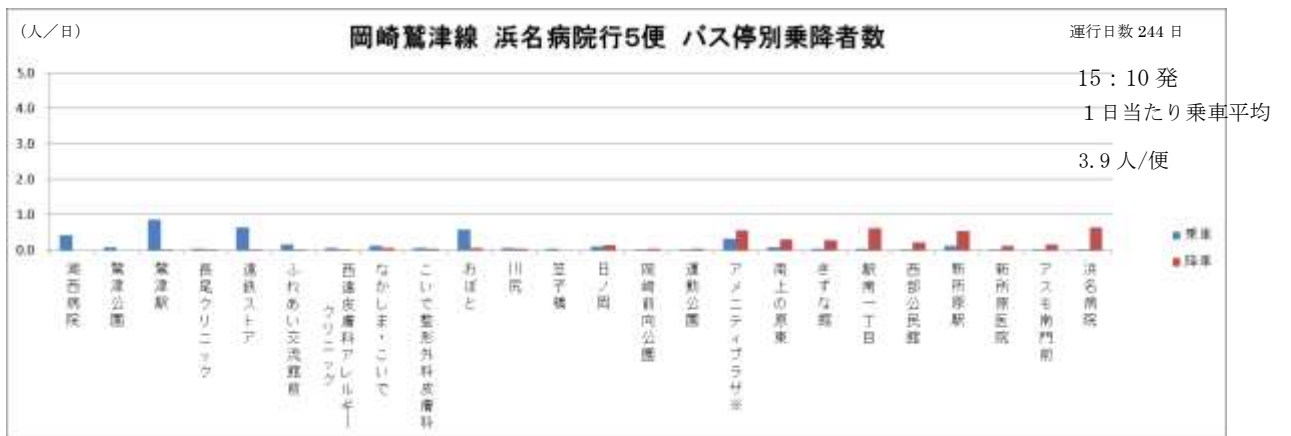
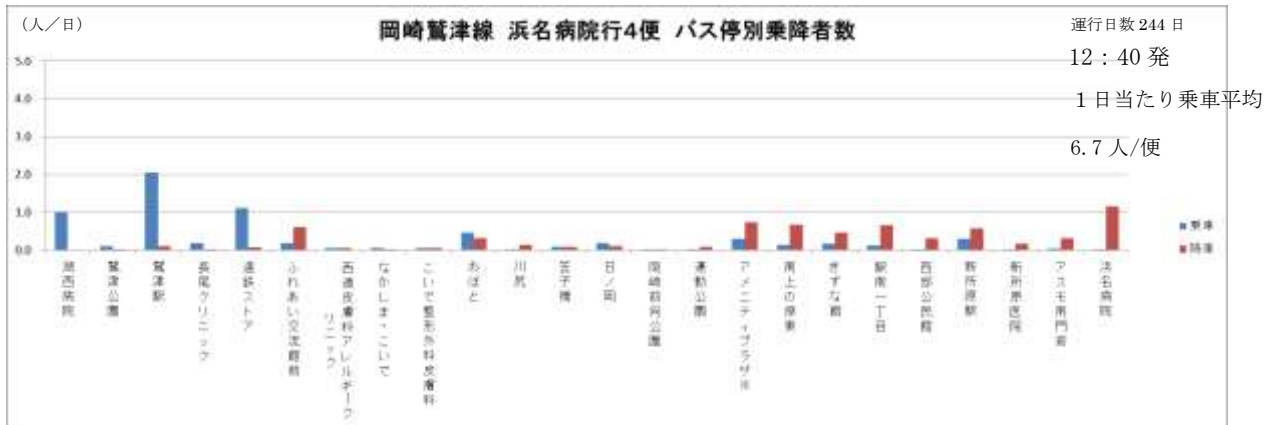
- 湖西病院行の各便では、岡崎地区から鷺津地区への買物、通院などの利用が見られる。
- 浜名病院行の1、2便では新所原駅からアスモ南門への利用がある。
- 浜名病院行、湖西病院行それぞれ、路線全体を通じた利用が見られる。
- 午前、午後にかけて岡崎地区～鷺津地区の往復で利用される傾向がある。





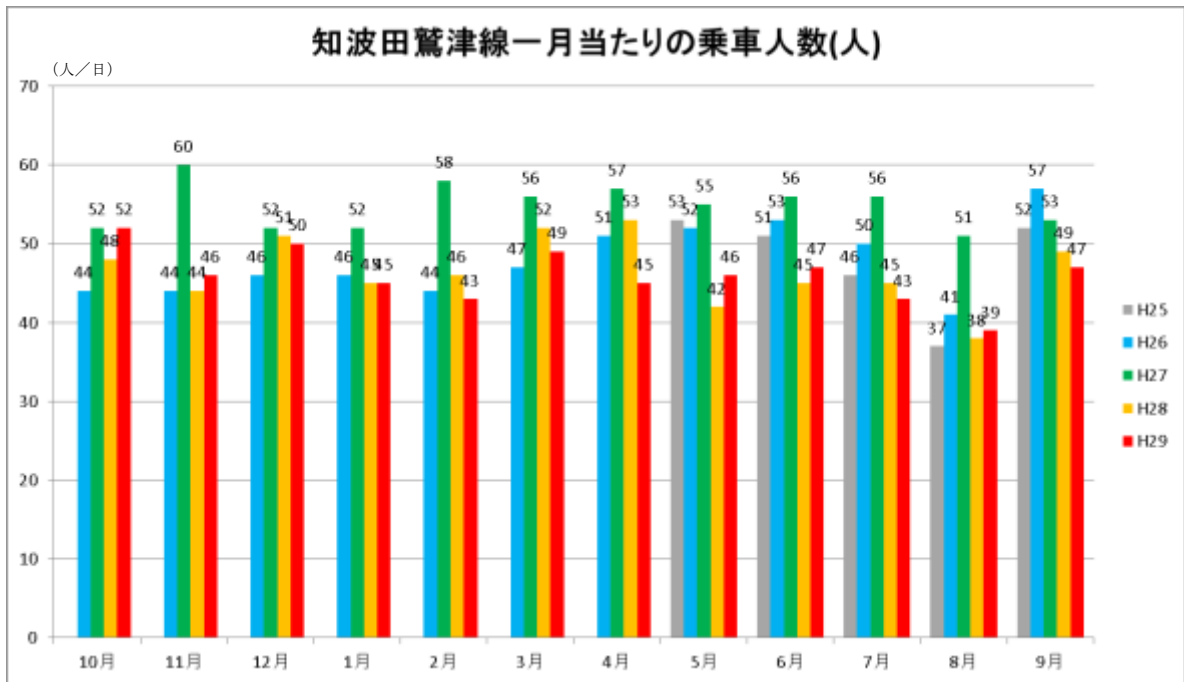






3-2-6 知波田鷲津線バス停別、便別利用者動向

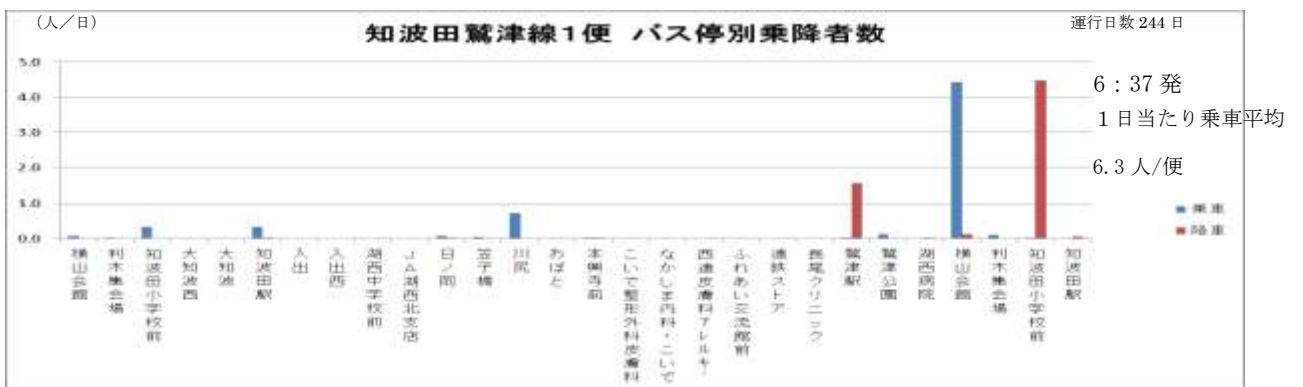
○知波田鷲津線は、平成 28 年 10 月の経路変更以降、利用は増減を繰り返しており、昨年度と同水準の利用となっている。

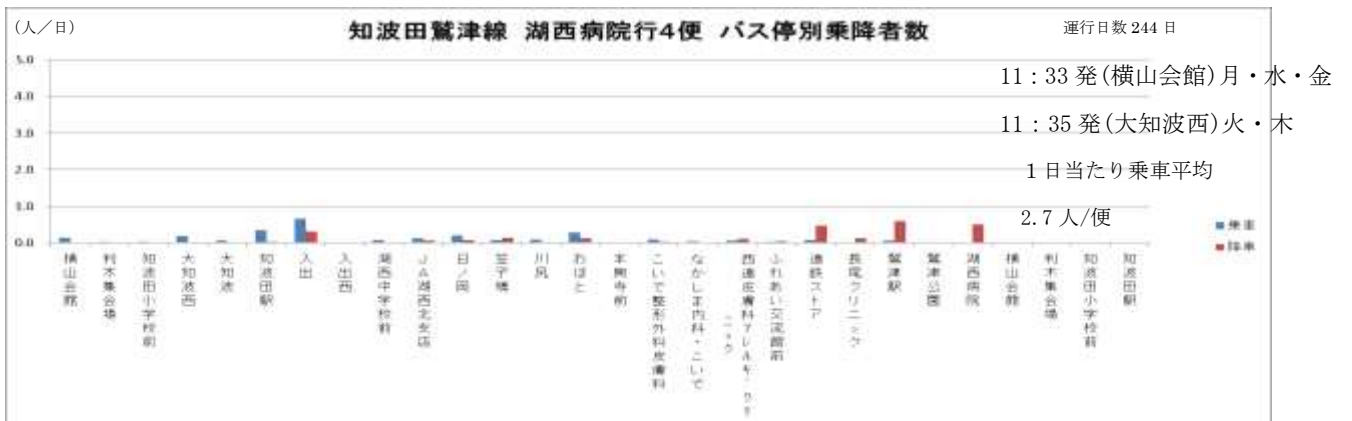
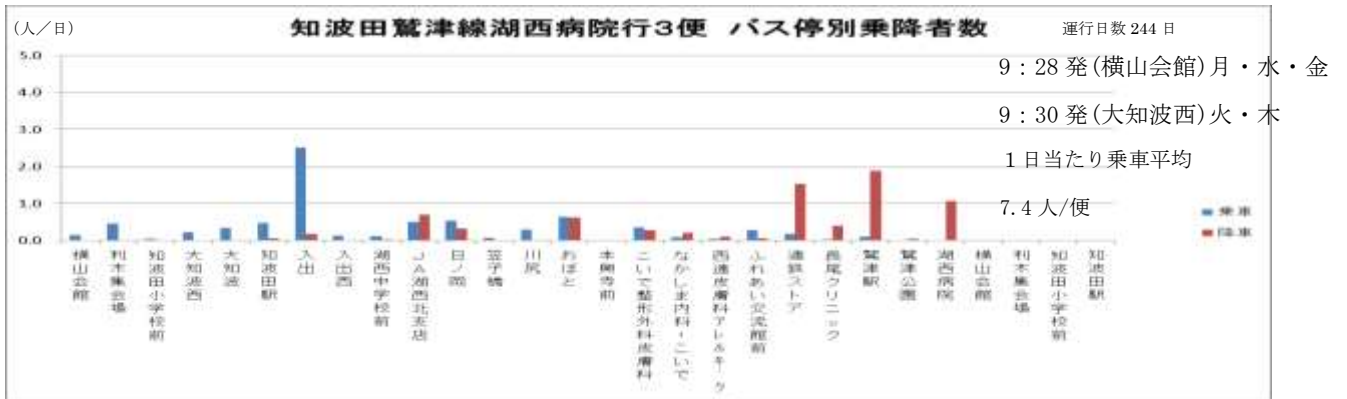
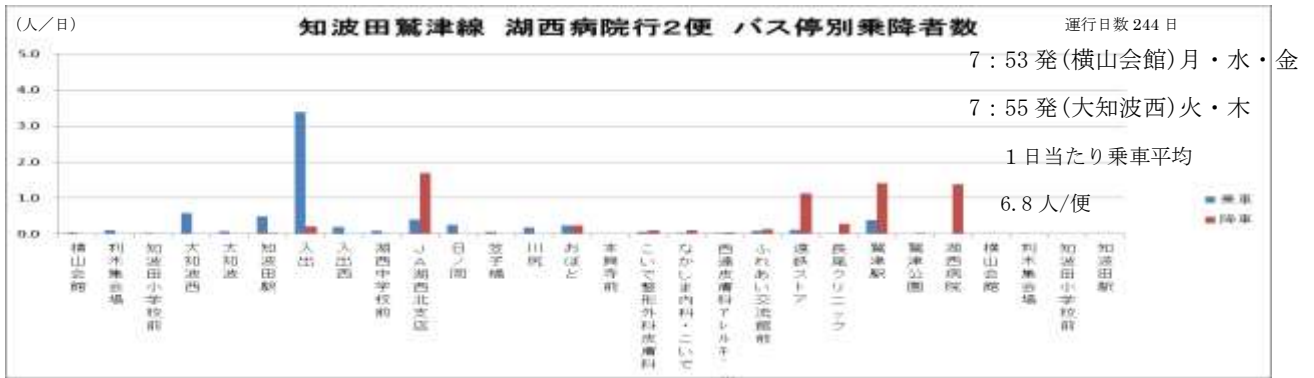


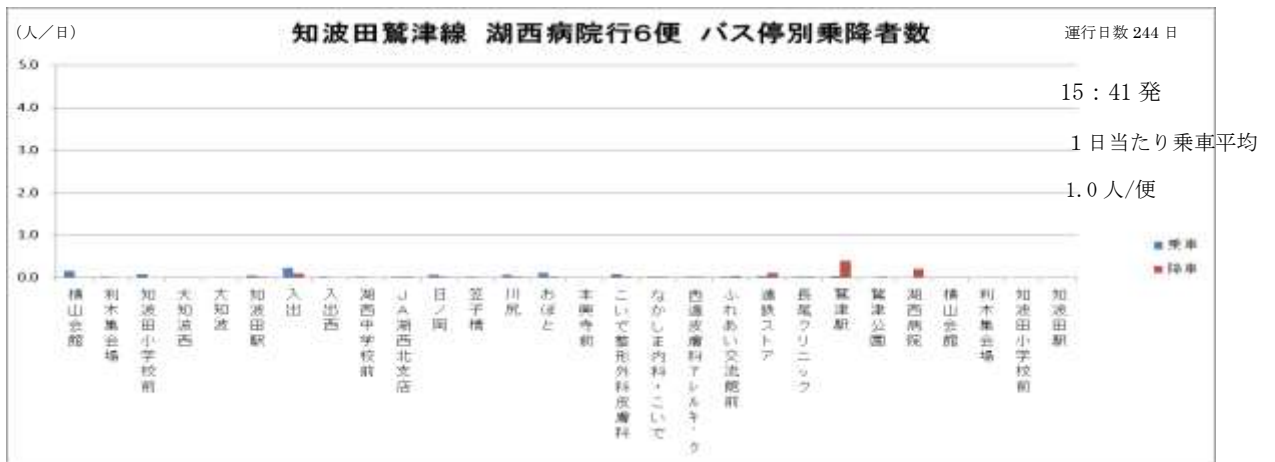
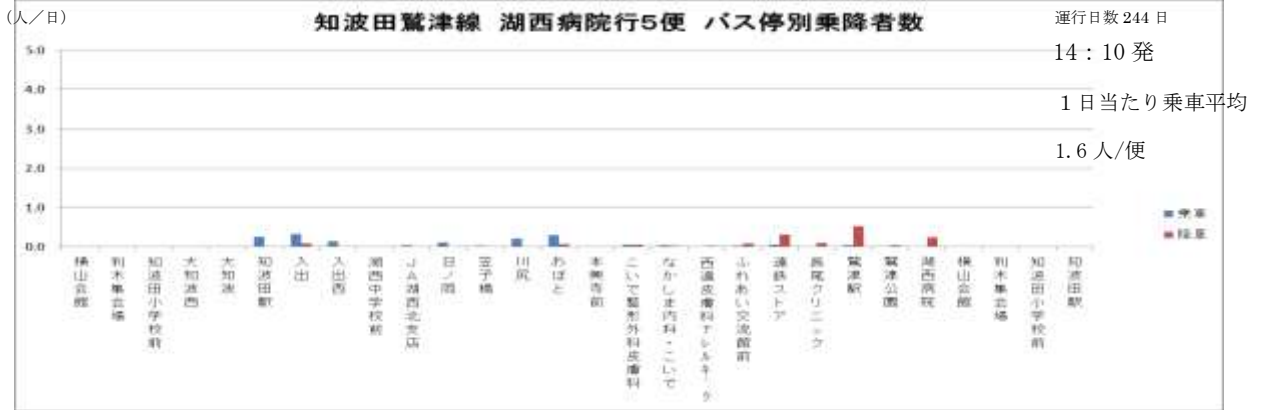
知波田鷲津線 便別利用者の動向

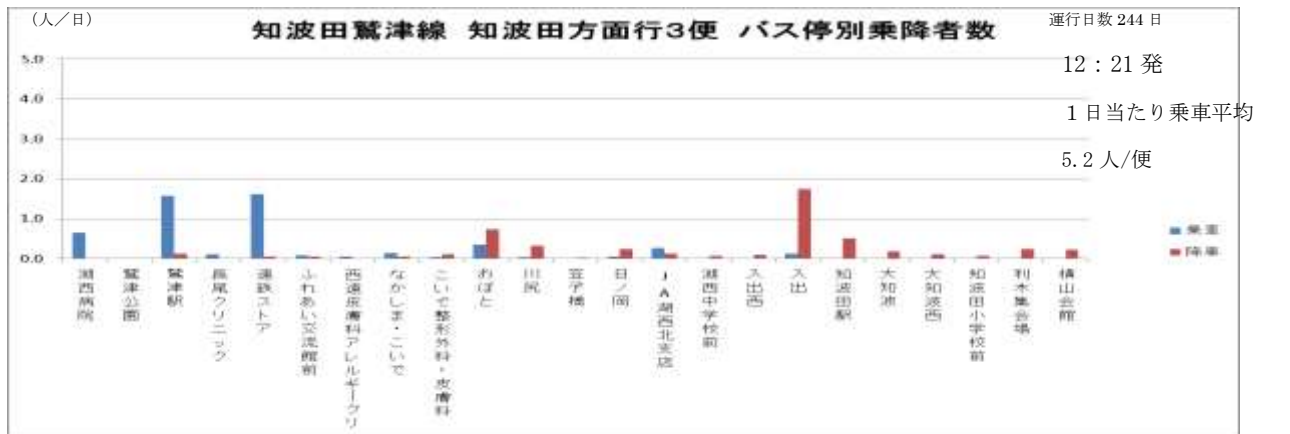
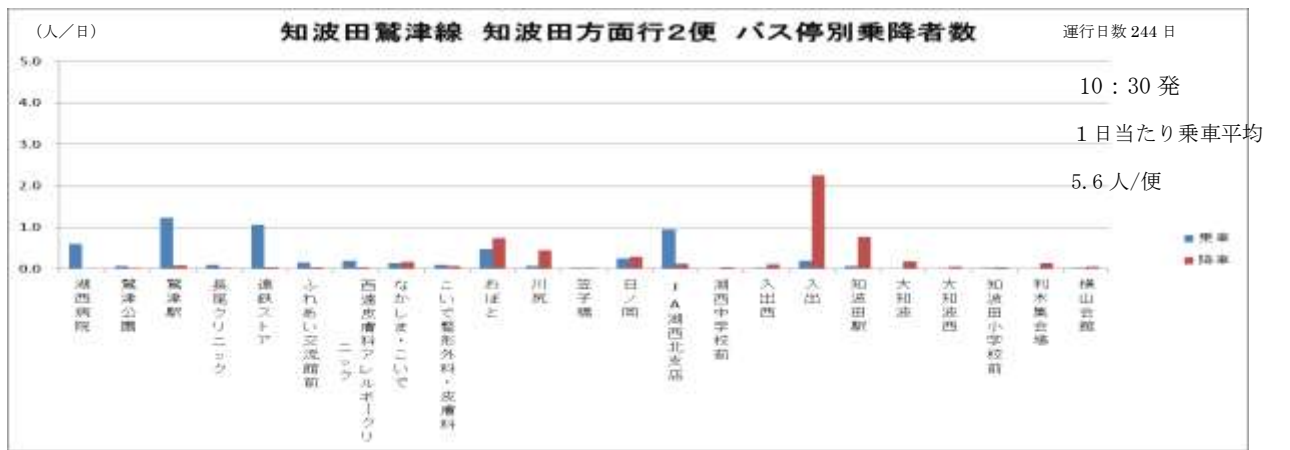
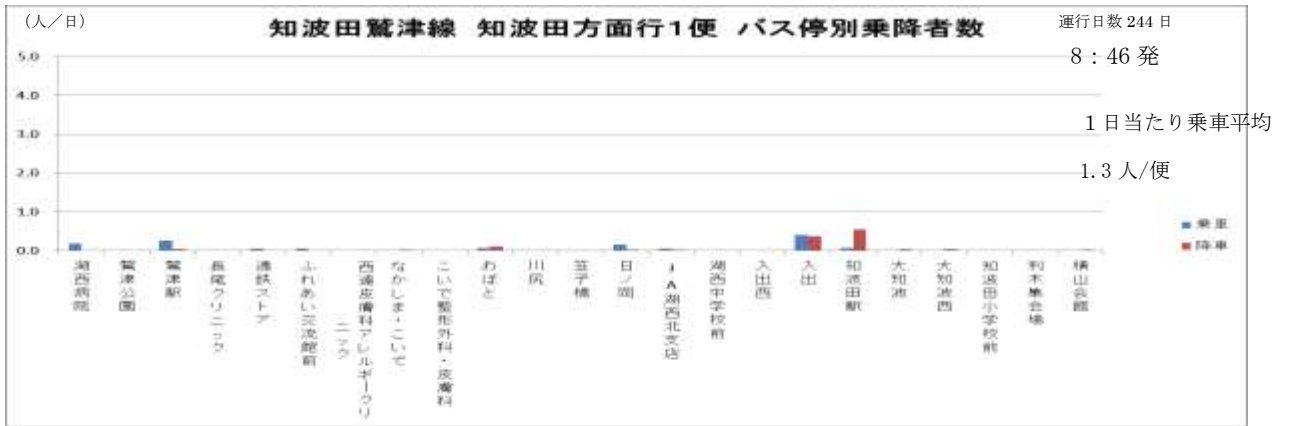
○第 1 便は、横山地域の小学生の通学で利用。

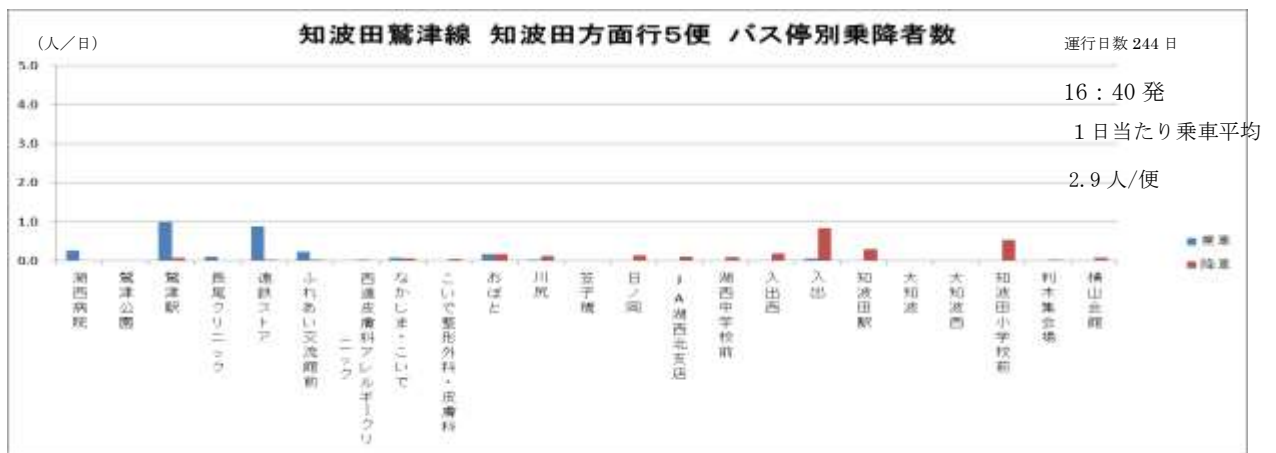
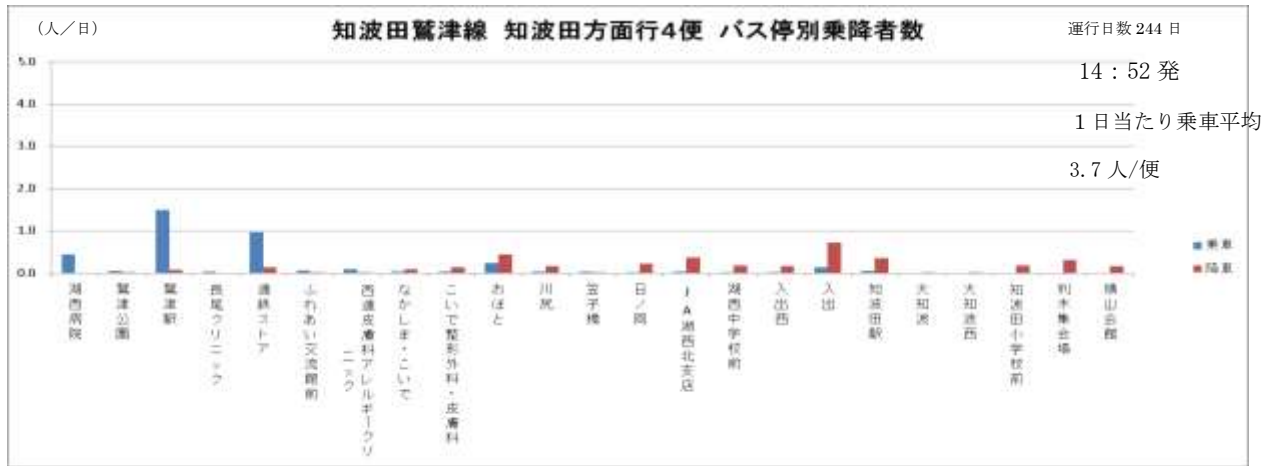
○主に入出、横山、大知波地区から浜名病院、鷲津地区への通院、買物利用として利用されている。





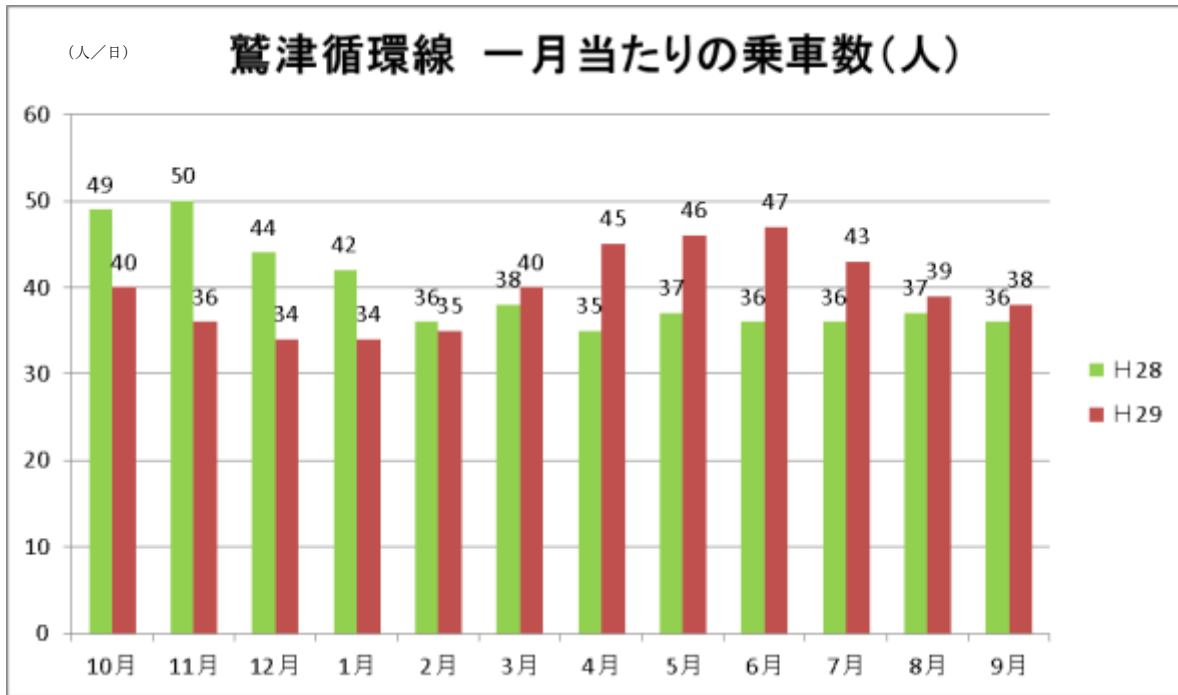






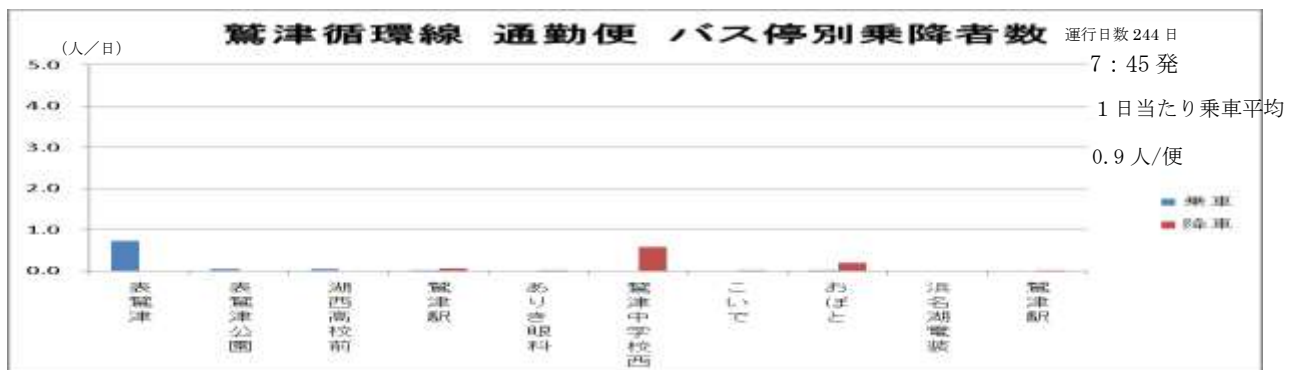
3-2-7 鷺津循環線バス停別、便別利用者動向

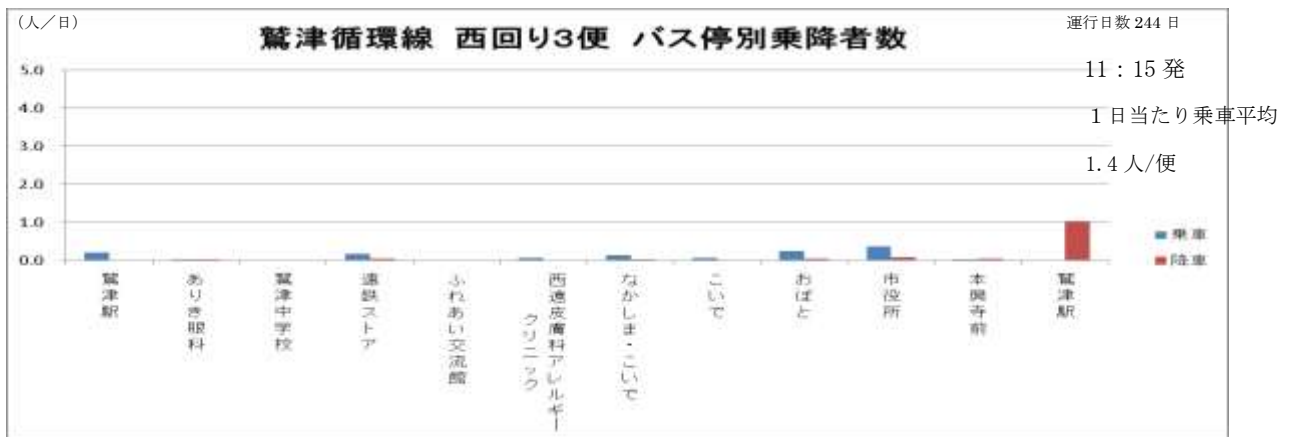
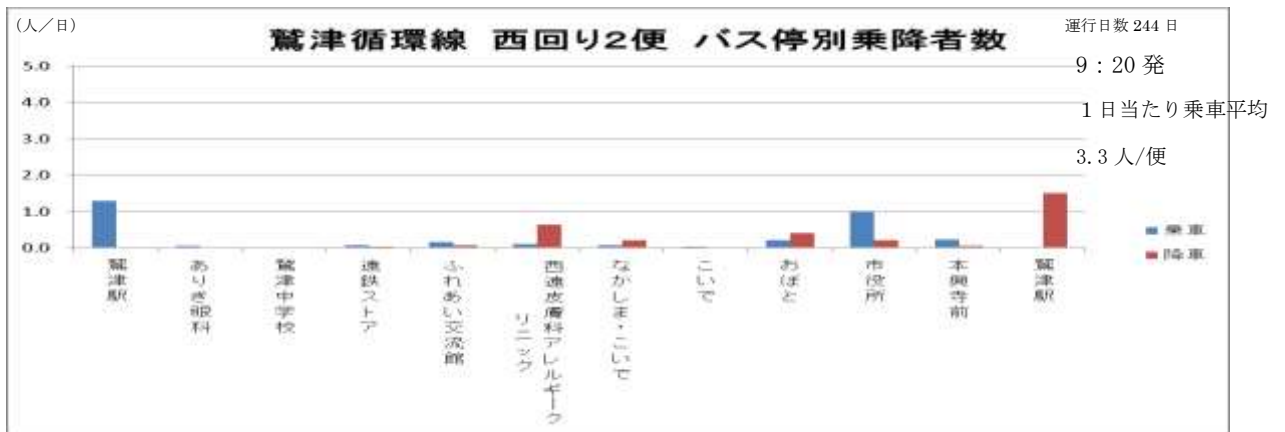
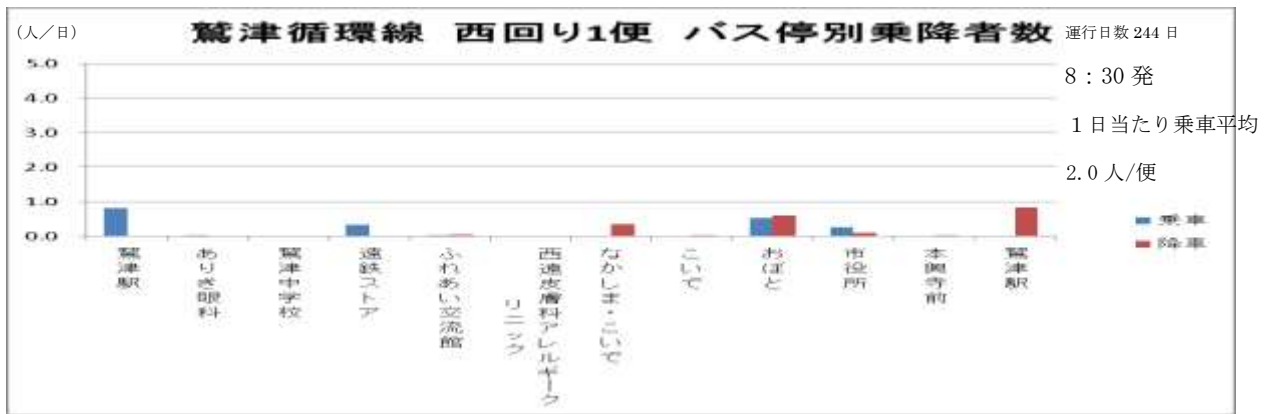
- 平成 27 年 10 月から鷺津循環線の運行を開始。
- 西回りは主に市役所や沿線の診療所への移動、東回りはイオンタウン、クックマートなどの買物で利用されている。
- 最終便の利用が西回り、東回りともに少ない。

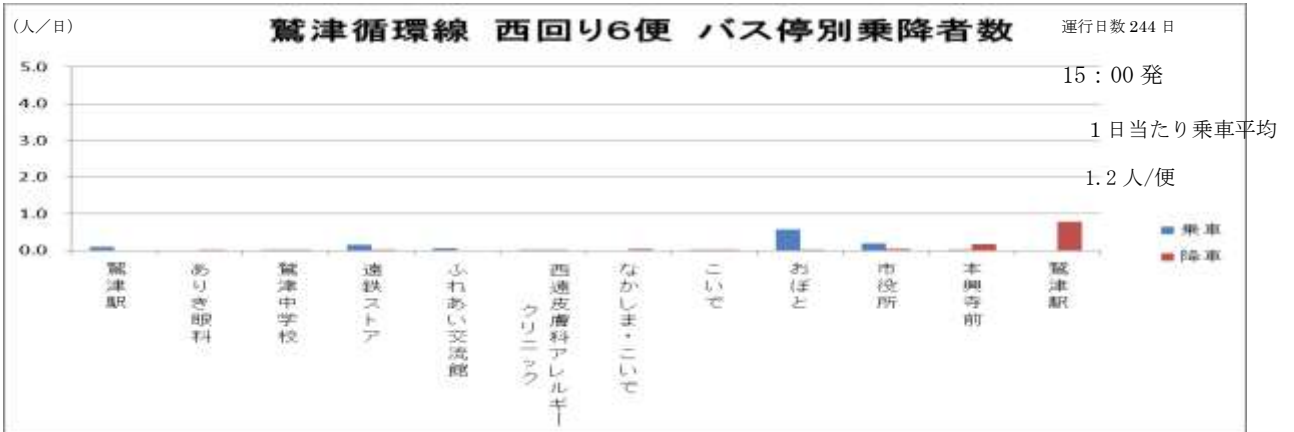
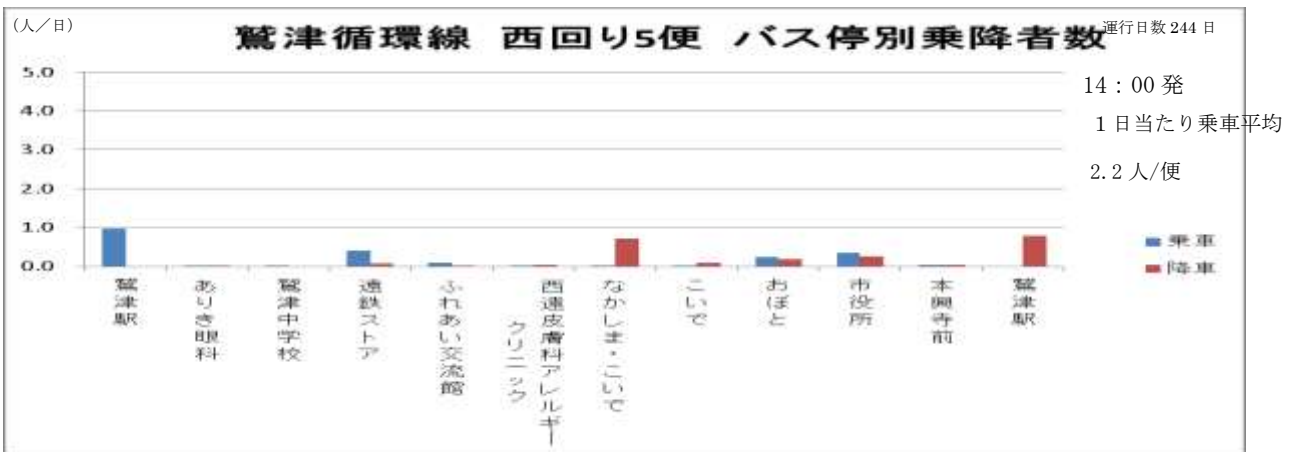
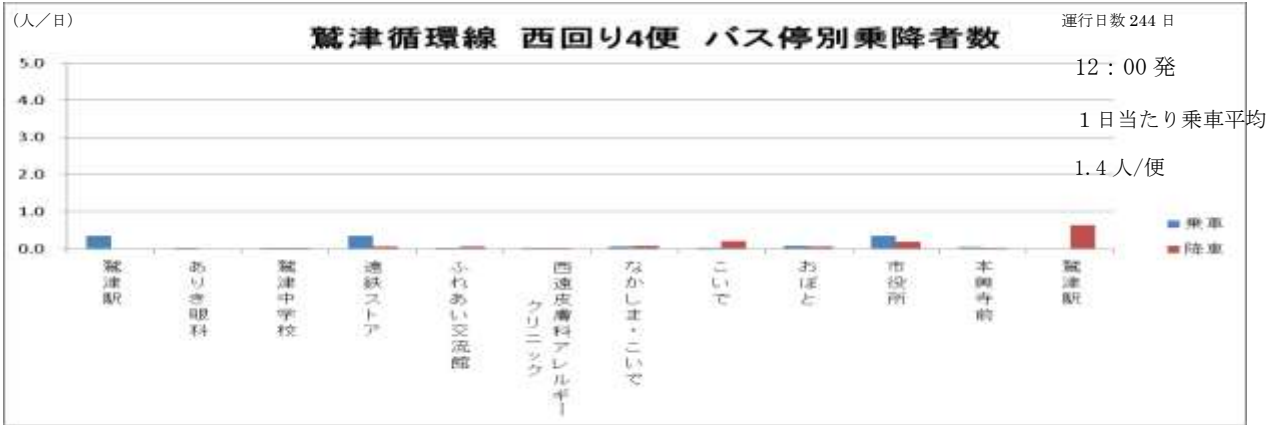


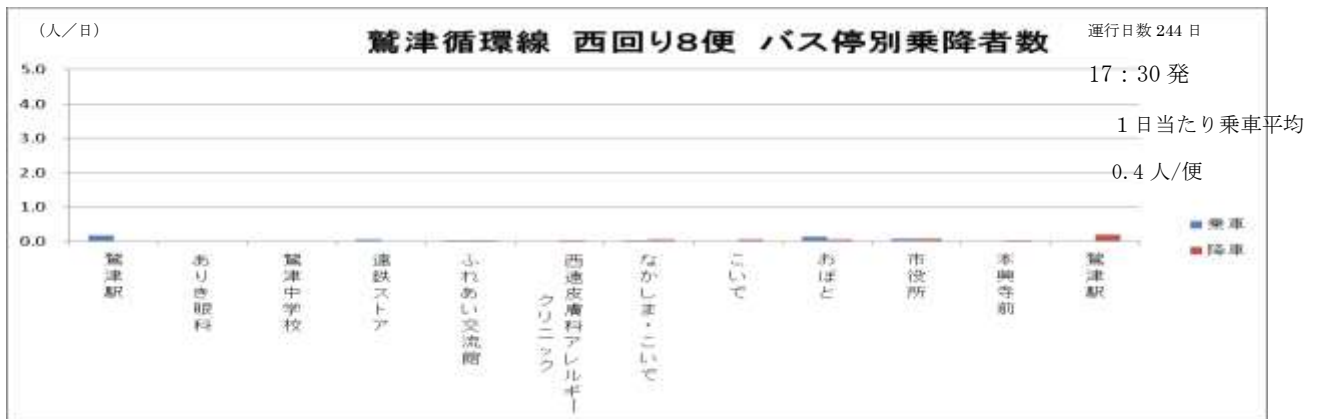
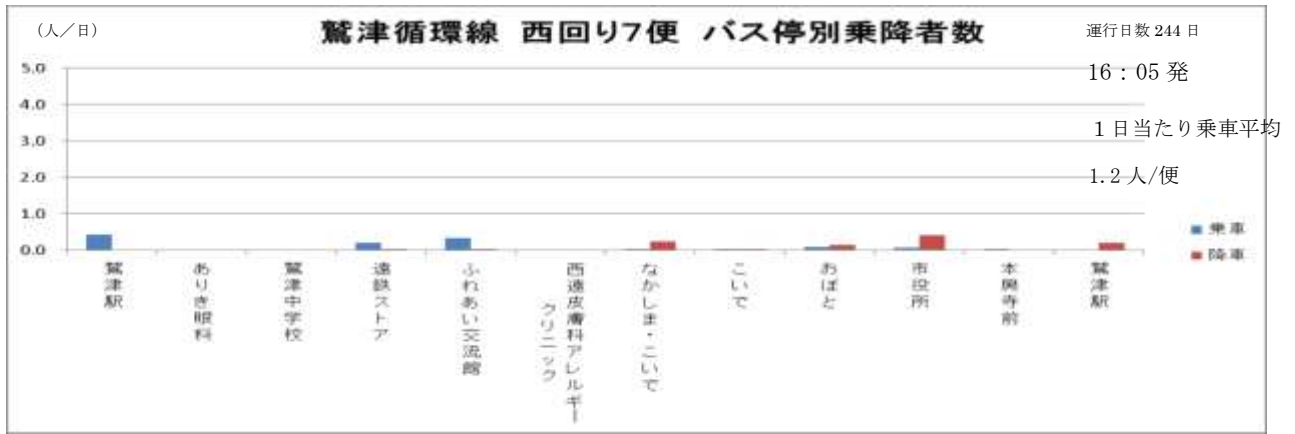
鷺津循環線便別の利用者動向

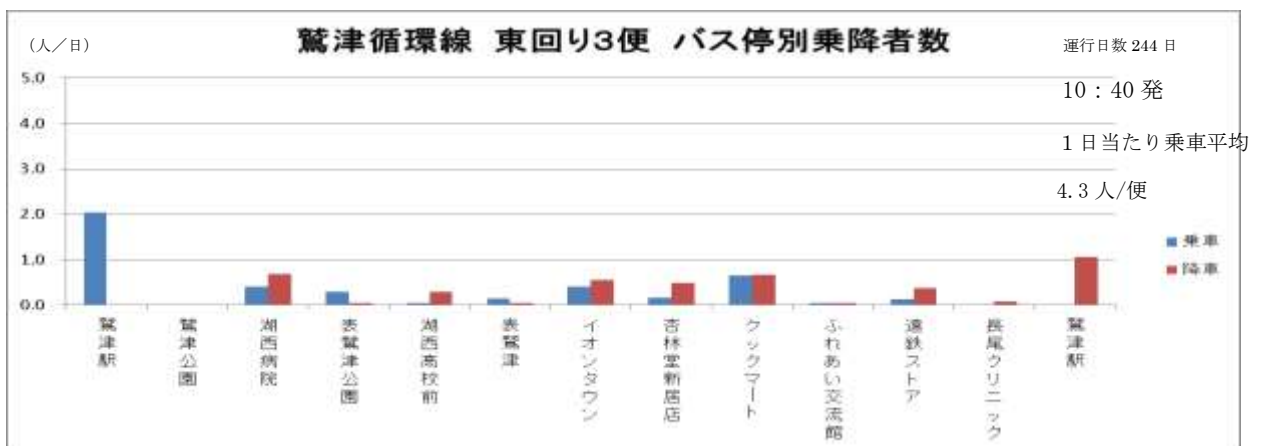
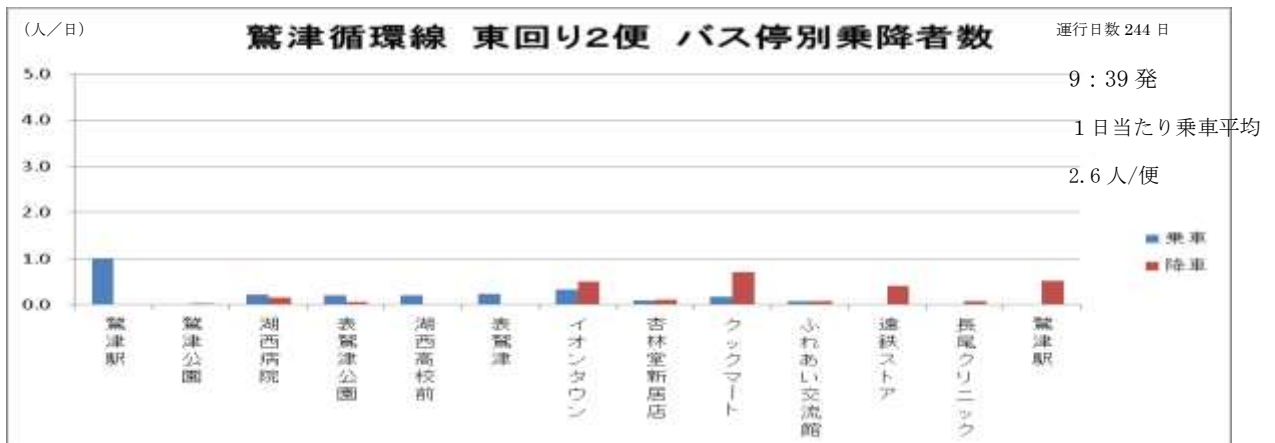
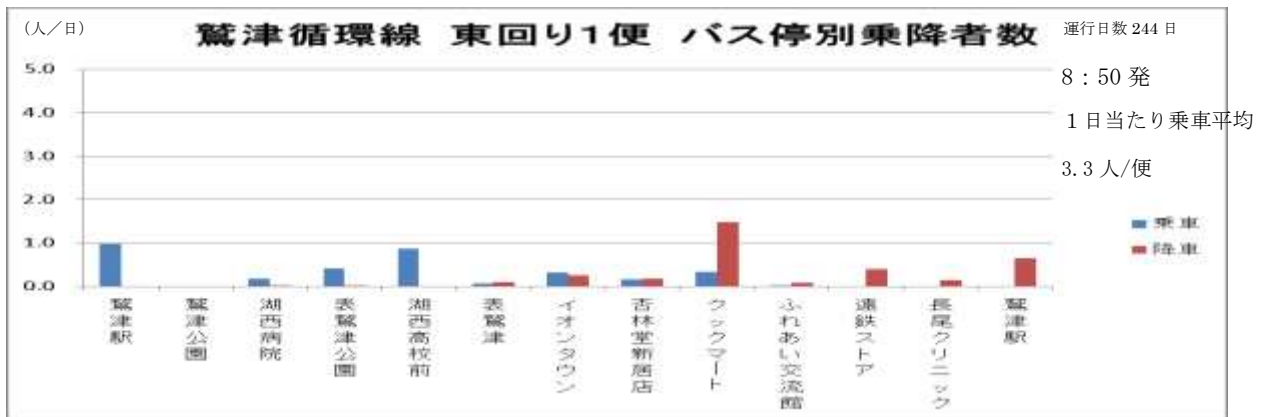
- 鷺津駅での乗降が最も多く、西回りではおぼと、市役所、ふれあい交流館の利用が多い。
- 東回りでは、鷺津駅、湖西病院以外では、イオンタウン・湖西高校・クックマートでの利用が多い。
- 夕方時間帯は利用者が少ない。

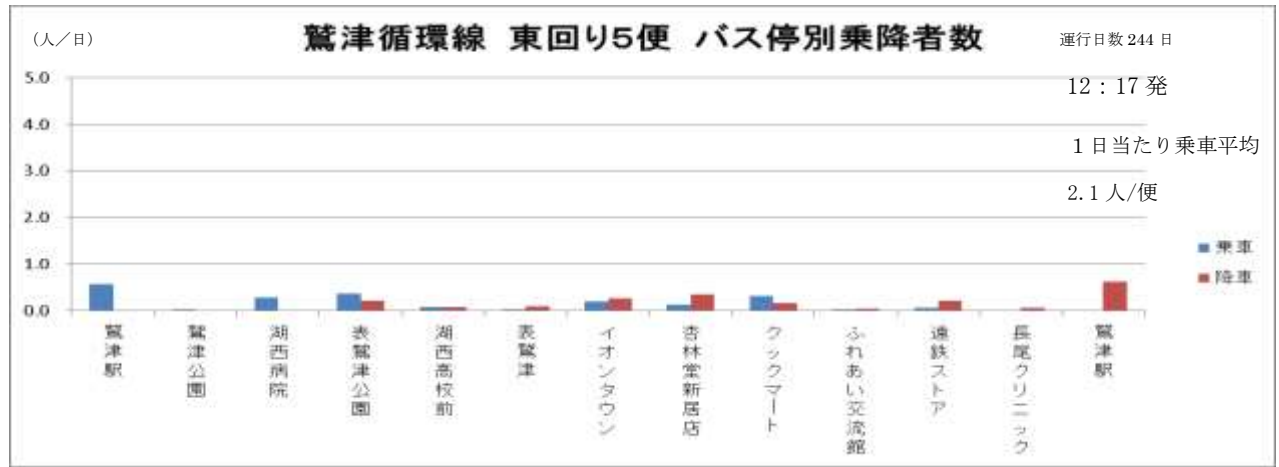
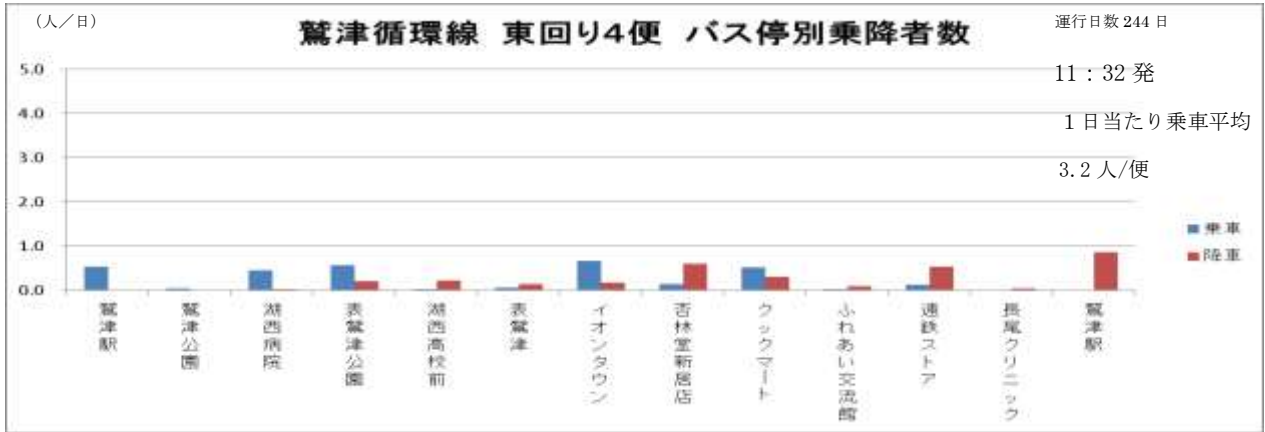


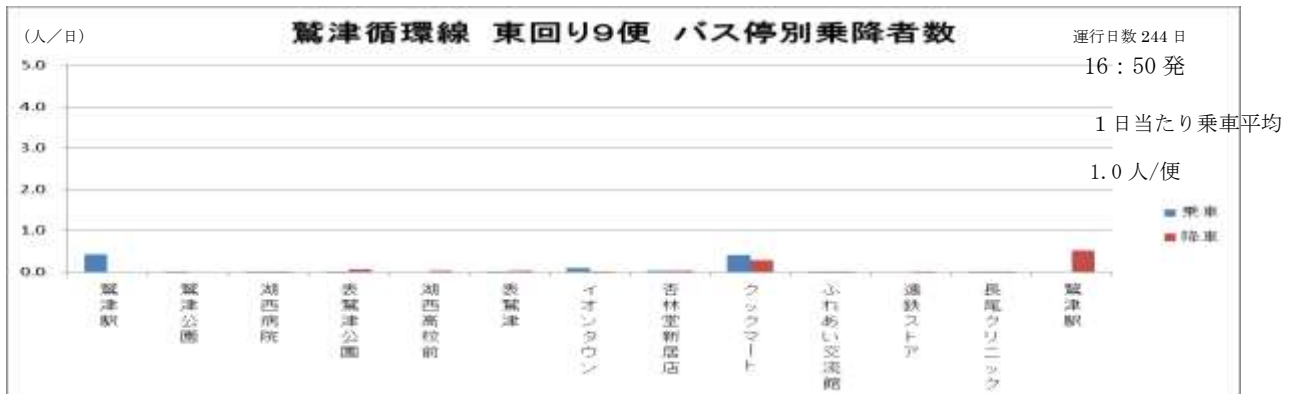
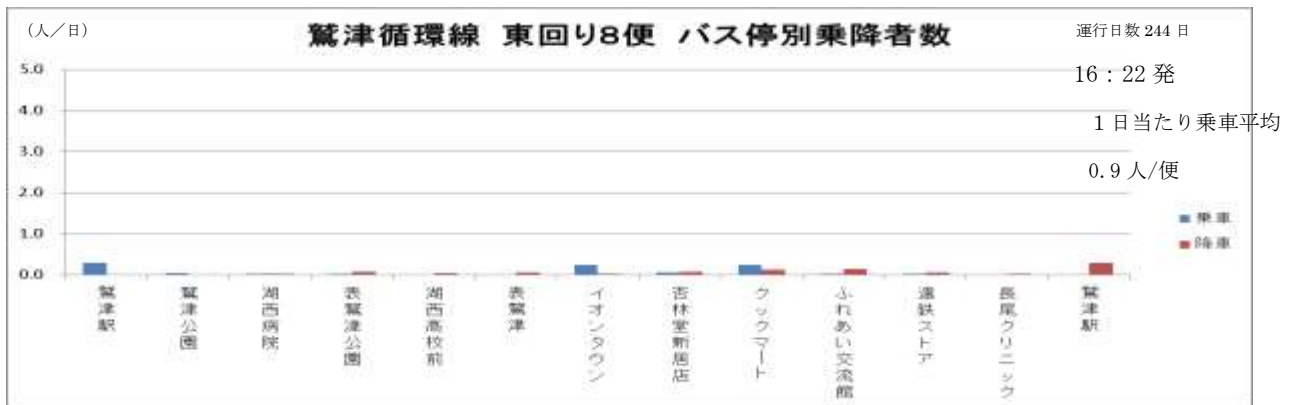






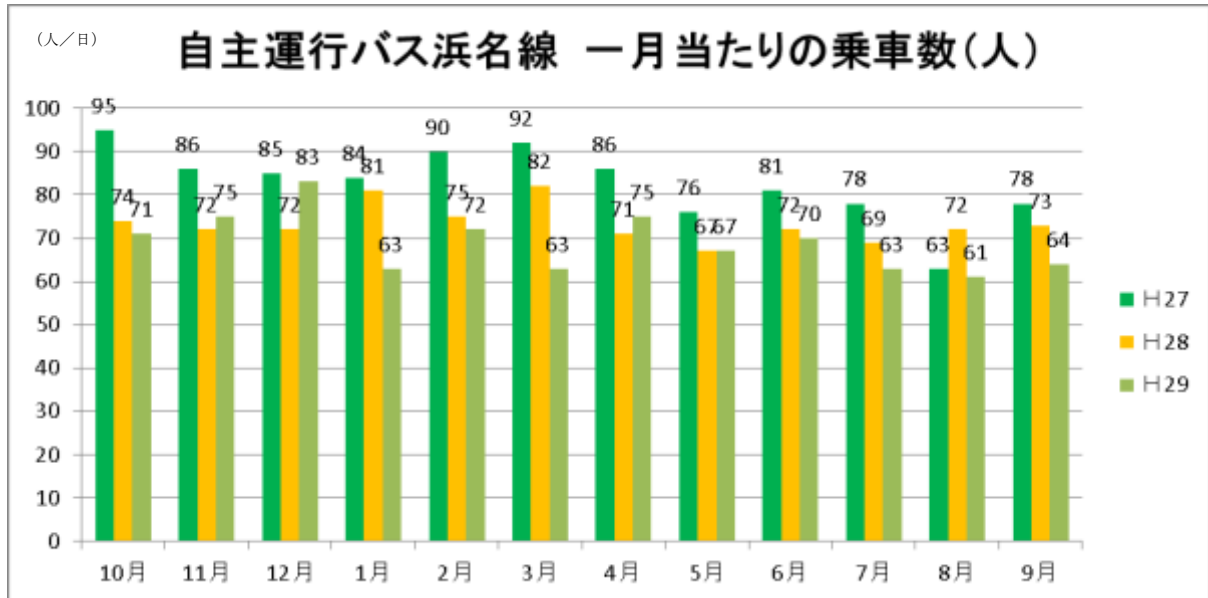






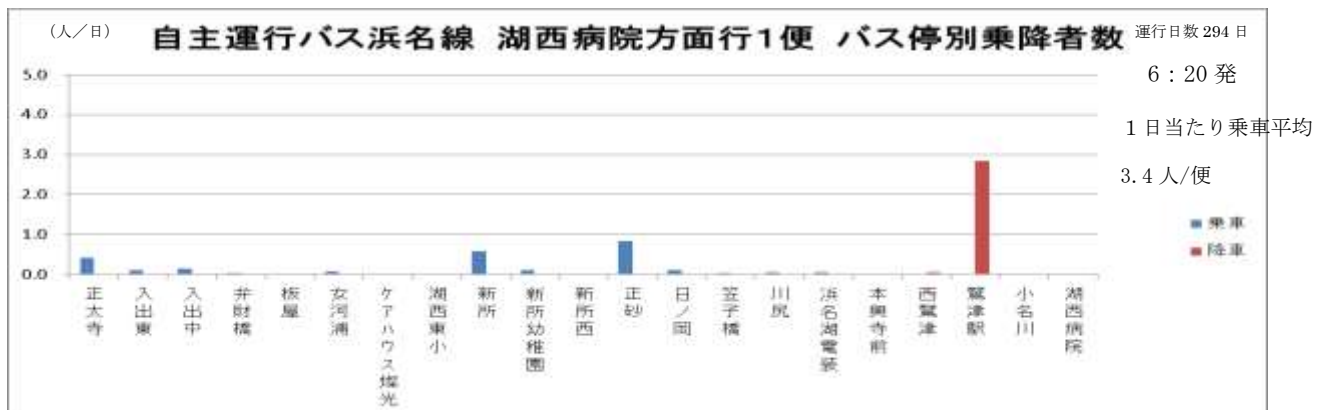
3-2-8 自主運行バス浜名線、便別利用者動向

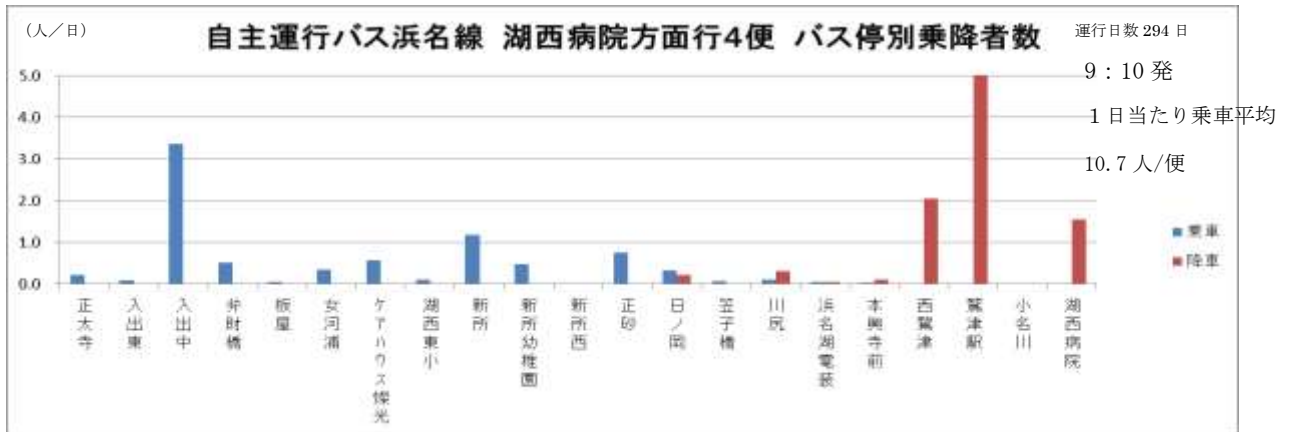
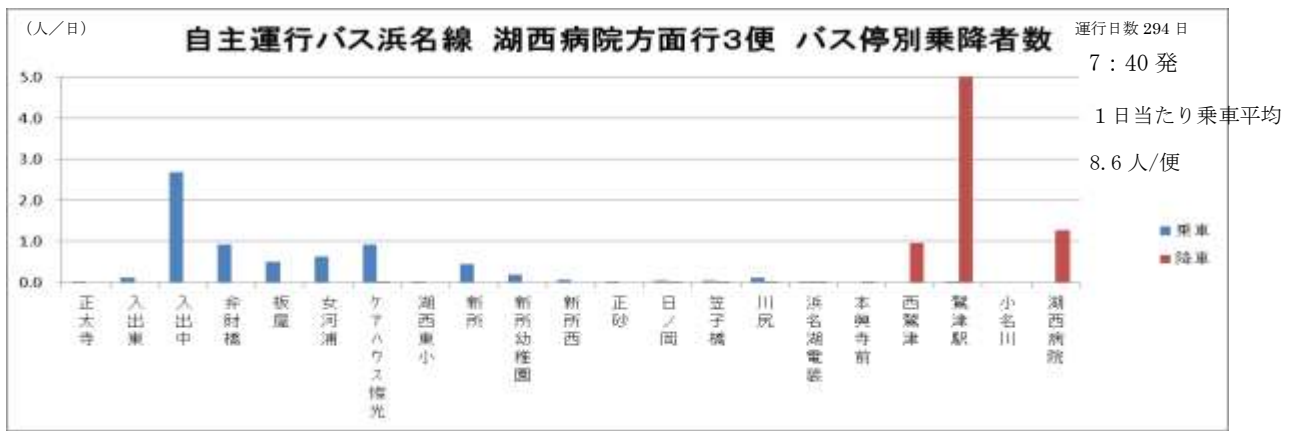
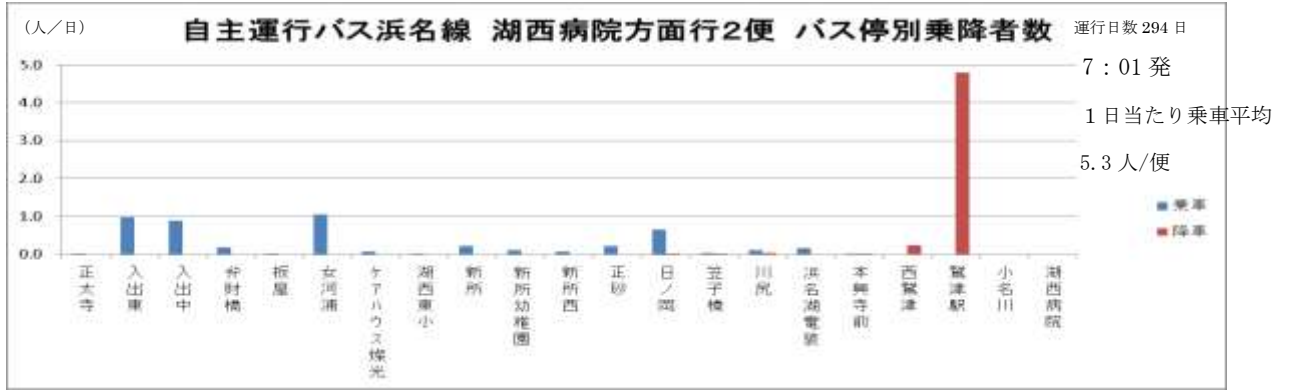
- 平成 30 年 4 月から入出新所鷲津線としてコーちゃんバスの運行形態に合わせた形で運行を継続する。
- 入出地区～鷲津地区間の通勤、買物及び、鷲津駅～浜名湖電装への通勤が主な利用となっている。

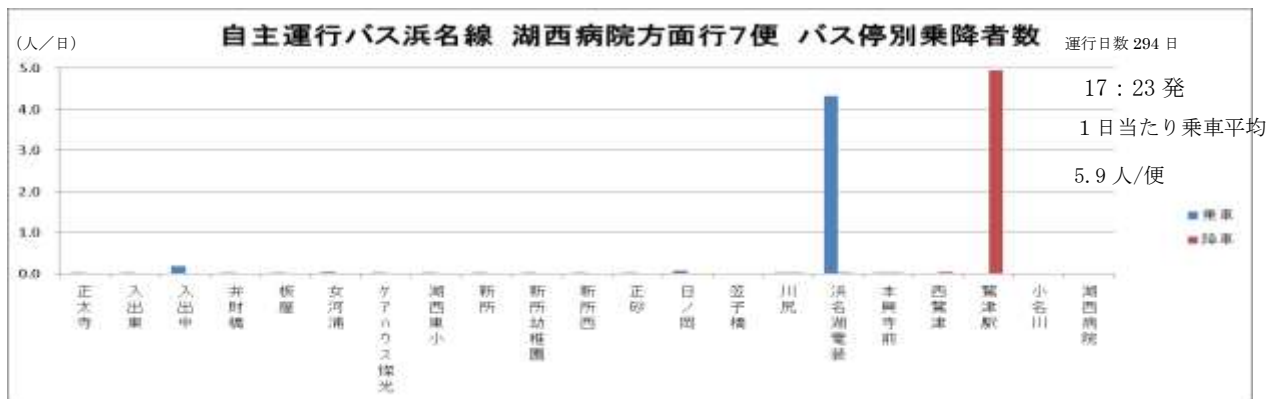
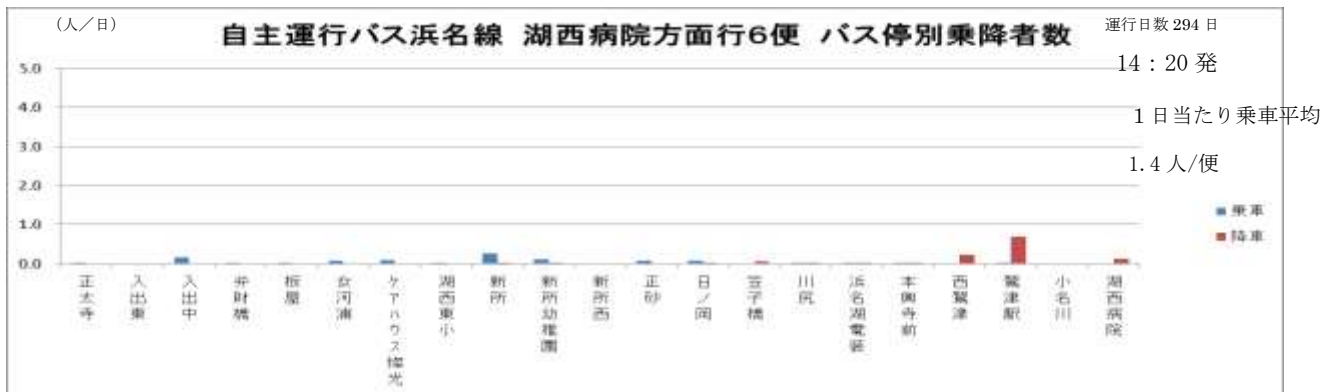
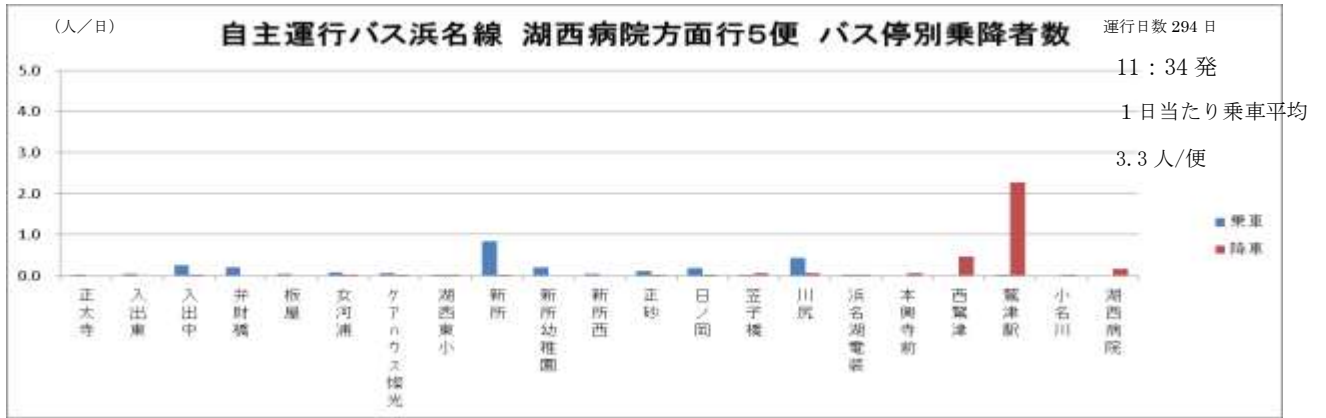


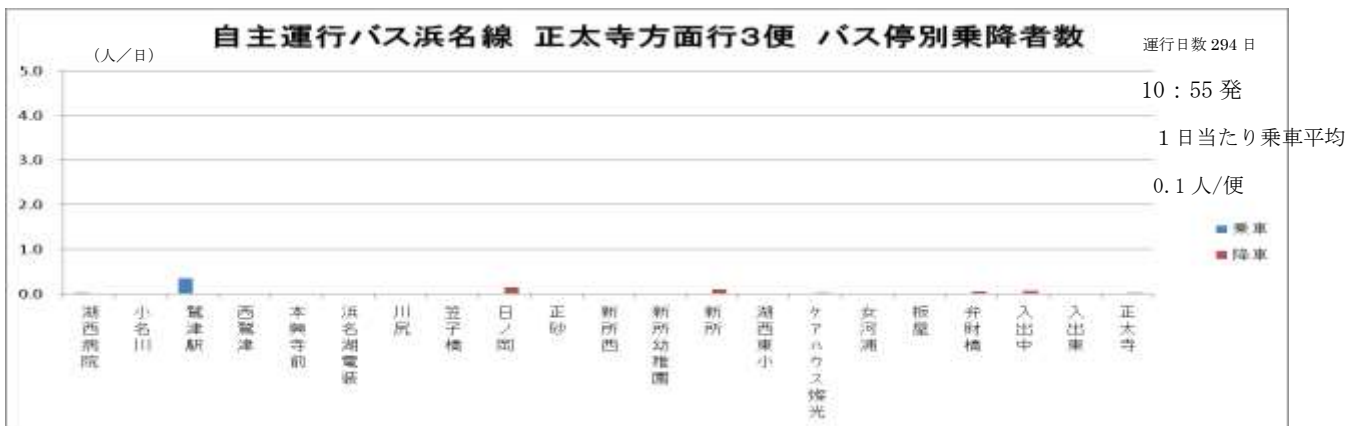
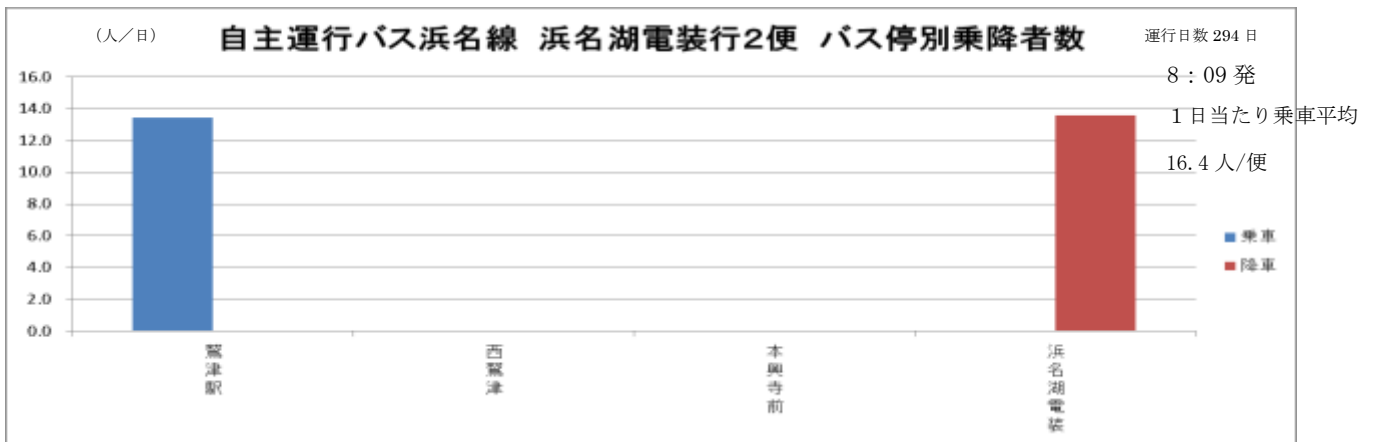
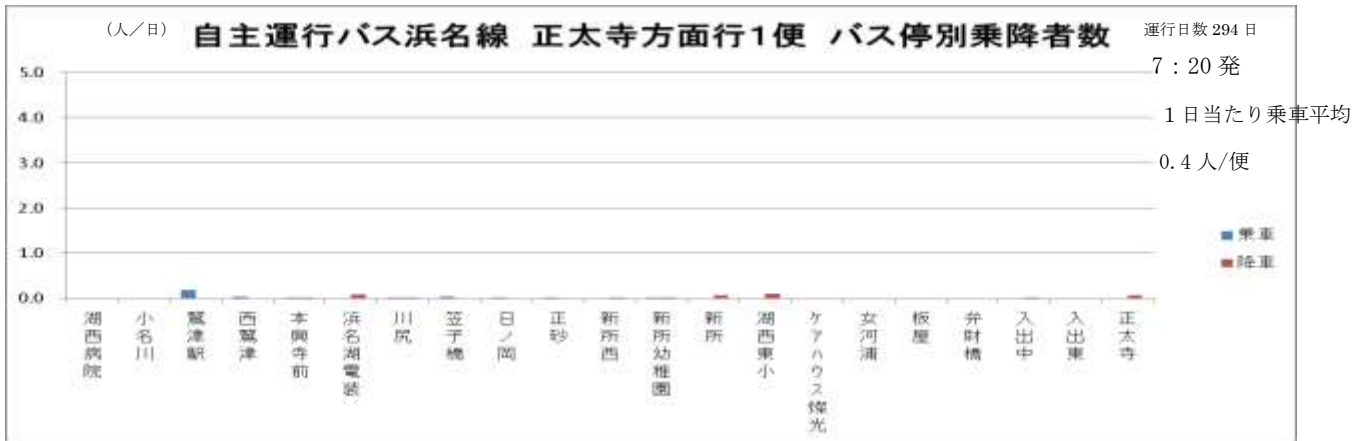
自主運行バス浜名線便別利用者動向

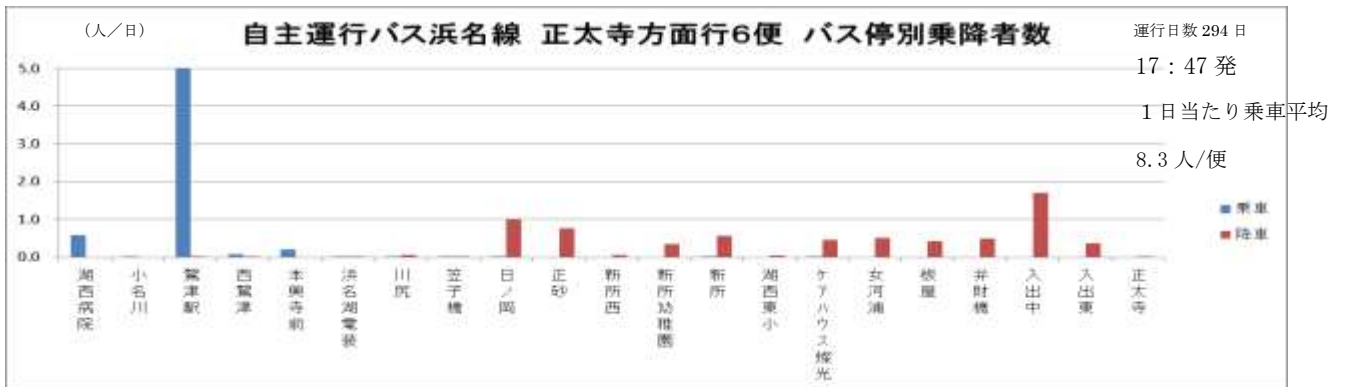
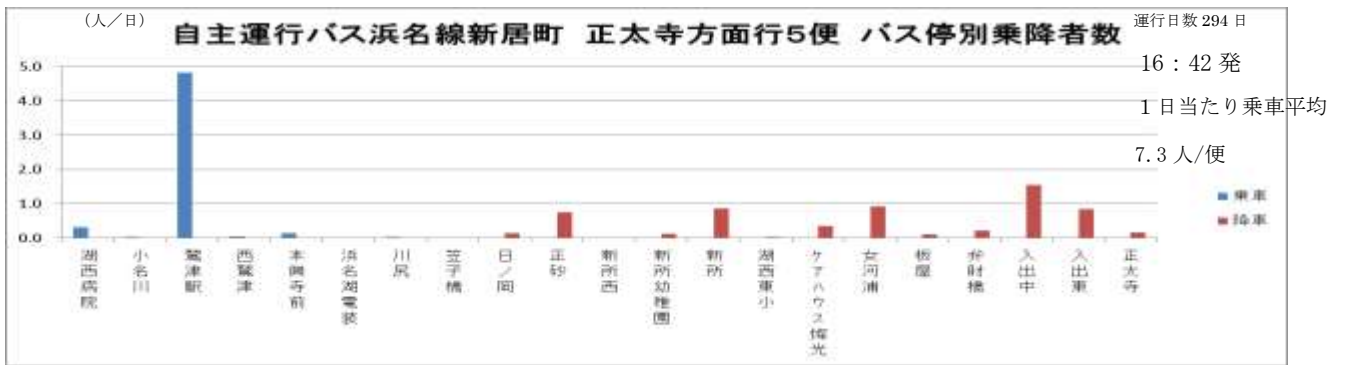
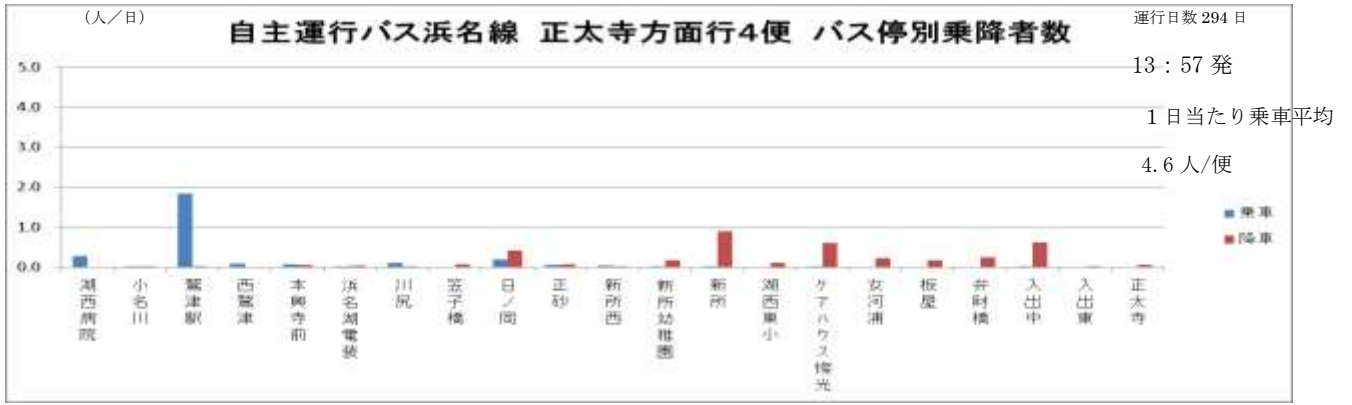
- 主に入出～日ノ岡間の地区から鷲津地区への通院、通勤の往復で利用されている。
- 鷲津駅～浜名湖電装の 2 便では月平均約 400 人程度の利用がある。











3-3 評価の実施と改善提案

3-3-1 湖西市地域公共交通網形成計画の評価・改善提案

※自己評価の三段階評価

A：事業が適切に実施・検討され、活動が認められる。

B：事業が適切に実施・検討された。

C：事業が実施・検討されていない。

事業名	事業内容	自己評価(効果達成状況)	改善提案・ 来年度に向けた取り組み	
公共交通軸	①東海道本線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～H33 実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	現行サービス水準での運行を継続する。
	②天竜浜名湖線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～H33 実施)	-	サービス水準を維持して運行を継続している。	現行サービス水準での運行を継続する。
	③浜名線 ・現行サービス水準での運行 【継続】(H29～H33 実施)	B	事業者が効率化を行い運行を継続している。 (詳細は別紙のとおり)	現行サービス水準での運行を継続する。
	④県境を越える新設路線 ・新設路線の検討 (H29～H33 検討)	B	近隣市町との情報交換を実施した。路線再編に併せて検討を行う。	豊橋市、交通事業者との情報交換を積極的に行う。路線再編に併せた検討を行う。
拠点内巡回・拠点アクセス	①コーちゃんバス ・現行サービス水準での運行 【継続】 (H29～H31.9 実施)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。 (各路線については別紙のとおり)	①平成31年度に向けた路線再編の検討を行う。 ②路線維持の基準を検討し、基準を満たさない場合については、改善策や効率的運行にむけた取組みを行う。
	・路線の再編 (H29～H31.9 検討) (H31.10～実施)	B	デマンド型交通なども踏まえて路線の再編を検討している。	
	・運賃体系の見直し (H29～H31.9 検討) (H31.10～実施)	B	整合性のとれた運賃体系を検討している。	
	②自主運行バス浜名線 ・現行サービス水準での運行 【継続】 (H29 実施、H30～H31 検討)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。	平成30年度から、入出新所鷺津線として、コーちゃんバスの運行形態に統一して運行を継続する。
	・路線の再編 (H29～H31.9 検討) (H31.10～実施)	B	平成30年度から、コーちゃんバスへ移行する。	JR やコーちゃんバスの他路線との乗り継ぎに配慮したダイヤを検討する。

(事業内容)

(自己評価)

(改善提案・来年度に向けた取り組み)

	・運賃体系の見直し (H29 検討)(H30～実施)	B	平成 30 年度からゾーン制運賃に統一する。	平成 30 年度から、入出新所鷺津線として、コーちゃんバスの運賃体系に統一して運行を継続する。
地域フィーダー	①導入検討路線 ・導入に向けた検討 (H29～H31.9 検討)	B	一部の地域において導入に向けた検討を実施している。	①地域フィーダー導入に向けた地域の意向を確認する。(形成計画記載の湖西北部地域)
	・実証実験 (H29.12～H30.9 実施)	B	平成 30 年 3 月から実施する。	②白須賀地区は実証実験結果を評価し、本格運行に向けた地域の意向を確認する。
	・本格運行 (地域との合意を得る) (H29.9～H33 検討)	B	実証実験と併せて本格運行に向けた検討を行う。	
タクシー	①タクシー ・公共交通としての機能・役割に応じた適正なサービスの提供 (H29～H33 実施)	B	サービス水準を維持して運行を継続している。	①サービス水準を維持して運行を継続する。 ②タクシー事業者とより一層の情報交換を実施し、連携を強化する。
乗継環境の整備	①乗継拠点や主要なバス停の乗継環境整備 ・拠点駅や主要なバス停での乗継利便性の向上 (H29 検討) (H30～H33 実施)	B	車内やイベントにおいて乗継案内チラシを作成し情報提供している。	①乗継案内チラシなど継続した情報提供を行う。 ②高齢者などに配慮した乗継時間(ダイヤ)の設定や、環境整備を行う。
公共交通に関するわかりやすい情報を提供する事業	①公共交通利用に係る積極的な情報提供 ・バス停(コーちゃんバス)の案内表示の多言語化の実施 (H29 検討) (H30～H33 実施)	B	平成 30 年度以降の実施に向けて検討し、平成 30 年度は、拠点駅のローマ字表記など、一部事業を実施する。	拠点駅(新所原駅、鷺津駅、新居町駅)においてわかりやすく、多言語での案内表示や、ローマ字による振り仮名を検討・実施する。検討に当たっては、運転手からの聞き取り等により、外国人の利用状況を把握する。
	・公共交通マップの企画・作成・見直し (H29～H33 実施)	B	平成 29 年度計画推進事業において実施を予定している。平成 30 年 3 月予定。	路線再編などの時期を踏まえて、公共交通マップを企画・作成・見直しを行う。
	・バス利用啓発ポスターの企画・作成・見直し (H29～H33 実施)	B	平成 29 年度は、片道定期券の利用促進のための、ポスター、チラシ等による啓発を予定している。	作成する時期において、“簡潔でみやすいこと”や“説明が丁寧で理解しやすいこと”等のバランスを踏まえて作成する。

	(事業内容)	(自己評価)	(改善提案・来年度に向けた取り組み)	
	②分かりやすい運行情報・乗継情報の提供 ・公共交通マップへのわかりやすい乗継情報の掲載等 (H29～H33 実施)	B	平成 29 年度計画推進事業において総合交通マップの作成を予定している。	路線再編などの時期を踏まえて、公共交通マップを企画・作成・見直しを行う。
	・拠点駅におけるバス乗り場の案内表示の設置 (H29 検討) (H30～H33 実施)	B	平成 30 年度以降の実施に向けて検討している。	実施に向けた検討を行う。
	・主要施設や主要バス停でのバスロケーションシステムの検討 (H29～H31 検討) (H32～H33 実施)	B	平成 32 年以降の実施に向けて検討している。	実施に向けた検討を行う。
公共交通の利用を誘導する事業	①公共交通の割引運賃の導入 ・バスの一乗放題券等の企画乗車券の導入 (H29～H33 実施)	B	平成 29 年度計画推進事業で片道定期券の発行を予定している。第 3 回公共交通会議後に発行予定。	片道定期券を平成 29 年度に実施し、継続して利便性を向上させる。
	・天竜浜名湖線の小学校入学祝い記念乗車券、敬老記念乗車券の発行【継続】 (H29～H33 実施)	B	天竜浜名湖線の運賃助成を継続している。	対象者に比べて利用率が少ない事業について検証を行う。
	②モビリティマネジメントの実施 ・小学生や高齢者を対象とした乗り方教室の開催【継続】 (H29～H33 実施)	B	小学生を対象として総合学習の機会に乗り方教室を開催した。	今年度実施した、総合学習の機会に合わせた乗り方教室等を継続して行う。
	・公共交通利用促進のための動機付け資料の作成 (H29～H33 実施)	B	平成 29 年度計画推進事業において簡易 T F P の実施を予定している。 平成 29 年 12 月に実施中。	平成 29 年度は、入出地区において簡易 T F P を実施し、平成 30 年以降は公共交通に利用転換を促すチラシなどを作成し、各種イベントなどで配布、継続した検証を行う。
	・特定地域におけるモビリティマネジメントの実施 (H29～H33 実施)	B	平成 29 年度計画推進事業において簡易 T F P の実施を予定している。 平成 29 年 12 月に実施中。	※簡易 T F P = 利用啓発を促す冊子を同封したアンケートを実施し、行動変容の分析を行う。

(事業内容)

(自己評価)

(改善提案・来年度に向けた取り組み)

	③免許返納者の優遇 ・免許返納者への優遇措置の導入 (H29～H33 実施)	A	平成 29 年 4 月から運転免許証自主返納等をした市民を対象に 2 年間のバス無料乗車券を交付している。	平成 29 年度に開始した運転免許証自主返納等無料乗車券制度(2 年間のバス無料券)を継続して実施する。また、2 年の利用期間経過後も継続利用を促す積極的な施策や情報提供を行う。
	④観光振興のための公共交通利用促進策の実施 ・観光モデルルートの設定や市内バスツアーの実施 (H29～H31 検討) (H32～実施)	B	平成 32 年度の実施に向けて検討を行う。	実施に向けて、市内の観光モデルルート設定を、コーちゃんバスを上手に利用する会と協力して行う。
バスへの愛着(マイバス意識)を高める事業	①関係機関と連携した取り組み ・市内商業施設と連携したバス到着アナウンスの実施 (H29～H32.9 検討) (H32.10～実施)	B	平成 32 年度の実施に向けて検討を行う。	実施に向けて、商業施設との調整を行う。
	②地域や企業、学校と連携した取り組み ・バス停周辺における環境整備、清掃、緑化など (H29～H33 実施)	B	各種利用促進策を実施した。(詳細は 2 P～利用促進策実施状況を参照)	①バス停ベンチ等の設置をはじめとする、地域住民との情報交換や連携を強化する。 ②乗継利便性の案内チラシの配布や各種利用促進をはじめ、継続して行う。
	・夏休み小学生 50 円バスの継続実施【継続】 ・中学校卒業予定者を対象とした利用啓発活動の継続実施等(H29～H33 実施)	A	夏休み小学生 50 円バスをはじめ、各種利用促進策を実施した。(詳細は 5 P を参照)	①より効果が上がるように、前もって情報提供するなど継続して行う。 ②東三河地区との協力関係を継続する。
	③交通事業者と連携した取り組み ・バスの日イベントでの啓発活動の実施 等 (H29～H33 実施)	A	交通事業者と協力して公共交通に関する利用啓発を実施した。(詳細は 4 P を参照)	バスの日イベント等で交通事業者と啓発活動を協力して実施している。今以上に市内の交通事業者との情報交換、利用促進の連携・協力体制を強化していく。
	④コーちゃんバスを上手に利用する会の取り組み ・コーちゃんバスイメージアップの推進、企画乗車券の企画 等(H29～H33 実施)	A	小学生乗り方教室をはじめとする、利用促進策への参加、改善点の提案を実施した。(詳細は 2 P～利用促進策実施状況を参照)	利用者目線での改善提案や利用促進活動を継続していく。(利用促進の改善策で詳述)

多様な主体による取り組み	湖西市地域公共交通会議の継続的開催【継続】	B	継続実施	継続して実施する。
	湖西市バス運行評価改善委員会の継続的開催【継続】	B	継続実施	継続して実施する。
	コーちゃんバスを上手に利用する会の立ち上げ・継続的開催	A	平成 29 年に立ち上げ、現在は 2 回開催、継続開催する予定。	継続して実施する。

3-3-2 コーちゃんバス全般、路線別の評価と改善提案

路線名	一次評価（市自己評価）		改善提案・来年度に向けた取り組み	
コーちゃんバス全般	評価できる点	<p>運転免許証自主返納等をした方に対しコーちゃんバス、自主運行バス浜名線の無料乗車券を発行している。バスの利用促進や交通事故防止の施策の一つとなっている。</p> <p>人口減少などの状況下においても市内のバス利用者を維持している。平成 28 年度 102,054 人→平成 29 年度 102,789 人</p>	B	<p>①湖西市地域公共交通網形成計画で抽出した課題を基本方針に沿って解決していく。</p> <p>②路線毎に維持基準を検討し、基準を満たさない場合については、改善策や効率的運行にむけた取組みを行う。</p>
	改善が必要な点	湖西市地域公共交通網形成計画で抽出した課題を基本方針に沿って解決していくことで、交通将来像の達成及び公共交通ネットワークを実現していく。		
白須賀新居鷲津線	評価できる点	乗り継ぎやバス停が遠いなどの一部の交通が不便な地域において、地域住民と地域リーダーの検討を行い実証実験(デマンド型交通)を実施する。	B	冗長な路線であることから、地域住民の移動ニーズや実態を把握し、路線改善(乗り継ぎなど)を行う。
	改善が必要な点	冗長な路線であることから、地域住民の移動ニーズや実態を把握し、路線改善(乗り継ぎなど)を行う必要がある。		

白須賀鷺津線	評価できる点	平成 28 年度と比較して利用者が前年比 9.8% 増加している。13,829 人→15,179 人(+1,350 人)	B	路線維持の基準を検討し、基準を満たさない場合については、改善策や効率的運行にむけた取組みを行う。
	改善が必要な点	—		
白須賀岡崎線	評価できる点	乗り継ぎやバス停が遠いなどの一部の交通が不便な地域において、地域住民と地域リーダーの検討を行い実証実験(デマンド型交通)を実施する。	B	路線維持の基準を検討し、基準を満たさない場合については、改善策や効率的運行にむけた取組みを行う。
		平成 28 年度と比較して利用者が前年比 11.7% 増加している。9,874 人→11,027 人(+1,153 人)		
	改善が必要な点	白須賀元町地区からの新所原方面への移動のため、白須賀新居鷺津線との接続を改善する必要がある。		
岡崎循環線	評価できる点	—	B	<p>路線維持の基準を検討し、基準を満たさない場合については、改善策や効率的運行にむけた取組みを行う。</p> <p>知波田地区や入出地区からの病院利用が主目的であるため、早急に潜在的な需要を把握する必要がある。</p>
	改善が必要な点	利用者は昨年度よりも更に減少。知波田地区や入出地区からの病院利用が主目的であるため、早急に潜在的な需要を把握する必要がある。		
岡崎鷺津線	評価できる点	平成 28 年度と比較して利用者が前年比 6.9% 増加している。14,771 人→15,790(+1,019 人) 路線全体を通して利用がある路線である。	B	路線維持の基準を検討し、基準を満たさない場合については、改善策や効率的運行にむけた取組みを行う。
	改善が必要な点	—		
知波田鷺津線	評価できる点	J A湖西北支店での乗り継ぎ環境が、継続、維持されている。	B	1 便の通学以外の利用があまりない。J R鷺津駅への通学通勤の利用ニーズを把握する必要がある。
	改善が必要な点	1 便の通学以外の利用があまりない。J R鷺津駅への通学通勤の利用ニーズを把握する必要がある。		

鷺津循環線	評価できる点	鷺津地区の住民の移動手段として利用されている。	B	東回りに比べ、西回りの利用状況がどの時間も概ね低いのが目立つことから、利用者のニーズに基づいて、運行ダイヤやルートを検討が必要である。
	改善が必要な点	—		
浜名線	評価できる点	入出地区から鷺津地区への移動の手段として定着しており、路線の維持のためコーちゃんバスへの移行を予定している。 日ノ岡下の南交差点の乗り継ぎ時における安全確保のため、10月から運行経路とバス停位置の変更を実施した。	B	コーちゃんバスへの移行に伴い、路線維持の基準を検討し、基準を満たさない便については、改善策や便の効率的運行に取り組む。
	改善が必要な点	—		
利用促進に対する評価	評価できる点	コーちゃんバスを上手に利用する会を発足し、利用者目線での改善提案や利用促進活動を実施した。地域住民が自ら交通を考える場を設ける一歩となった。 バスなどを利用する機会の少ない小学生を対象に、小学校の総合学習の機会に、コーちゃんバスを上手に利用する会と協力して市内4カ所で乗り方教室を実施した。 昨年から継続して東三河50円バス実行委員会と連携し、県を跨いで、隣接市と協力した利用促進を実施した。	A	①コーちゃんバスを上手に利用する会の会員と協力して、様々な利用促進事業の実施によって多くの人に公共交通に関わって頂く。今年度実施した、実際に乗車してもらった上での路線改善に向けた検討やミーティングを継続する。 ②小学生等を対象にコーちゃんバスを利用した工場見学ツアー等の検討を行う。 ③公共交通に関するわかりやすい情報提供のため、コーちゃんバスのホームページ等の充実を図る必要がある。
	改善が必要な点	公共交通に関するわかりやすい情報提供のためコーちゃんバスのホームページなどの充実を図る必要がある。		
	評価できる点	バス運行事業者(運行管理者)は、運転手が利用者から聞き取りした内容や、現場で感じた意見、運行状況などを取りまとめ、毎月、市に報告書を提出して、改善につなげている。		
その他	改善が必要な点	—	B	継続して実施する。
	評価できる点	—		

3-3-3 遠州鉄道バスに関する評価と改善提案

1. 遠州鉄道路線バス「浜名線(湖西市系統)」(路線の評価)について

路線名	一次評価（市自己評価）		改善提案・来年度に向けた取り組み
浜名線全般	評価できる点	<p>新居小学生の登下校便は、継続して利用されている。</p> <p>収支改善のために下り便の一部区間（西鷲津、本興寺前、湖西市民会館）を降車専用とし効率的運行を図った。</p>	B
	改善が必要な点	免許証返納者への割引制度を積極的にPRすることを含めて、利用者の減少を食い止めるための施策を展開する。	
利用促進に対する評価	評価できる点	バスの日イベントを実施した際にバス利用を啓発するためのチラシを協力して配布し、利用を呼びかけ、市内の公共交通事業者としての連携を高めた。	B
		市コミュニティバスや自主運行バスとの乗継に配慮した。	
		湖西市の福祉部門が実施している、高齢者バス券の利用に協力している。	
	遠鉄トラベル湖西店で乗車券販売を行っている。(ナイスバスや定期、回数券)		
改善が必要な点	—		

2. 遠州鉄道路線バス「浜名線(湖西市系統)」のその他の利用促進策・目標

<p>・事業者としての取組</p> <p>湖西市から旧新居町・旧舞阪町を經由し、浜松駅に至る路線。鷲津駅や新居町駅等JR駅への接続をしている。市立湖西病院への通院や通勤、通学の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量の確保を目標とする。</p>
<p>【来年度に向けた計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図る。 ・営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、より一層の間接部門人件費の抑制を図る。 ・60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、より一層の直接人件費の抑制を図る。

【実績】

- デジタコを導入することにより、個人毎の運転特性を把握し、適切な指導を行う事による燃費改善で、燃料費の抑制を図った。
点呼にてエコドライブの徹底を喚起するとともに、営業所毎に燃費の競争も実施した。
- 営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を検討するとともに、従業員の契約化やパート化を進め、間接部門人件費の抑制を図った。
- 60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図った。
- 多くの手が関わっていた乗務員の昼食、夕食の手配業務をシステム化して、業務効率を図った。